

貝塚市公共施設等総合管理計画 資料編

＜資料編 目次＞

参考資料 1 貝塚市公共施設等総合管理計画 用語集	-----	1
参考資料 2 貝塚市ファシリティマネジメント基本構想・基本方針	-----	4
参考資料 3 公共建築物の一覧	-----	17
参考資料 4 各施設の行政コストを面積按分	-----	27
参考資料 5 貝塚市公共施設の利用状況およびあり方に関する市民アンケート	---	31
参考資料 6 市民意見交換会	-----	86

参考資料 1 貝塚市公共施設等総合管理計画 用語集

	用語	説明	ページ
あ行	維持管理・修繕 *15	施設、設備、構造物等の機能の維持のために必要となる点検・調査、補修、修繕などをいう。なお、補修、修繕については、補修、修繕を行った後の効用が当初の効用を上回らないものをいう。	P21
か行	「建築物のライフサイクルコスト」 *13	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修により、一般財団法人建築保全センターが編集・発行する、建築物のライフサイクルコストについての算定方法、部材データベース等を集成したものであり、付録するLCC計算プログラムにより建築物のライフサイクルコストを計算できる。	P18
	公共施設等 *1	公共施設、公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいう。具体的には、いわゆるハコモノの他、道路・橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設（上水道、下水道等）、プラント系施設（廃棄物処理場、斎場、浄水場、衛生事業所等）等も含む包括的な概念である。	P1
	更新 *2	老朽化等に伴い機能が低下した施設等を取り替え、同程度の機能に再整備すること。除却も含む。	P1
	国立社会保障・人口問題研究所推計 *7	「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」は、将来の人口を都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、令和2年（2020）年の国勢調査をもとに、5年ごと30年間について、男女・5歳階級別に推計したものである。推計値の合計は、「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（出生中位・死亡中位仮定）の値と合致する。	P6
	固定資産台帳 *5	地方公会計において、固定資産を、その取得から除売却処分に至るまで、その経緯を個々の資産ごとに管理するための帳簿をいいます。固定資産について、取得価額、耐用年数等のデータを網羅的に記載するものであり、地方公会計制度にもとづき整備するものである。	P1
さ行	事後保全 *14	施設の機能や性能に不具合が生じてから修繕等の対策を講じること。施設の機能や性能に関する明らかな不都合が生じてから修繕を行う管理手法を事後的管理という。	P18
	施設保有量 *10	一般会計における建物の延べ面積の合計を示す。なお、本計画においては、左記の面積に貝塚市病院事業会計の建物の延べ面積を合算して算定している。	P10

	用語	説明	ページ
さ行	新耐震基準 *18	1981 年（昭和 56 年）改正の建築基準法に定める現行の耐震基準を示す。新耐震基準の考え方は、中規模の地震（震度 5 強程度）に対しては、ほとんど損傷を生じず、大規模の地震（震度 6 強から震度 7 程度）に対しては、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標としたものである。	P23
た行	脱炭素化 *4	地球温暖化に影響する代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量（人為的なもの）から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	P1
	投資的経費 *8	投資的経費は、道路・橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費からなっている。	P7
は行	PFI *17	（PRIVATE FINANCE INITIATIVE）公共施設等の設計・建設・維持管理運営の全部または一部を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。	P23
	PDCA *6	事業や活動を円滑に進める手法の 1 つ。PLAN（計画）、DO（実行）、CHECK（評価）、ACTION（改善）の 4 段階を繰り返すことにより、事業や活動を継続的に改善する手法。	P1
	PPP *16	（PUBLIC PRIVATE PARTNERSHIP）公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム（枠組みを持った計画）。PFI は、PPP の代表的な手法の一つ。PPP の中には、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営（DBO）方式、さらに包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなども含まれる。	P23
	法定耐用年数 *11	建物、建物附属設備などの資産は、一般的には時の経過等によってその価値が減っていく減価償却資産であり、その資産の使用可能期間を法定耐用年数といい、財務省令の別表に定められている。	P11
や行	有形固定資産減価償却率 *9	有形固定資産のうち、償却資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合を有形固定資産減価償却率といい、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができる。	P9
	ユニバーサルデザイン *3	すべての人のためのデザインを意味し、老若男女といった差異や、障がいの有無、能力などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。	P1

用語		説明	ページ
や行	予防保全 *12	施設の機能や性能に不具合が発生する前に修繕等の対策を講じること。損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る管理手法を予防保全型維持管理という。	P15
ら行	ライフサイクルコスト *19	施設の企画設計費、建設費などの初期投資（イニシャルコスト）と、保全費、維持管理・修繕費、運用費などの運営管理費（ランニングコスト）、さらに解体処分まで加えた、施設にかかる生涯コスト。	P54

貝塚市ファシリティマネジメント基本構想・基本方針

平成 2 7 年策定

令和 6 年 3 月改定

貝 塚 市

はじめに

土地、建物、設備、道路、橋梁、上下水道など貝塚市が保有するファシリティを適正な状態に保ち、良質な資産として引き継ぐため、どのような視点をもって取り組むのか、どのような仕組みをもって実行に移すのか。

本市ファシリティマネジメントの基本的な方針をまとめました。

目次

貝塚市ファシリティマネジメント基本構想

1 現状	P1
2 改定の背景	P1
3 ファシリティマネジメントの定義	P1
4 目的	P1
5 基本理念	P2
6 全体像	P3
7 方針・計画策定体制	P3

貝塚市ファシリティマネジメント基本方針

1 ファシリティマネジメント（FM）とは	P4
2 基本方針策定の背景と目的	
（1）背景	P4
（2）目的	P4
（3）対象	P4
（4）位置付け・体制	P4
3 市が保有するファシリティの現状と課題	
（1）ファシリティの保有状況	P5
（2）今後の人口推移の見込と財政課題	P6
4 FM 推進の基本的な考え方	
（1）安全性・快適性の向上（品質）	P8
（2）社会ニーズへの的確な対応（供給）	P8
（3）ファシリティの最適化とエネルギー消費の削減（財務）	P8
（4）市民と行政の協働（愛着）	P8
5 FM 推進の具体的な取組	
（1）保全情報のデータベース化	P9
（2）公共建築物の点検実施	P9
（3）行政評価との連携	P10
（4）維持管理手法の見直し	P10
（5）光熱水費の削減	P10
（6）ファシリティの活用による歳入確保	P10
（7）官民・官学連携、PPP・PFI などの検討	P10
（8）職員研修の充実	P11
（9）近隣市町との広域連携について	P11
（10）市民との連携	P11
6 方針の見直し	P11

貝塚市ファシリティマネジメント基本構想

1 現状

高度成長期の人口増加や行政需要の増大に伴い建設された本市の施設は、多くが老朽化し、雨漏りや電気機械設備の不良、外壁の剥落など様々な問題が発生している。限られた財源で行政サービスを実施するためには、貝塚市が保有する土地、建物、設備等市のファシリティを戦略的に維持管理・運営し、そのあり方について、次世代へのより良い財産の継承を念頭に置いた見直しを行わなければならない。

市のファシリティのうち、公共建築物は 100 施設、その総延床面積（ゴミ置き場や倉庫などの従属的な建物は除く。）は 262,108 m²になる（小中学校及び幼稚園 40%、市営住宅 24% ※令和5年3月31日現在）。

小中学校には、平成 27 年度に耐震補強工事を完了し、公営住宅においては、平成 28 年度から PFI 事業による民間ストックを活かした有効活用を実施している。

今後は、全ての施設について、一元的に情報を把握し、段階的な管理・運営の戦略を立てる必要がある。

また、公営住宅や道路、橋梁、上下水道などのインフラ資産についても、現在の更新計画等をふまえた上で、将来に向けた対応を検討する必要がある。

2 改定の背景

貝塚市公共施設等総合管理計画の改定に伴い、本市を取り巻く社会動向の変容があることも踏まえ、本市の現状に即した改定を行う。

3 ファシリティマネジメントの定義

一般的にファシリティマネジメント（以下「FM」という。）とは、「土地・建物・設備といったファシリティを対象として、経営的な視点から設備投資や管理運営を行うことにより、施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図ろうとする総合的な経営管理活動のこと」をいう。

加えて貝塚市においては、「市民と行政が長期的な変化を踏まえたうえで、市民と行政の満足度が高まるような市全体の“ワクワク”を創造するもの」と定義する。

4 目的

本構想は、貝塚市において FM を推進し、市が保有する施設等を安全・安心かつ将来的に持続可能な状態で次世代に引き継ぐことを目的とする。

1 次世代に安全・安心な施設を残す

施設の様々な情報が見える化し、そのデータを活用することで、施設を適正な状態に保ち、計画的に維持管理し、良質な資産として次世代に引き継ぐ。

2 行政サービスを安定的に供給する

厳しい財政状況と変化する社会情勢の中、必要な行政サービスを良質かつ安定的に供給するため、今後のサービスのあり方について、官民・官学連携、PFI 等幅広い手法を検討する。

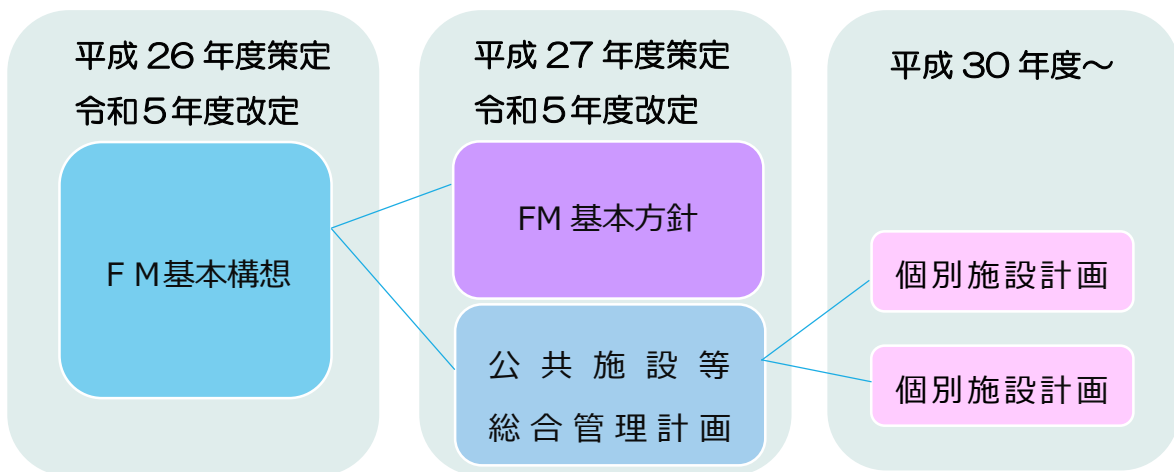
3 市有施設が効率的かつ持続的に機能することを目指し、次世代の負担を軽減する

所管部署を超えた全庁横断的なマネジメントや、市が保有する公的不動産（PRE：Public Real Estate）を活用した地域経済の好循環化などにより効果的かつ持続的な行政サービスの提供を実現し、次世代の負担を軽減する。

4 愛する公共空間があるという想いを市民と行政が共有する

市の施設は市民のものであり、その公共空間は「市民に愛され、利用され、市民と行政とによって適切に管理されることで育まれるものである。」という想いを市民と行政が共有することで、将来に向かって市民に愛される施設を引き継ぐ。

6 全体像



本構想は、「基本方針」及び「公共施設等総合管理計画」、「個別施設計画」の二層を以て実現する。

【基本方針】貝塚市 FM の基本的な考え方、推進の方策について方向性を定める。

【公共施設等総合管理計画】今後の人口・財政状況の見通しや公共施設等の現状を踏まえた公共施設等のあり方を検討し、適正な管理に関する基本的な考え方を定める。

【個別施設計画】公共施設等総合管理計画に基づき、各施設等における具体的な計画を決定する。

7 方針・計画策定体制

以下の全庁横断的な組織をもって、FM 推進の迅速な実現をめざす。



【公共施設等総合管理計画推進委員会】

総合政策部を担当する副市長を委員長、他の副市長及び教育長を副委員長、関係部長を委員とした公共施設等総合管理計画推進委員会にて、FM 基本方針・公共施設等総合管理計画の改定等、FM 推進に必要な案件を審議する。

貝塚市ファシリティマネジメント基本方針

1 ファシリティマネジメント（FM）とは

一般的に FM とは、「土地・建物・設備といったファシリティを経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用することで、最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、維持・運営するための活動のこと」をいう。

加えて貝塚市においては、「市民と行政が長期的な変化を踏まえたうえで、市民と行政の満足度が高まるような市全体の“ワクワク”を創造するもの」と定義する。

2 基本方針策定の背景と目的

（１）背景

高度成長期の人口増加や、行政需要の増大に伴い建設された多くの公共建築物及びインフラ資産（以下「公共施設等」という。）が老朽化する中、限られた財源で最適な行政サービスを実施するためには、市が保有する公共施設等の現状を明らかにし、これらの適正配置について様々な視点から見直しを行わなければなりません。

（２）目的

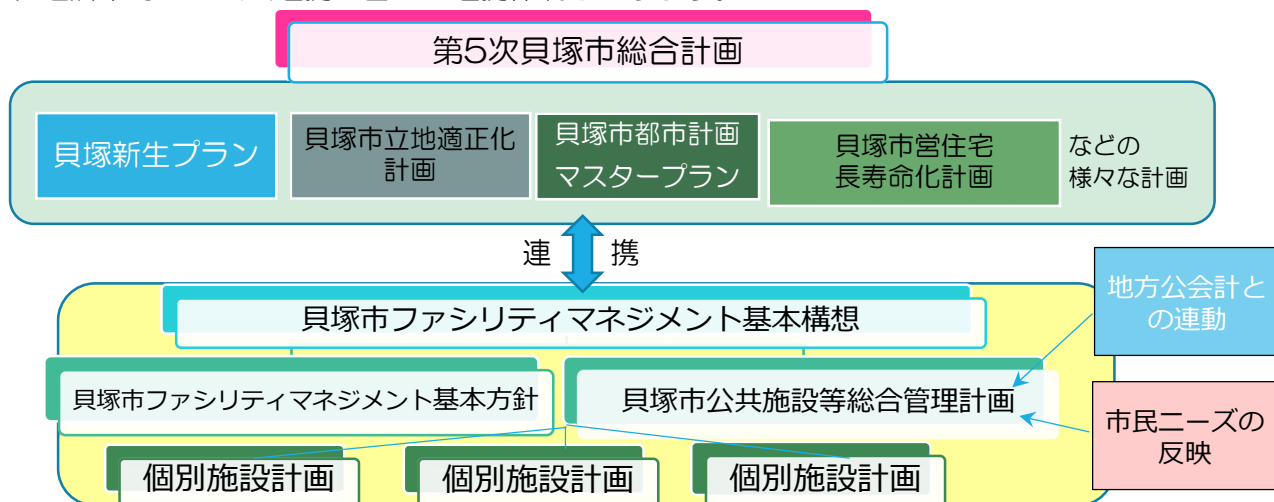
「貝塚市ファシリティマネジメント基本構想」の目的を達成するため、基本理念に沿った FM 推進の考え方を整理し、具体的な取組を実行することを目的とします。

（３）対象

貝塚市の所有する全ての公共施設等

（４）位置付け・体制

本方針は、市の最上位計画である貝塚市総合計画を公共施設等の適正管理及び有効活用の中で支えるものとし、FM 基本構想の下に位置付け、他の関連計画（プラン）との整合性を図り、近隣市町との広域連携も含めた連携体制をとります。



(1) ファシリティの保有状況

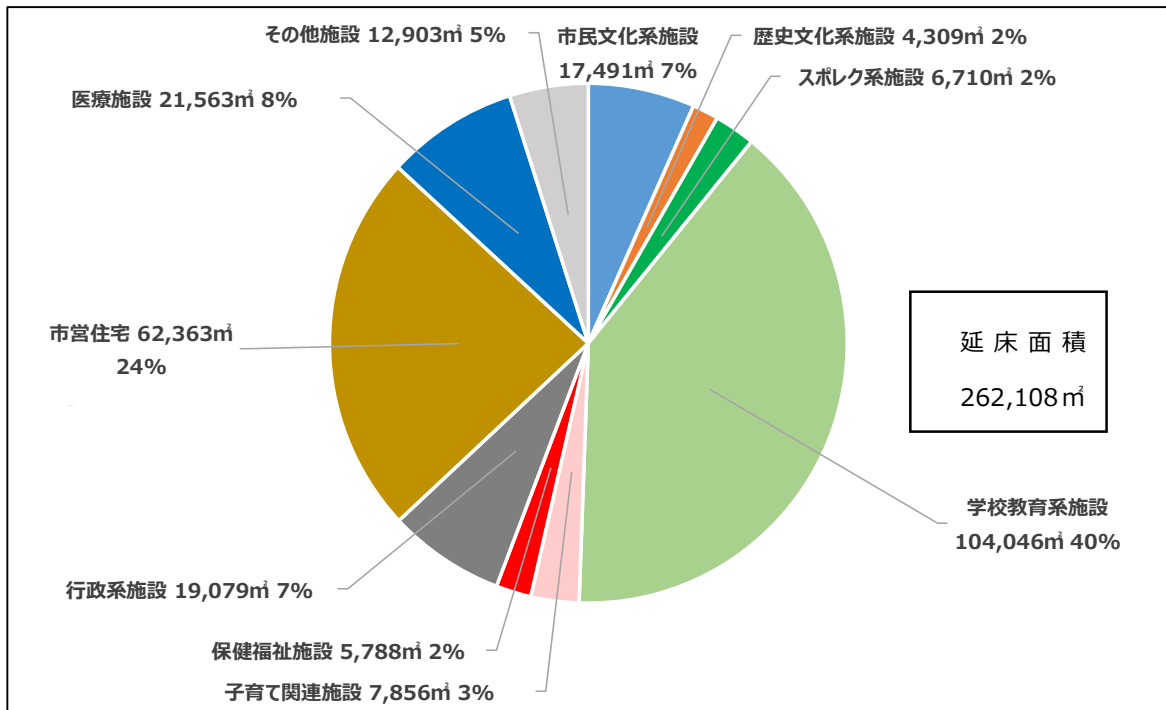
貝塚市の所有する公共建築物（水道企業会計、下水道企業会計のインフラ関連施設を除く。）の施設数は 100 施設、延床面積は 262,108 ㎡です。（令和 5 年 3 月 31 日現在）

建物全体の延床面積のうち、小・中学校が 40%と最も高い割合を占め、公営住宅が 24%と続きます。（図①参照）

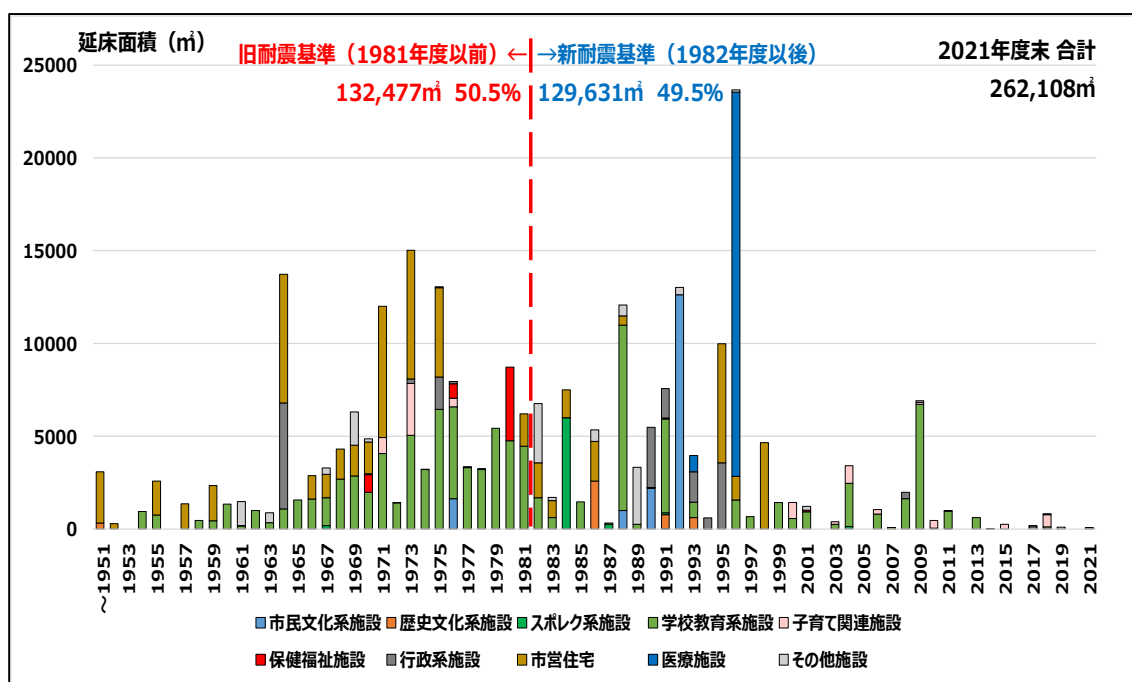
1960 年代から 1980 年代前半にかけて、学校、公営住宅、庁舎など多くの公共施設が整備され、今後はこれらの施設が大規模改修や更新の時期を迎えることになります。（図②参照）市立貝塚病院、市民文化会館（コスモシアター）など比較的新しい建物についても、施設規模が大きいことから、中長期的な維持管理・修繕の計画が必要となります。

また、道路や上下水道などのインフラ資産については、「貝塚市公共施設等総合管理計画改定版」において、それぞれの資産保有状況のデータを集約し、市全体の資産として整理します。

図① 建物面積の内訳



図② 年度別整備延べ床面積（単位：㎡）



（２）今後の人口推移の見込と財政課題

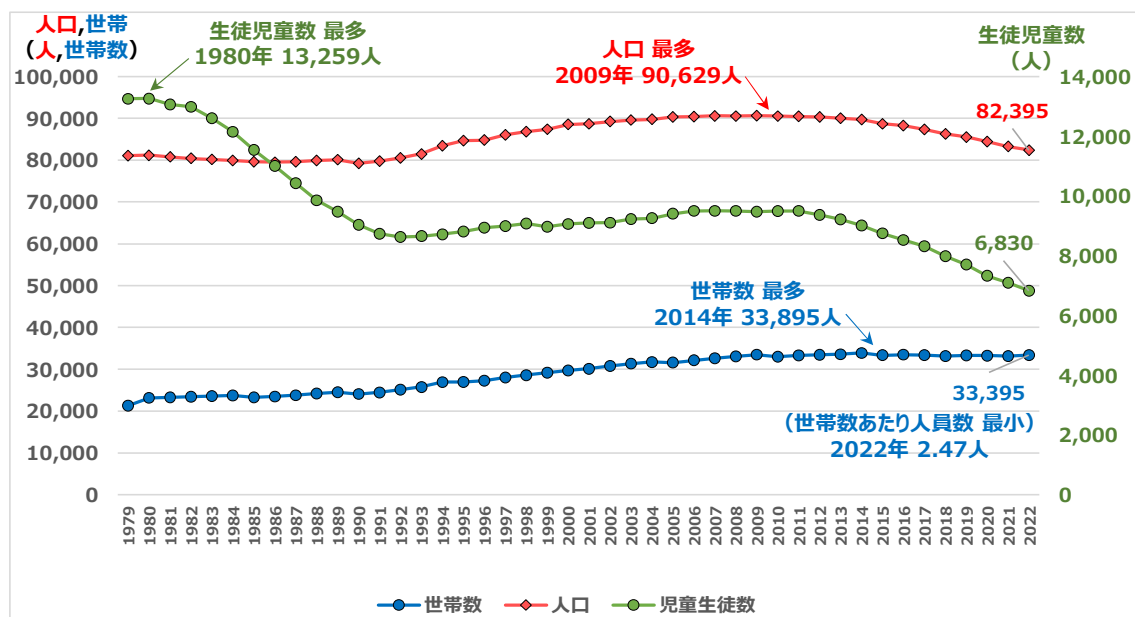
本市の人口は、1990年代に増加し、近年ではほぼ横ばいで推移していますが、児童生徒数は、1970年代後半から1980年をピークに、減少傾向にあります。（図③参照）

また、将来人口は、全国的に少子高齢化による人口減少が問題となっている中で、本市においては、「貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策の推進により、人口減少を抑制しようとしていることから、緩やかに減少することを見込んでいます。（図④参照）

公共施設等を良質な資産として次世代に引き継ぐためには、長期的な人口の推移を見据えた対応が必要です。

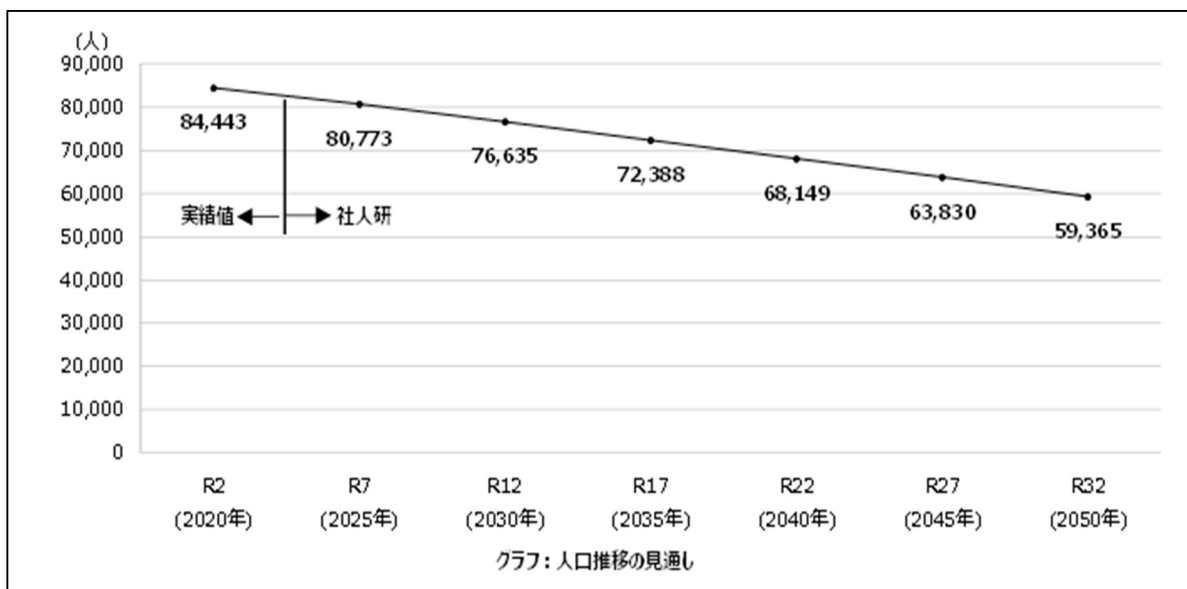
財政面においては、歳入の一般財源総額は近年横ばいで推移しており、これまでの行財政改革により人件費をはじめ経費の抑制に努めてきたものの、少子高齢化など社会情勢の変化に伴い社会保障関係経費が増加していること、また、市税収入の伸びも期待しづらい状況にある中、公共施設等の長寿命化対策など新たな歳出要因が見込まれ、その財源の確保が課題となっています。

図③住民基本台帳による人口の推移と児童生徒数（小・中学校）の推移



図④将来人口の展望

「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023)年推計）」(国立社会保障・人口問題研究所)より



(1) 安全性・快適性の向上（品質）

- ①施設管理者による各施設の日常点検の充実を図り、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、法定点検及び日常点検の結果を踏まえた効果的な工事・修繕費の予算配分を図ることで、安全性の確保に努めます。
- ②大規模改修工事などにあわせて、効率的に施設のバリアフリー化やトイレの整備、省エネルギー対策などを検討するとともに、誰もが快適に施設を使用できるよう、ユニバーサルデザイン*の導入を推進します。
- ③光熱水費や修繕・工事費などのコスト及び不具合箇所の情報を一元的に管理し、これらのデータ活用により、施設の計画的な維持管理を行い、安全性の向上と機能性の維持を図ります。
- ④施設利用者の動線に配慮したレイアウトを検討し、利便性の向上を図ります。

(2) 社会ニーズへの的確な対応（供給）

- ①世代別人口の推移や、自治体に求められる役割など、社会ニーズに対応した公共施設等のあり方について、近隣市町の強みを活かした役割分担などを検討します。
- ②常に最適なサービスを提供するため、用途変更やスペースの有効活用など柔軟に対応し、公共施設等の総量適正化を図ります。

(3) ファシリティの最適化とエネルギー消費の削減（財務）

- ①電気・機械設備などについて、運用方法の工夫や省エネ改修を実施し、資源やエネルギー・CO₂の削減など環境負荷の低減を実現します。
- ②エネルギー消費に係るコストの削減に広域で取り組み、次世代への負担軽減をめざします。
- ③余剰資産の売却や広告事業の充実、PREの有効活用を通して、財源確保や地域経済の活性化に努めます。

(4) 市民と行政の協働（愛着）

- ①公共施設等は、市民共有の財産であることから、市民に愛されるものとなるよう、市民との協働による、適正な施設管理・運営を実現します。
- ②これまで構築してきた公共施設等については、市民のニーズと今後のまちづくりを見据えたうえで、統廃合・用途変更・複合化など有効な資産としてのあり方を市民とともに考え、将来のまちづくりの進展にも柔軟に対応できる形で、次の世代へ引き継ぎます。

ユニバーサルデザイン：「すべての人のためのデザイン」を意味し、老若男女といった差異や、障がいの有無、能力などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

5 FM 推進の具体的な取組

（１）保全情報のデータベース化

公共建築物については、一般財団法人建築保全センターの「保全マネジメントシステム（以下「BIMMS（ビームス）」という。）」において以下のデータを一元的に管理し、維持保全に活用します。

- ①建物基本情報（所在地、階層、竣工年月日、建築面積、延床面積、用途など）
- ②エネルギー情報（電気、ガス、水道）
- ③工事修繕履歴
- ④公共施設点検結果

（２）公共建築物の点検実施

公共建築物の保全業務の適正化を図るため、必要な点検を実施し、結果データを一元管理することで、計画的な予算の配分と工事・修繕などの実施に繋がります。

施設点検



不具合箇所の点検結果を BIMMS にデータ保管するとともに、危険な箇所については、必要な対策を講じる。



情報管理



法定点検以外に、施設管理者による簡易点検として「貝塚市公共施設点検マニュアル」に沿った点検を実施する。（年１回以上）



計画



BIMMS に保管されている不具合箇所データと、建物基本情報、工事・修繕履歴などを活用し、適切な工事・修繕の計画を策定し適正な予算を配分する。



工事・修繕



計画に基づいた、工事・修繕を実施し、BIMMS に経緯・価格・実施事業者などのデータを保管する。

（３）行政評価との連携

本市の行政評価制度である「事務事業評価」における、施設の管理・運営にかかる直接事業費・間接事業費などのコスト情報と BIMMS の各種データとの連携を図り、有効的に活用します。

（４）維持管理手法の見直し

施設の維持管理にかかる品質の向上とコスト削減を実現するため、維持管理業務委託について、仕様書の見直しや一括委託を実施するなど、手法の見直しに取り組みます。

（５）光熱水費の削減

- ①各施設の施設管理者による光熱水費の使用量及びコストデータの管理により、コスト削減の意識を高めるとともに、蓄積したデータを比較することで、漏水など異常の早期発見や維持管理手法の見直しに活用し、光熱水費の削減に努めます。
- ②設備更新の際には、初期投資コストだけではなく、ランニングコストなどの長期的な視点で導入機器や手法を検討し、環境負荷及び財政負担の低減を図ります。

（６）ファシリティの活用による歳入確保

- ①余剰資産について、賃借・売却などを積極的に検討します。
- ②施設内のパネル・モニター広告や、公用車広告、自動販売機の設置などファシリティを活用した歳入事業を推進します。
- ③市が所有する物品のうち、不用となったものを売払い、歳入を確保する「インターネットオークション」を継続して実施します。

（７）官民・官学連携、PPP・PFI などの検討

- ①民間事業者、市民団体や大学などと、行政との適切なパートナーシップの構築を行うことで、民間事業者の創意工夫を生かし、市民が“ワクワク”するようにぎわいやまちの活性化に繋がるよう取り組みます。
- ②新規事業検討の際には、民間の技術・ノウハウ・資金などを幅広く活用することが有効な場合もあることから、民間事業者からの事業提案を活用し、PPP*及び PFI*の可能性を検討します。

【用語解説】

PPP：（Public Private Partnership）公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム（枠組みを持った計画）

PFI は、PPP の代表的な手法の一つ。PPP の中には、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営（DBO）方式、さらに包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなども含まれる。

PFI：（Private Finance Initiative）公共施設等の設計・建設・維持管理運営の全部または一部を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。

（８）職員研修の充実

- ①FM の必要性を全ての職員と共有し、その推進を実現するため、全職員を対象とした職員研修会などを積極的に開催します。
- ②施設管理者については、施設の維持・管理にあたり、専門的知識を要することから、施設管理者向けの研修会の充実を図り、公共施設点検の実施方法など、必要な知識と情報を共有します。

（９）近隣市町との広域連携

- ①泉州地域の近隣市町と合意形成を図り、適切な役割分担を行うことで、より効率的で品質の高い行政サービスの提供を実現します。
- ②新規事業検討の際には、施設のバンドリングによるスケールメリットの活用や市町間でのノウハウの共有が有効な場合もあることから、近隣市町との広域連携の可能性を検討します。

（１０）市民との連携

変化する社会情勢に的確に対応し、良質な資産を次世代に引き継ぐため、公共施設等に関する情報を市民と共有し、市民アンケートやパブリックコメントなどを活用することで、市民の意見を取り入れ、事業の推進を図ります。

また、次代を担う若い世代の意見を取り入れる仕組みづくりについても検討を行います。

６ 方針の見直し

本方針は、国の施策及び社会情勢の変化などを踏まえ、適宜見直しを行うものとします。

※ 公共建築物に加え、インフラ資産のうち、上水道関連施設の上水道施設（建築物）、下水道関連施設の下水道施設（建築物）も記載しています。

参考資料3 公共建築物の一覧

【市民文化系施設】No.01



名称 山手地区公民館
建築年月日 1991/03/01
建築延床面積 2,201.50㎡

【市民文化系施設】No.02



名称 浜手地区公民館
建築年月日 1989/03/01
建築延床面積 1,022.51㎡

【市民文化系施設】No.03



名称 シェルシアター
建築年月日 1993/08/01
建築延床面積 159.51㎡

【市民文化系施設】No.04



名称 青少年人権教育交流館
建築年月日 1976/10/15
建築延床面積 1,637.26㎡

【市民文化系施設】No.05



名称 市民文化会館 (コスモシアター)
建築年月日 1993/03/31
建築延床面積 12,470.00㎡

【歴史文化系施設】No.01



名称 市民図書館
建築年月日 1989/02/01
建築延床面積 2,599.79㎡

【歴史文化系施設】No.02



名称 歴史展示館
建築年月日 1935/03/01
建築延床面積 325.94㎡

【歴史文化系施設】No.03



名称 自然遊学館
建築年月日 1993/09/01
建築延床面積 627.71㎡

【歴史文化系施設】No.04



名称 善兵衛ランド
建築年月日 1992/02/01
建築延床面積 792.91㎡

【スポーツレクリエーション系施設】No.01



名称 ふれあい運動広場
建築年月日 1991/04/01
建築延床面積 102.00㎡

【スポーツレクリエーション系施設】No.02



名称 青少年運動広場
建築年月日 2004/08/29
建築延床面積 148.00㎡

【スポーツレクリエーション系施設】No.03



名称 総合体育館
建築年月日 1984/10/01
建築延床面積 6,016.58㎡

※ 「建築年月日」は施設の建築年月日を示します。複数棟を備える施設は代表棟の状況を示します。（共通）

※ 「建築延床面積」は施設の建築延床面積を示します。グラウンドやプール等の建築物以外の工作物等の面積は含みません。（共通）

【スポーツレクリエーション系施設】No.04



名称 市営プール
建築年月日 1988/05/01
建築延床面積 191.00 ㎡

【スポーツレクリエーション系施設】No.05



名称 旧第4プール
建築年月日 1987/06/01
建築延床面積 251.61 ㎡

【学校教育系施設】No.01



名称 東小学校
建築年月日 1971/11/01
建築延床面積 6,787.00 ㎡

【学校教育系施設】No.02



名称 西小学校
建築年月日 1981/03/01
建築延床面積 6,915.00 ㎡

【学校教育系施設】No.03



名称 南小学校
建築年月日 1971/05/01
建築延床面積 6,117.00 ㎡

【学校教育系施設】No.04



名称 北小学校
建築年月日 1967/01/01
建築延床面積 4,862.00 ㎡

【学校教育系施設】No.05



名称 津田小学校
建築年月日 1975/02/01
建築延床面積 4,181.00 ㎡

【学校教育系施設】No.06



名称 木島小学校
建築年月日 1982/03/01
建築延床面積 5,777.00 ㎡

【学校教育系施設】No.07



名称 葛城小学校
建築年月日 1980/03/01
建築延床面積 3,577.00 ㎡

【学校教育系施設】No.08



名称 中央小学校
建築年月日 1975/08/01
建築延床面積 6,796.00 ㎡

【学校教育系施設】No.09



名称 永寿小学校
建築年月日 1982/03/01
建築延床面積 6,322.00 ㎡

【学校教育系施設】No.10



名称 二色小学校
建築年月日 1989/03/01
建築延床面積 7,489.00 ㎡

※ 市営プール、旧第4プールの建築延床面積はプール管理棟を対象としています。

【学校教育系施設】No.11



名称 東山小学校
建築年月日 2010/02/01
建築延床面積 7,326.00 ㎡

【学校教育系施設】No.12



名称 第一中学校
建築年月日 1961/03/01
建築延床面積 8,166.00 ㎡

【学校教育系施設】No.13



名称 第二中学校
建築年月日 1973/12/01
建築延床面積 7,190.00 ㎡

【学校教育系施設】No.14



名称 第三中学校
建築年月日 1979/03/01
建築延床面積 6,278.00 ㎡

【学校教育系施設】No.15



名称 第四中学校
建築年月日 1976/03/01
建築延床面積 7,065.00 ㎡

【学校教育系施設】No.16



名称 第五中学校
建築年月日 1989/03/01
建築延床面積 7,503.00 ㎡

【学校教育系施設】No.17



名称 教育研究センター
建築年月日 2000/08/07
建築延床面積 546.11 ㎡

【子育て関連施設】No.01



名称 葛城認定こども園
建築年月日 2018/04/27
建築延床面積 650.42 ㎡

【子育て関連施設】No.02



名称 三ツ松認定こども園
建築年月日 1972/09/01
建築延床面積 117.91 ㎡

【子育て関連施設】No.03



名称 津田認定こども園
建築年月日 1972/03/01
建築延床面積 432.40 ㎡

【子育て関連施設】No.04



名称 木島認定こども園
建築年月日 1973/07/01
建築延床面積 833.15 ㎡

【子育て関連施設】No.05



名称 旧東幼稚園
建築年月日 1976/06/01
建築延床面積 531.04 ㎡

【子育て関連施設】No.06



名称 西幼稚園
建築年月日 2001/01/01
建築延床面積 709.00 m²

【子育て関連施設】No.07



名称 南幼稚園
建築年月日 1971/05/01
建築延床面積 764.00 m²

【子育て関連施設】No.08



名称 北幼稚園
建築年月日 1974/03/01
建築延床面積 707.00 m²

【子育て関連施設】No.09



名称 旧木島西幼稚園
建築年月日 1971/05/01
建築延床面積 455.00 m²

【子育て関連施設】No.10



名称 中央幼稚園
建築年月日 1975/08/01
建築延床面積 385.00 m²

【子育て関連施設】No.11



名称 旧子育て支援センター
建築年月日 1973/11/01
建築延床面積 1,257.47 m²

【子育て関連施設】No.12



名称 すくすく子ども館
建築年月日 2004/03/15
建築延床面積 933.35 m²

【子育て関連施設】No.13



名称 津田小学校仲よしホーム
建築年月日 2007/01/01
建築延床面積 87.34 m²

【子育て関連施設】No.14



名称 西小学校仲よしホーム
建築年月日 2010/07/01
建築延床面積 393.39 m²

【子育て関連施設】No.15



名称 南小学校仲よしホーム
建築年月日 2001/02/01
建築延床面積 144.90 m²

【子育て関連施設】No.16



名称 中央小学校仲よしホーム
建築年月日 2007/01/01
建築延床面積 340.36 m²

【子育て関連施設】No.17



名称 木島小学校仲よしホーム
建築年月日 2003/08/01
建築延床面積 132.04 m²

※ 南幼稚園、中央幼稚園の建築延床面積は幼稚園部分のみ（小学校との共用部分を除く。）を対象としています。

【子育て関連施設】No.18



名称 葛城小学校仲よしホーム
建築年月日 1991/07/01
建築延床面積 51.84 m²

【子育て関連施設】No.19



名称 東山小学校仲よしホーム
建築年月日 2010/01/01
建築延床面積 443.30 m²

【保健福祉施設】No.01



名称 やすらぎ老人福祉センター
建築年月日 1976/10/01
建築延床面積 822.41 m²

【保健福祉施設】No.02



名称 市民福祉センター
建築年月日 2022/03/31
建築延床面積 2,049.04 m²

【保健福祉施設】No.03



名称 ひと・ふれあいセンター
建築年月日 1971/02/10
建築延床面積 938.82 m²

【行政系施設】No.01



名称 市役所本館
建築年月日 2022/03/31
建築延床面積 11,998.17 m²

【行政系施設】No.02



名称 市役所別館
建築年月日 1991/03/01
建築延床面積 2,561.37 m²

【行政系施設】No.03



名称 市役所第2別館
建築年月日 1992/03/01
建築延床面積 1,593.32 m²

【行政系施設】No.04



名称 市役所分室（書庫・文化財分室）
建築年月日 1994/05/01
建築延床面積 597.96 m²

【行政系施設】No.05



名称 市役所ストックヤード
建築年月日 2012/03/01
建築延床面積 27.84 m²

【行政系施設】No.06



名称 保健福祉合同庁舎
建築年月日 1995/10/25
建築延床面積 3,570.97 m²

【行政系施設】No.07



名称 消防本部 消防署
建築年月日 1975/02/28
建築延床面積 1,659.78 m²

【行政系施設】No.08



名称 消防署 水間出張所
建築年月日 2009/01/29
建築延床面積 323.85 ㎡

【行政系施設】No.09



名称 消防署 二色出張所
建築年月日 1990/12/26
建築延床面積 641.22 ㎡

【行政系施設】No.010



名称 第1分団器具庫
建築年月日 1975/09/01
建築延床面積 83.00 ㎡

【行政系施設】No.11



名称 第2分団器具庫
建築年月日 1974/05/01
建築延床面積 83.00 ㎡

【行政系施設】No.12



名称 第3分団器具庫
建築年月日 1971/09/01
建築延床面積 53.35 ㎡

【行政系施設】No.13



名称 第4分団器具庫
建築年月日 2021/10/26
建築延床面積 87.20 ㎡

【行政系施設】No.14



名称 第5分団器具庫
建築年月日 1976/01/01
建築延床面積 83.00 ㎡

【行政系施設】No.15



名称 第6分団器具庫
建築年月日 1976/09/01
建築延床面積 103.00 ㎡

【行政系施設】No.16



名称 第7分団器具庫
建築年月日 1979/06/01
建築延床面積 64.17 ㎡

【行政系施設】No.16



名称 第8分団器具庫
建築年月日 1977/03/01
建築延床面積 67.80 ㎡

【行政系施設】No.18



名称 第9分団器具庫
建築年月日 2022/10/25
建築延床面積 77.60 ㎡

【市営住宅】No.01



名称 橋本住宅
建築年月日 1951/04/01
建築延床面積 1,893.84 ㎡

【市営住宅】No.02



名称 久保住宅
建築年月日 1951/04/01
建築延床面積 224.72 ㎡

【市営住宅】No.03



名称 沢住宅
建築年月日 1995/10/11
建築延床面積 3,449.02 ㎡

【市営住宅】No.04



名称 近義川住宅
建築年月日 1957/04/01
建築延床面積 1,328.64 ㎡

【市営住宅】No.05



名称 三ツ松住宅
建築年月日 1959/04/01
建築延床面積 1,685.40 ㎡

【市営住宅】No.06



名称 第2橋本住宅
建築年月日 1961/04/01
建築延床面積 6,852.76 ㎡

【市営住宅】No.07



名称 東住宅
建築年月日 1971/04/01
建築延床面積 35,917.47 ㎡

【市営住宅】No.08



名称 福田住宅
建築年月日 1937/04/01
建築延床面積 550.60 ㎡

【市営住宅】No.09



名称 脇浜住宅
建築年月日 1966/04/01
建築延床面積 9,132.41 ㎡

※沢住宅は中層耐火構造の1期、2期により構成され、建築年月日は「中耐1期」の情報を示しています。

※東住宅は中層耐火構造の7～33棟、高層耐火構造の1～2棟、木造住宅群により構成され、建築年月日は「中耐7棟」の情報を示しています。

※脇浜住宅は中層耐火構造の1～6棟、木造住宅群（簡易耐火構造含む）により構成され、建築年月日は「中耐1棟」の情報を示しています。

【医療施設】No.01



名称 市立貝塚病院
 建築年月日 1996/06/28
 建築延床面積 20,691.46 ㎡

【医療施設】No.02



名称 職員宿舎
 建築年月日 1994/03/24
 建築延床面積 771.52 ㎡

【医療施設】No.03



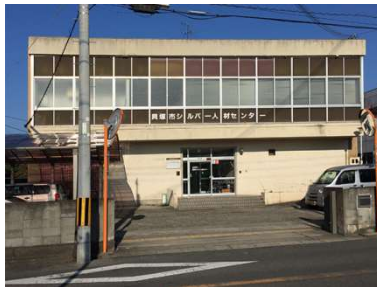
名称 託児所
 建築年月日 1994/03/24
 建築延床面積 100.00 ㎡

【その他】No.01



名称 衛生事業所
 建築年月日 1982/10/01
 建築延床面積 1,823.03 ㎡

【その他】No.02



名称 合同センター
 建築年月日 1964/03/01
 建築延床面積 526.40 ㎡

【その他】No.03



名称 二色センター
 建築年月日 1989/03/01
 建築延床面積 678.86 ㎡

【その他】No.04



名称 公園墓地管理棟
 建築年月日 1993/03/01
 建築延床面積 302.42 ㎡

【その他】No.05



名称 斎場
 建築年月日 1982/12/25
 建築延床面積 616.74 ㎡

【その他】No.06



名称 忠霊塔
 建築年月日 1958/05/05
 建築延床面積 50.00 ㎡

【その他】No.07



名称 東共同浴場
 建築年月日 1967/04/01
 建築延床面積 371.50 ㎡

【その他】No.08



名称 文化財仮設収納庫（中央線石才高架下）
 建築年月日 1997/03/21
 建築延床面積 131.49 ㎡

【その他】No.09



名称 文化財仮設収納庫（半田浄水場跡地）
 建築年月日 2002/03/01
 建築延床面積 223.50 ㎡

【その他】No.10



名称 東共同作業所
建築年月日 1971/05/01
建築延床面積 162.00 m²

【その他】No.11



名称 水間公園管理棟
建築年月日 1988/04/01
建築延床面積 186.20 m²

【その他】No.12



名称 旧水間ポンプ場
建築年月日 1969/11/04
建築延床面積 366.00 m²

【その他】No.13



名称 ドローン・クリケットフィールド研 修 施 設
建築年月日 2018/04/01
建築延床面積 78.30 m²

【その他】No.14



名称 ドローン・クリケットフィールド管 理 棟
建築年月日 2019/04/01
建築延床面積 54.09 m²

【その他】No.15



名称 里山交流センター
建築年月日 2020/04/01
建築延床面積 107.64 m²

【その他】No.16



名称 かいつか いぶき温泉(体育館)
建築年月日 1987/02/23
建築延床面積 628.99 m²

【その他】No.17



名称 旧貝塚養護学校
建築年月日 1959/11/01~1989/10/01
建築延床面積 5,690.61 m²

【上水道施設】No.01



名称 津田浄水場
建築年月日 2016/06/30
建築延床面積 3,979.54 m²

【上水道施設】No.02



名称 ミツ松受水場
建築年月日 1999/03/01
建築延床面積 235.70 m²

【上水道施設】No.03



名称 ミケ山配水場
建築年月日 1999/03/01
建築延床面積 138.58 m²

【上水道施設】No.04



名称 東山配水場
建築年月日 2003/03/01
建築延床面積 127.46 m²

【上水道施設】No.05



名称 木積中継ポンプ場
建築年月日 2006/03/01
建築延床面積 29.42 ㎡

【上水道施設】No.06



名称 蕎原浄水施設
建築年月日 1960/03/01
建築延床面積 13.24 ㎡

【上水道施設】No.07



名称 蕎原中継ポンプ場
建築年月日 2015/07/01
建築延床面積 66.90 ㎡

【下水道施設】No.01



名称 二色の浜雨水ポンプ場
建築年月日 1992/04/01
建築延床面積 2,432.59 ㎡

【下水道施設】No.02



名称 津田雨水ポンプ場
建築年月日 1990/11/11
建築延床面積 1,030.82 ㎡

【下水道施設】No.03



名称 見落川雨水ポンプ場
建築年月日 1982/05/01
建築延床面積 179.60 ㎡

【下水道施設】No.04



名称 三味川雨水ポンプ場
建築年月日 1982/05/01
建築延床面積 53.84 ㎡

【下水道施設】No.05



名称 清名台マンホールポンプ場
建築年月日 1975/10/01
建築延床面積 37.92 ㎡

【下水道施設】No.06



名称 清名台第二マンホールポンプ場
建築年月日 1975/10/01
建築延床面積 50.19 ㎡

参考資料 4 各施設の行政コストを面積按分

1) 公共建築物の現況

No	中分類	名称	建築年	建築延床面積 (㎡)	令和4年度		歳入額 (1㎡) (歳入額/面積)	歳出額 (1㎡) (歳出額/面積)
					歳入額	歳出額		
1	集会施設	山手地区公民館	1991年	2,201.50	1,986,459	80,340,134	902	36,493
2		浜手地区公民館	1989年	1,022.51	929,183	16,655,414	909	16,289
3		シェルシアター	1993年	159.51	0	114,200	0	716
4		青少年人権教育交流館	1976年	1,637.26	145,354	10,674,492	89	6,520
5	文化施設	市民文化会館 (コスモシアター)	1993年	12,470.00	22,575,801	160,591,963	1,810	12,878
		市民文化会館 [中央公民館]	1993年	12,470.00	1,092,021	15,856,255	88	1,272
6	図書館	市民図書館	1989年	2,599.79	2,141,413	73,743,161	824	28,365
7	博物館など	歴史展示館	1935年	325.94	0	2,413,782	0	7,406
8		自然遊学館	1993年	627.71	43,200	36,353,661	69	57,915
9		善兵衛ランド	1992年	792.91	143,360	48,824,857	181	61,577
10	スポーツ 施設	ふれあい運動広場	1991年	102.00	4,620,200	12,563,705	45,296	123,174
11		青少年運動広場	2004年	148.00	927,000	4,569,899	6,264	30,878
12		総合体育館	1984年	6,016.58	4,362,200	49,702,667	725	8,261
13		市営プール	1988年	191.00	550,075	17,308,415	2,880	90,620
14		旧第4プール	1987年	251.61	-	-	-	-
15	学校	東小学校	1971年	6,787.00	3,745,634	114,017,805	552	16,799
16		西小学校	1981年	6,915.00	3,910,965	119,050,511	566	17,216
17		南小学校	1971年	6,117.00	3,974,870	120,995,801	650	19,780
18		北小学校	1967年	4,862.00	3,008,360	91,575,030	619	18,835
19		津田小学校	1975年	4,181.00	2,409,661	73,350,548	576	17,544
20		木島小学校	1982年	5,777.00	3,213,902	97,831,789	556	16,935
21		葛城小学校	1980年	3,577.00	1,970,277	59,975,608	551	16,767
22		中央小学校	1975年	6,796.00	3,902,245	118,785,083	574	17,479
23		永寿小学校	1982年	6,322.00	3,555,937	108,243,381	562	17,122
24		二色小学校	1989年	7,489.00	4,176,905	127,145,785	558	16,978
25		東山小学校	2010年	7,326.00	4,079,098	124,168,502	557	16,949
26		第一中学校	1961年	8,166.00	4,326,562	131,701,360	530	16,128
27		第二中学校	1973年	7,190.00	3,910,016	119,021,634	544	16,554
28		第三中学校	1979年	6,278.00	3,223,251	98,116,355	513	15,629
29		第四中学校	1976年	7,065.00	3,768,908	114,726,282	533	16,239
30		第五中学校	1989年	7,503.00	4,109,536	125,095,063	548	16,673
31	教育施設	教育研究センター	2000年	546.11	15,524	3,681,459	28	6,741
32	認定こども園	葛城認定こども園	2018年	650.42	22,957,738	119,822,555	35,297	184,223
33		三ツ松認定こども園	1972年	117.91	31,107,767	162,359,728	263,826	1,376,980
34		津田認定こども園	1972年	432.40	31,991,246	166,970,838	73,985	386,149
35		木島認定こども園	1973年	833.15	34,973,471	182,535,870	41,977	219,091

No	中分類	名称	建築年	建築延床面積 (㎡)	令和4年度		歳入額 (1㎡) (歳入額/面積)	歳出額 (1㎡) (歳出額/面積)
					歳入額	歳出額		
36	幼稚園	旧東幼稚園	1976年	531.04	1,819,873	8,915,395	3,427	16,789
37		西幼稚園	2001年	709.00	2,429,159	11,900,233	3,426	16,785
38		南幼稚園	1971年	764.00	1,932,827	9,468,746	2,530	12,394
39		北幼稚園	1974年	707.00	2,420,318	11,856,918	3,423	16,771
40		旧木島西幼稚園	1971年	455.00	1,868,777	9,154,968	4,107	20,121
41		中央幼稚園	1975年	385.00	1,727,207	8,461,433	4,486	21,978
42		旧子育て支援センター	1973年	1,257.47	4,309,348	21,111,107	3,427	16,789
43	幼児・ 児童施設	すくすく子ども館	2004年	933.35	941,997,034	1,329,850,419	1,009,265	1,424,814
44		津田小学校仲よしホーム	2007年	87.34	87,586,119	123,648,412	1,002,818	1,415,713
45		西小学校仲よしホーム	2010年	393.39	394,498,550	556,927,510	1,002,818	1,415,713
46		南小学校仲よしホーム	2001年	144.90	145,308,320	205,136,877	1,002,818	1,415,713
47		中央小学校仲よしホーム	2007年	340.36	341,319,115	481,852,226	1,002,818	1,415,713
48		木島小学校仲よしホーム	2003年	132.04	132,412,081	186,930,803	1,002,818	1,415,713
49		葛城小学校仲よしホーム	1991年	51.84	51,986,082	73,390,585	1,002,818	1,415,713
50		東山小学校仲よしホーム	2010年	443.30	444,549,194	627,585,768	1,002,818	1,415,713
51	高齢福祉施設	やすらぎ老人福祉センター	1976年	822.41	201,500	7,777,749	245	9,457
52	社会福祉施設	市民福祉センター	2022年	2,049.04	26,540,934	6,952,542	12,953	3,393
53		ひと・ふれあいセンター	1971年	938.82	7,971,950	24,354,421	8,491	25,942
54	庁舎など	市役所本館	2022年	11,998.17	11,059,306	124,190,687	922	10,351
55		市役所別館	1991年	2,561.37	0	7,016,206	0	2,739
56		市役所第2別館	1992年	1,593.32	541,928	19,649,632	340	12,333
57		市役所分室 (書庫・文化財分室)	1994年	597.96	0	588,409	0	984
58		市役所ストックヤード	2012年	27.84	0	0	0	0
59		保健福祉合同庁舎	1995年	3,570.97	7,089,961	59,207,735	1,985	16,580
60	消防施設	消防本部 消防署	1975年	1,659.78	12,978,011	142,380,938	7,819	85,783
61		消防署 水間出張所	2009年	323.85	2,532,221	27,780,830	7,819	85,783
62		消防署 二色出張所	1990年	641.22	5,013,773	55,005,787	7,819	85,783
63		第1分団器具庫	1975年	83.00	656,806	7,205,774	7,913	86,817
64		第2分団器具庫	1974年	83.00	625,529	6,862,641	7,536	82,682
65		第3分団器具庫	1971年	53.35	417,150	4,576,524	7,819	85,783
66		第4分団器具庫	2021年	87.20	681,827	7,480,279	7,819	85,783
67		第5分団器具庫	1976年	83.00	625,529	6,862,641	7,536	82,682
68		第6分団器具庫	1976年	103.00	805,369	8,835,651	7,819	85,783
69		第7分団器具庫	1979年	64.17	501,753	5,504,696	7,819	85,783
70		第8分団器具庫	1977年	67.80	530,136	5,816,089	7,819	85,783
71		第9分団器具庫	2022年	77.60	606,763	6,656,762	7,819	85,783

No	中分類	名称	建築年	建築延床面積 (㎡)	令和4年度		歳入額 (1㎡) (歳入額/面積)	歳出額 (1㎡) (歳出額/面積)
					歳入額	歳出額		
72	市営住宅	橋本住宅	1951年	1,893.84	4,811,296	11,618,434	2,540	6,135
73		久保住宅	1951年	224.72	570,901	1,378,625	2,540	6,135
74		沢住宅	1995年	3,449.02	8,762,226	21,159,239	2,540	6,135
75		近義川住宅	1957年	1,328.64	3,375,406	8,151,014	2,540	6,135
76		三ツ松住宅	1959年	1,685.40	4,281,754	10,339,685	2,540	6,135
77		第2橋本住宅	1961年	6,852.76	17,409,419	42,040,691	2,540	6,135
78		東住宅	1971年	35,917.47	91,248,239	220,348,480	2,540	6,135
79		福田住宅	1937年	550.60	1,398,798	3,377,851	2,540	6,135
80		脇浜住宅	1966年	9,132.41	23,200,864	56,026,014	2,540	6,135
81	医療施設	市立貝塚病院	1996年	20,691.46	15,773,360,143	15,148,078,563	762,313	732,093
82		職員宿舎	1994年	771.52	588,139,397	564,824,598	762,313	732,093
83		託児所	1994年	100.00	76,231,257	73,209,327	762,313	732,093
84	その他	衛生事業所	1982年	1,823.03	637,440	189,390,424	350	103,888
85		合同センター	1964年	526.40	338,000	123,600	642	235
86		二色センター	1989年	678.86	0	674,696	0	994
87		公園墓地管理棟	1993年	302.42	30,282,000	26,707,299	100,132	88,312
88		斎場	1982年	616.74	18,681,950	35,074,190	30,291	56,870
89		忠霊塔	1958年	50.00	40,897	0	818	0
90		東共同浴場	1967年	371.50	6,011,350	18,111,452	16,181	48,752
91		文化財仮設収納庫 (中央線石才高架下)	1997年	131.49	0	0	0	0
92		文化財仮設収納庫 (半田浄水場跡地)	2002年	223.50	0	26,316	0	118
93		東共同作業所	1971年	162.00	0	0	0	0
94		水間公園管理棟	1988年	186.20	0	-	0	-
95		旧水間ポンプ場	1969年	366.00	0	0	0	0
96		ドローン・クリケットフィールド 研修施設	2018年	78.30	1,442,597	198,348	18,424	2,533
97		ドローン・クリケットフィールド 管理棟	2019年	54.09	996,553	137,019	18,424	2,533
98		里山交流センター	2020年	107.64	9,100	257,395	85	-
99		かいづか いぶき温泉 (体育館)	1987年	628.99	0	0	0	0
100		旧貝塚養護学校	1959年～ 1989年	5,690.61	-	-	-	-

2) インフラ資産の現況

No	中分類	名称	建築年	建築延床面積 (㎡)	令和4年度		歳入額 (/㎡) (歳入額/面積)	歳出額 (/㎡) (歳出額/面積)
					歳入額	歳出額		
101	上水道施設	津田浄水場	2016年	3,979.54	1,714,066,054	1,701,445,583	430,720	427,548
102		三ツ松受水場	1999年	235.70	101,520,620	100,773,136	430,720	427,548
103		三ヶ山配水場	1999年	138.58	59,689,128	59,249,644	430,720	427,548
104		東山配水場	2003年	127.46	54,899,526	54,495,307	430,720	427,548
105		木積中継ポンプ場	2006年	29.42	12,671,772	12,578,471	430,720	427,548
106		蕎原浄水施設	1960年	13.24	5,702,728	5,660,740	430,720	427,548
107		蕎原中継ポンプ場	2015年	66.90	28,815,144	28,602,982	430,720	427,548
108	下水道施設	二色の浜雨水ポンプ場	1992年	2,432.59	1,549,535,154	1,489,142,585	636,990	612,163
109		津田雨水ポンプ場	1990年	1,030.82	656,621,884	631,030,285	636,990	612,163
110		見落川雨水ポンプ場	1982年	179.60	114,403,378	109,944,548	636,990	612,163
111		三味川雨水ポンプ場	1982年	53.84	34,295,534	32,958,878	636,990	612,163
112		清名台マンホールポンプ場	1975年	37.92	24,154,655	23,213,236	636,990	612,163
113		清名台第二マンホールポンプ場	1975年	50.19	31,970,521	30,724,481	636,990	612,163

参考資料 5 貝塚市公共施設の利用状況およびあり方に関する市民アンケート

公共施設等についての市民の利用状況、利用する理由、利用しにくい理由を把握するほか、今後の公共施設等のあり方について市民の考え方を捉えるため、書面による市民アンケートと、直接対面にもとづく市民意見交換会を実施し、公共施設等に関する市民ニーズを把握した。

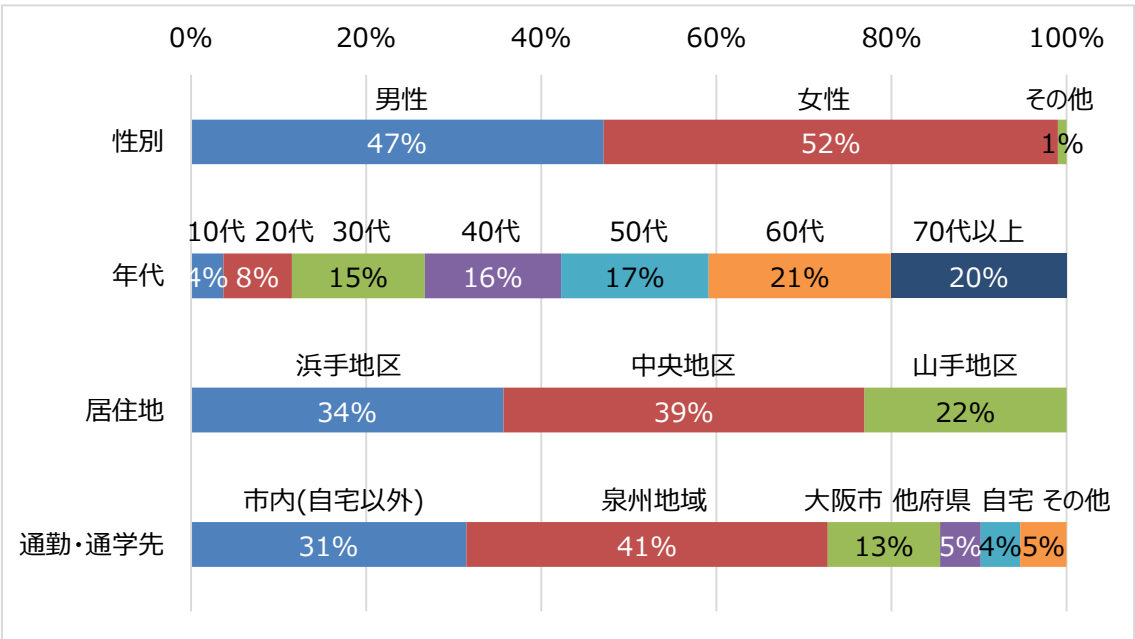
5.1 概要

市が保有する公共施設の市民の皆様の利用状況を把握し、今後必要な行政サービスや、将来の市民負担を軽減するための方法を検討し、取組の実効性を高めるため、公共施設についての市民ニーズを定量的に把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

この市民アンケート調査は、市内 11 小学校区ごとの居住者数の割合と、年齢階層別の構成および男性女性半数となるよう考慮し、15 歳以上の市民を住民基本台帳から無作為に抽出した約 3,000 人を対象に実施したものである。2023 年（令和 5 年）10 月に郵送配布、郵送および WEB 回答により実施し、941 件の有効回答（回答率 31.4%）を得たものである。（市民アンケートの詳細は、資料編参照）

		回答率	
対象件数	3,000 件		
回答件数	941 件	31.4%	
	うち WEB 回答	(132 件)	(4.4%)

回答者の主な属性は次に示すとおりであり、若年層（30 代以下）より高齢層（60 代以上）からの回答が多いほか、貝塚市内（自宅含む）への通勤・通学者は 31%となっている。



＜1～3位の順位をたずねる質問の総合ポイントの算出について＞

選択肢のうち、回答者の考えに当てはまる順に1～3位の順位をたずねる質問については、各順位別の集計に加え、総合ポイントを算出し、選択肢間の比較分析に用いることとした。総合ポイントの算出にあたっては、1～3位にそれぞれ以下のポイントを与え、回答者数に乗じた数値の和を各選択肢のポイントとした。

1位 → 3ポイント

2位 → 2ポイント

3位 → 1ポイント

＜地区別の集計について＞

「問6 居住小学校区」の回答を、以下の区分に従って集計し、クロス集計に用いた。

区分	居住小学校区
浜手地区	二色小学校・北小学校・西小学校・津田小学校
中央地区	南小学校・中央小学校・東小学校
山手地区	永寿小学校・木島小学校・東山小学校・葛城小学校

5.2 調査項目

1. あなたご自身について

問 1 性別

問 2 年代

問 3 職業

問 4 通勤・通学先

問 5 通勤・通学先までの交通手段（複数ある場合は全ての番号に○）

問 6 居住小学校区

2. 公共施設の利用頻度について

問 7 公共施設の利用頻度（施設ごと）

問 8 問 7 の施設のうち、あなたが最もよく利用する施設（具体的な施設名を回答）

3. 最もよく利用する公共施設について（問 8 で回答した施設について回答）

問 9 利用の時の予約の状況

問 10 利用の際に使用する交通機関

問 11 誰とよく利用するか

問 12 よく利用される曜日（平日／土曜日／日曜日・祝日）と時間帯

4. 今後の公共施設のあり方について

問 13 今後、公共施設の整備や維持管理を、どのように進めていくべきか

問 14 今後も貝塚市内にあってほしい公共施設（1～3 位を回答）

問 15 無料で行政サービスを提供している公共施設の今後（1～3 位を回答）

問 16 有料で行政サービスを提供している公共施設の今後（1～3 位を回答）

問 17 公共施設のあり方を検討する際に重視・優先すべき視点（1～3 位を回答）

問 18 今ある公共施設を利用していく場合の考え方

問 19 公共施設を減らさなければならなくなった場合の考え方（1～3 位を回答）

問 20 近隣市町・泉州地域で公共施設を共同で維持管理していく場合のアイデア（自由記入）

5. 自由意見

<参考 調査票>

貝塚市公共施設の利用状況およびあり方に関する 市民アンケート調査票

日頃から市政全般にわたりご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、少子高齢化や人口減少、施設の老朽化が進む中、限られた財源を有効活用し、公共施設をどのように維持・更新していくかが、大きな課題となっています。そのため、市では公共施設の最適な配置と効果的な管理運営のあり方を示す「貝塚市公共施設等総合管理計画」を定めて、その推進に取り組んでいます。

このたび、上記計画の改訂にあたり、市が保有する公共施設の市民の皆様の利用状況を把握し、今後必要な行政サービスや、将来の市民負担を軽減するための方法を検討し、取組の実効性を高めることを目的として、アンケート調査を実施することといたしました。

本アンケート調査は、無作為に抽出した約3,000人を対象に実施しております。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の目的をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

<ご回答にあたってのお願い>

- ・お送りした封筒のあて名のご本人がご回答ください。
なお、ご自身でのご記入が困難な場合にはご家族の方などに代筆をお願いしていただくか、下記のお問合わせ先にご連絡いただければ、訪問等により記入の補助をさせていただきます。
- ・調査票・返信用封筒には住所・氏名をご記入いただく必要はありません。
- ・調査は幅広い年代の方からご意見をお伺いする関係上、同世帯に複数の調査票が届く場合がありますが、ご協力をお願いいたします。（15歳以上の方が対象です）
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和5年10月29日(日曜日)まで**にポストに投函してください。
または、下記のURLまたはQRコードから、Webアンケートにご回答ください。なお、電子送付に係る通信料等の経費は回答者様のご負担となります。

【URL】 <https://forms.gle/esxCTGfEBXHi5Zcm9>

- ・回答は全て統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。
- ・調査についての質問がありましたら、下記までお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

貝塚市総合政策部 行財政管理課 公共施設マネジメント室 担当：榎本、井上
TEL：072-433-7393(直通)

1. あなたご自身について

あなたご自身について、当てはまるものを1つ選び、番号に○をおつけください。

問1 性別

1. 男 2. 女 3. 回答しない

問2 年代

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問3 職業

1. 会社員・公務員等 2. 自営業 3. アルバイトなどの臨時雇用
4. 学生 5. 専業主婦・主夫 6. 無職
7. その他（ ）

問4 通勤・通学先

1. 貝塚市内（自宅以外） 2. 泉州地域（＊）
3. 大阪市 4. 他府県
5. 自宅 6. その他（ ）

（＊）泉州地域…堺市・高石市・泉大津市・和泉市・忠岡町・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・田尻町・泉南市・阪南市・岬町の9市4町の範囲

問5 通勤・通学先までの交通手段（複数ある場合は全ての番号に○）

1. 鉄道 2. バス 3. 自家用車 4. タクシー
5. 自転車・バイク 6. 徒歩 7. なし（職場が自宅である場合）

問6 居住小学校区

1. 西小学校区 2. 北小学校区 3. 中央小学校区
4. 東小学校区 5. 津田小学校区 6. 木島小学校区
7. 葛城小学校区 8. 東山小学校区 9. 南小学校区
10. 永寿小学校区 11. 二色小学校区

2. 公共施設の利用頻度について

問7 あなたは次の公共施設をどのくらい利用していますか。

利用状況を公共施設ごとに1つ選択（該当する欄に○）してください。

	1.よく利用する (月1回以上)	2.たまに利用する (年に数回程度)	3.ほとんど 利用しない	4.利用したこと がない
1. 市民文化系施設				
公民館				
青少年権教育交流館				
コスモシアター				
シェルシアター				
2. 歴史文化系施設				
市民図書館				
歴史展示館				
善兵衛ランド				
自然遊学館				
3. スポーツ・レクリエーション系施設				
市立総合体育館				
市営プール				
青少年運動広場				
ふれあい運動公園				
4. 子育て関連施設				
すくすく子ども館				
5. 保健福祉施設				
市民福祉センター				
やすらぎ老人福祉センター				
ひと・ふれあいセンター				
6. 医療施設				
市立貝塚病院				
7. その他施設				
(施設名:)				

問8 問7の施設のうち、あなたが最もよく利用する施設について、
具体的な施設名を以下にお書きください。

施設名

3. 最もよく利用する公共施設について

問8で回答された、最もよく利用する施設についてお聞きします。

問9 ご利用の時に予約されますか。当てはまるものを以下の中から1つ選び、番号に○をおつけください。

1. 利用する時は常に予約する 2. 時々予約する
3. ほとんど予約しない 4. 予約したことがない
5. 予約制度やシステムが施設にない

問10 利用の際に使用する交通機関を全て選んで、番号に○をおつけください。

1. 鉄道 2. バス 3. 自家用車 4. タクシー
5. 自転車・バイク 6. 徒歩

問11 誰とよく利用されますか。

最も当てはまるものを以下の中から1つ選び、番号に○をおつけください。

1. 1人で利用する 2. 家族と利用する 3. 友人と利用する
4. 所属団体やサークル等で利用する 5. 職場の人と利用する
6. その他（ ）

問12 よく利用される曜日（平日／土曜日／日曜日・祝日）と時間帯のうち、
最も多いものを以下の中からそれぞれ1つ選び、番号に○をおつけください。

- <曜日> 1. 平日（月～金曜日） 2. 土曜日 3. 日曜日・祝日
<時間帯> 1. 午前（9～12時） 2. 午後（12～17時） 3. 夜間（17～20時）

4. 今後の公共施設のあり方について

問 13 今後、公共施設の整備や維持管理を、どのように進めていくべきと思われますか。
あなたの考えに最も当てはまるものを以下の中から1つ選び、番号に○をおつけください。

1. 公共施設はまだ不足しているので今後も新たな整備を進める
2. 現在ある公共施設を修繕や長寿命化してできるだけ維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える
3. 公共施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況を考慮して減らす
4. わからない
5. その他（ ）

問 14 あなたが今後も貝塚市内にあってほしいと思われる公共施設はどれですか。
あなたの考えに当てはまるものから順に番号を1～3位の欄それぞれにお書きください。

1 位	2 位	3 位

1. 市民文化系施設
(例) 公民館、青少年健康教育交流館、コスモシアター、シェルシアター
2. 歴史文化系施設
(例) 市民図書館、歴史展示館、善兵衛アト、自然遊学館
3. スポーツ・レクリエーション系施設
(例) 市立総合体育館、市営プール、青少年運動広場、ふれあい運動公園
4. 子育て関連施設
(例) すくすく子ども館
5. 保健福祉施設
(例) 市民福祉センター、やすらぎ老人福祉会、ひと・ふれあいセンター
6. 医療施設
(例) 市立貝塚病院
7. その他施設
()

問 15 今後、厳しい財政状況が予測される中、無料で行政サービスを提供している公共施設において、今後も必要な行政サービスを維持するには、どうすればよいと思われますか。
あなたの考えに当てはまるものから順に番号を1～3位の欄それぞれにお書きください。

1 位	2 位	3 位

1. 施設の統廃合や機能の複合化を進める
2. 近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う
3. 民間に管理運営を任せするなど、民間のノウハウや資金を活用する
4. 地域に密着した施設は地元住民等が維持管理を行う
5. 古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る
6. その他（ ）

問 16 今後、厳しい財政状況が予測される中、有料で行政サービスを提供している公共施設(例：テニスコート1面 利用料1時間400円や、体育館体育室 利用料3時間1,800円)において、今後も必要な行政サービスを維持するには、どうすればよいと思われますか。
あなたの考えに当てはまるものから順に番号を1～3位の欄それぞれにお書きください。

1 位	2 位	3 位

1. 同様の民間施設並みに利用料を引き上げる
2. 税金により、市民全体で更新費用を負担する
3. ほかの行政サービスを見直してでも、利用者の負担は増やすべきではない
4. その他（ ）

問 17 今後、市が公共施設のあり方を検討する際に、どのような視点を重視・優先すべきですか。
あなたの考えに当てはまるものから順に番号を1～3位の欄それぞれにお書きください。

1 位	2 位	3 位

1. 今後の施設利用者数の見通し(需要と供給のバランス)
2. 施設内の快適性や提供されるサービスの内容(行政サービスの質)
3. 施設の運営コストや採算性等(財政への影響・費用対効果)
4. 施設の老朽化や耐震性(施設の安全性)
5. 施設配置や立地のバランス(地域間の公平性や施設の適正配置)・交通利便性(立地場所)
6. 施設における省エネ化やリサイクル資源の活用等の取組状況(環境負荷の低減度合い)
7. その他（ ）

問 18 今後、厳しい財政状況が予測される中、今ある公共施設を利用していく場合、あなたの考えに最も当てはまるものを以下の中から1つ選び、番号に○をおつけください。

1. 複数の公共サービス機能を持つ複合施設として利用すべき
2. 別の用途に転用して利用すべき
3. 余ったスペースを貸出すなどして利用すべき
4. 利用者が少ない公共施設を減らすべき
5. 運営手法(民間委託など)を検討すべき
6. その他（ ）

問 19 今後、厳しい財政状況が予測される中、仮に公共施設を減らさなければならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思われますか。あなたの考えに当てはまるものから順に番号を1～3位の欄それぞれにお書きください。

1 位	2 位	3 位

1. 利用者が少ない施設
2. 公共性が低く、民間で運営できる施設
3. 同じ地域の中に目的や機能が重複した類似施設がある場合
4. 維持管理費がかかりすぎる施設
5. 交通の便が悪い施設
6. 建物や設備が古くなった施設
7. その他（ ）

問 20 今後、近隣市町・泉州地域で公共施設を共同で維持管理していくことを検討する場合、このような公共施設があったらいいなどの、あなたのアイデアを以下の欄に自由にお書きください。

5. 自由意見

貝塚市の公共施設について、ご自由にご意見をお書きください。

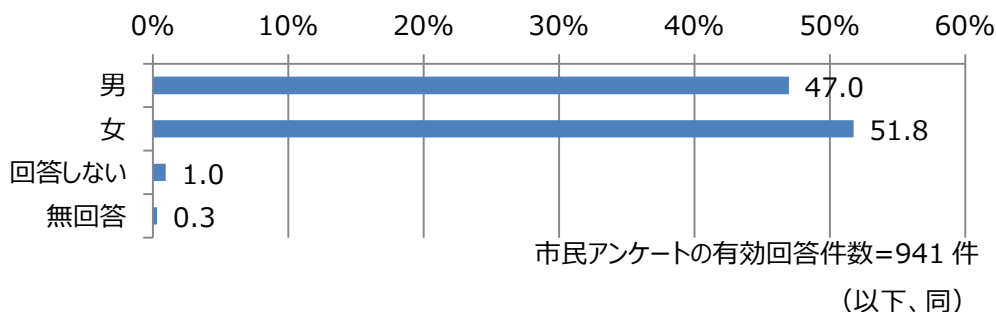
ご回答ありがとうございました。10月29日(日曜日)までに、ご投函またはURL・QRコードによるWeb回答のいずれかでご回答をお願いいたします。

5.3 調査結果（単純集計）

1. あなたご自身について

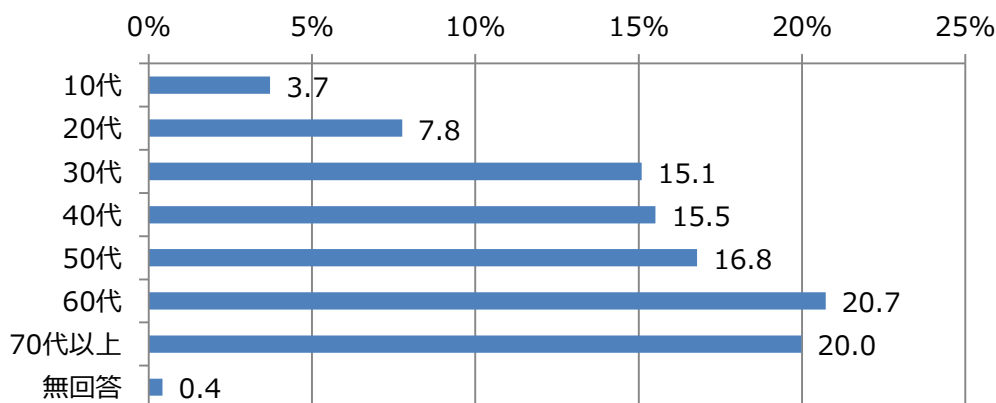
問1 性別

「男」が47.0%、「女」が51.8%、「回答しない」が1.0%となっている。



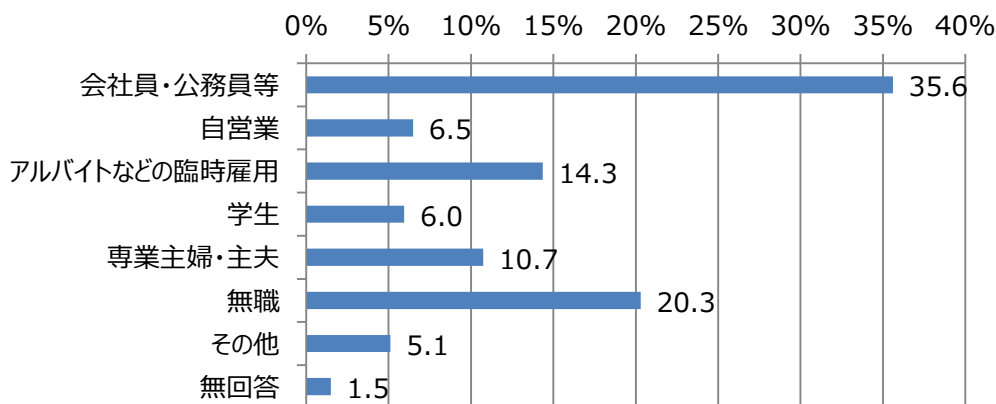
問2 年代

「60代」が20.7%と最も多く、次いで「70代以上」が20.0%、「50代」が16.8%、「40代」が15.5%となっている。



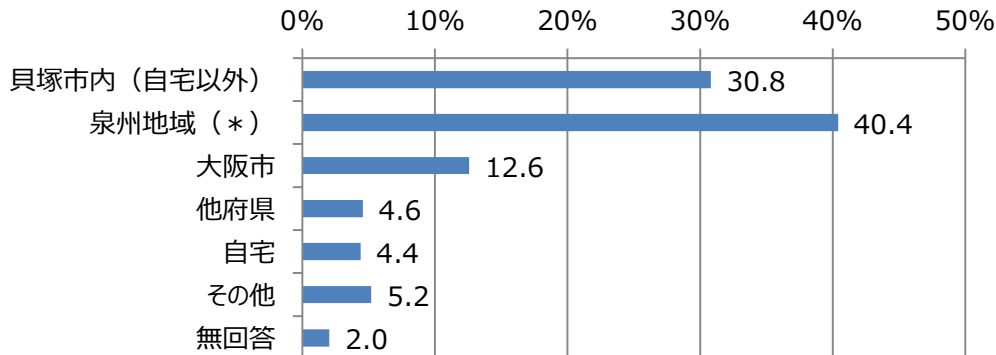
問3 職業

「会社員・公務員等」が35.6%と最も多く、次いで「無職」が20.3%、「アルバイトなどの臨時雇用」が14.3%、「専業主婦・主夫」が10.7%となっている。



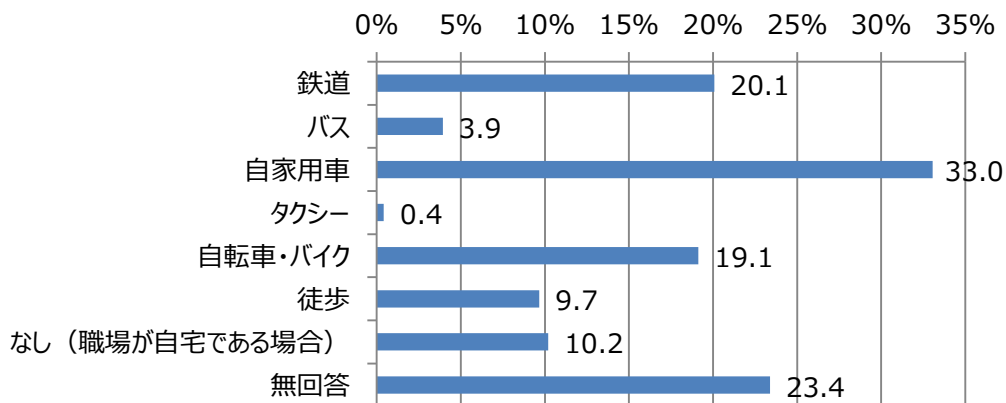
問4 通勤・通学先

「泉州地域（＊）」が 40.4%と最も多く、次いで「貝塚市内（自宅以外）」が 30.8%、「大阪市」が 12.6%、「その他」が 5.2%となっている。



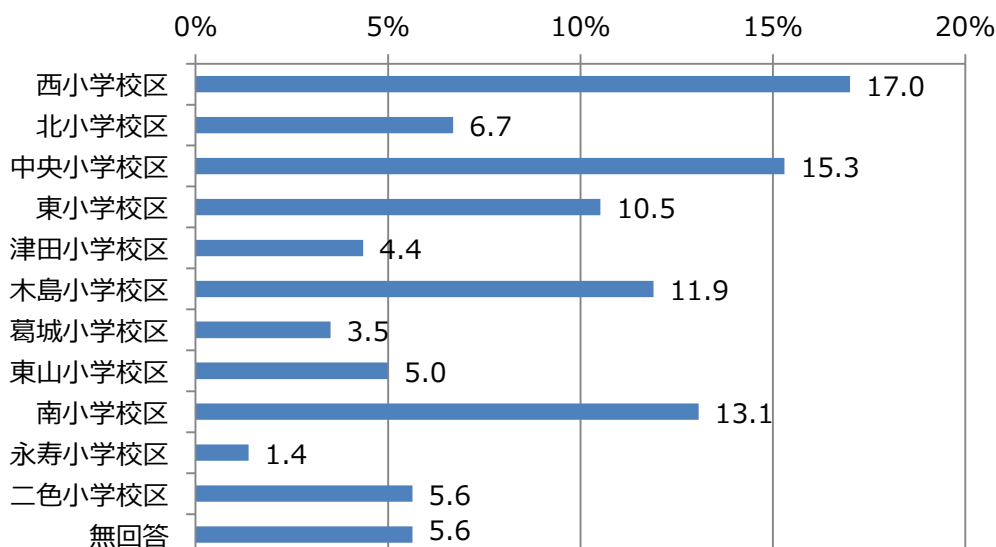
問5 通勤・通学先までの交通手段（複数ある場合は全て選択）

「自家用車」が 33.0%と最も多く、次いで「鉄道」が 20.1%、「自転車・バイク」が 19.1%、「なし（職場が自宅である場合）」が 10.2%となっている。



問6 居住小学校区

「西小学校区」が 17.0%と最も多く、次いで「中央小学校区」が 15.3%、「南小学校区」が 13.1%、「木島小学校区」が 11.9%となっている。



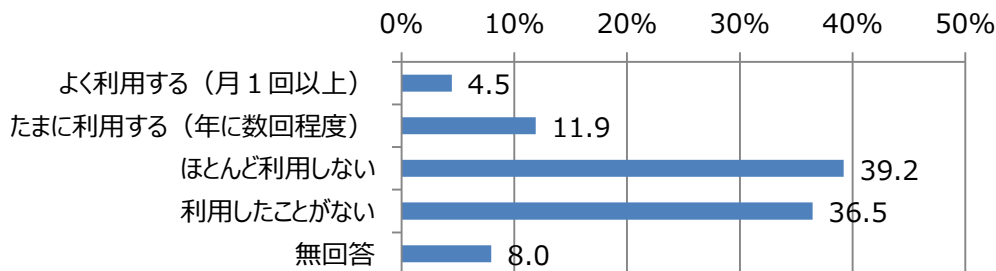
2. 公共施設の利用頻度について

問7 あなたは次の公共施設をどのくらい利用していますか。

1. 市民文化系施設

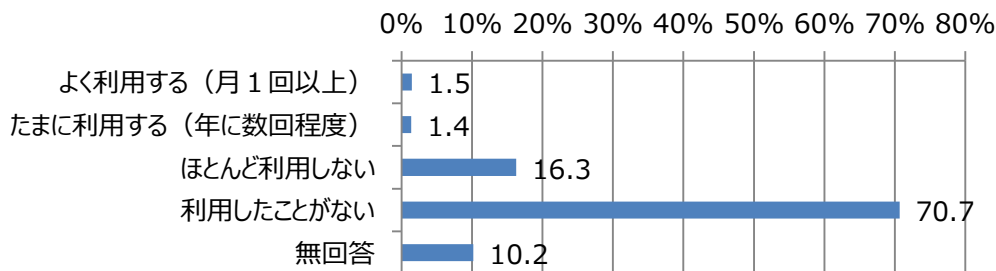
公民館

「ほとんど利用しない」が 39.2%と最も多く、次いで「利用したことがない」が 36.5%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 11.9%、「よく利用する（月1回以上）」が 4.5%となっている。



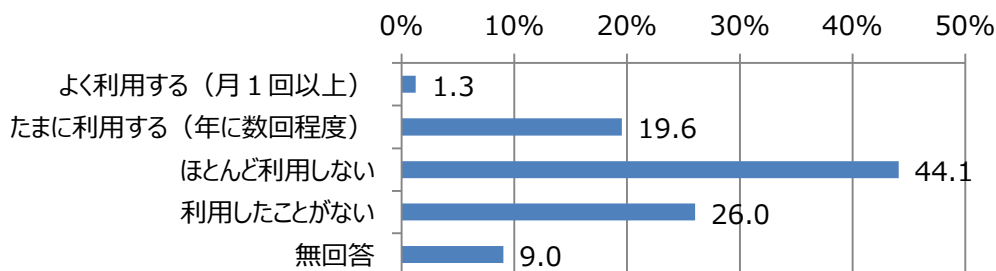
青少年人権教育交流館

「利用したことがない」が 70.7%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 16.3%、「よく利用する（月1回以上）」が 1.5%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 1.4%となっている。



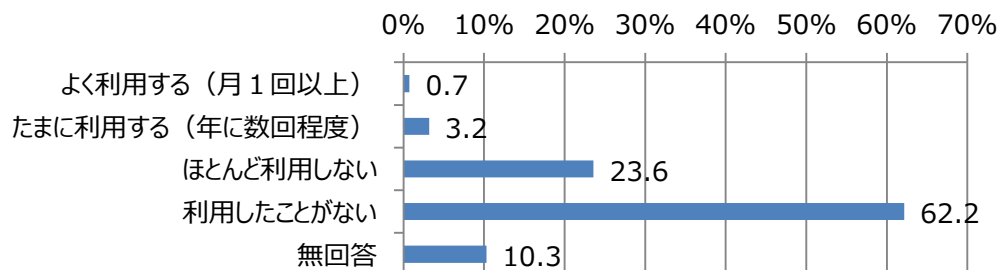
コスモシアター

「ほとんど利用しない」が 44.1%と最も多く、次いで「利用したことがない」が 26.0%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 19.6%、「よく利用する（月1回以上）」が 1.3%となっている。



シェルシアター

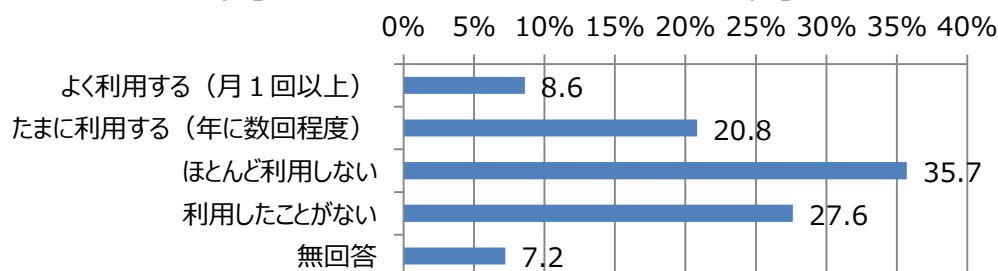
「利用したことがない」が 62.2%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 23.6%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 3.2%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.7%となっている。



2. 歴史文化系施設

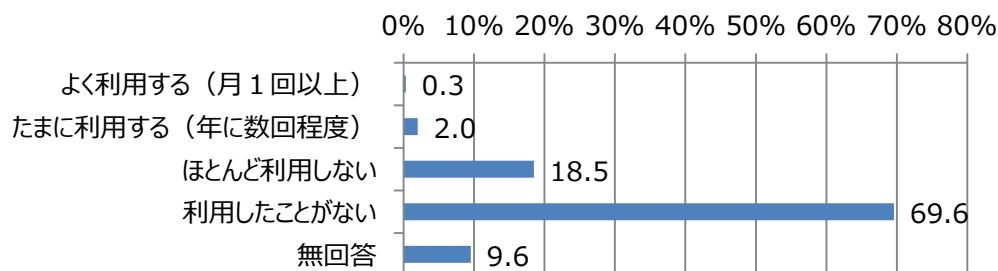
市民図書館

「ほとんど利用しない」が 35.7%と最も多く、次いで「利用したことがない」が 27.6%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 20.8%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 8.6%となっている。



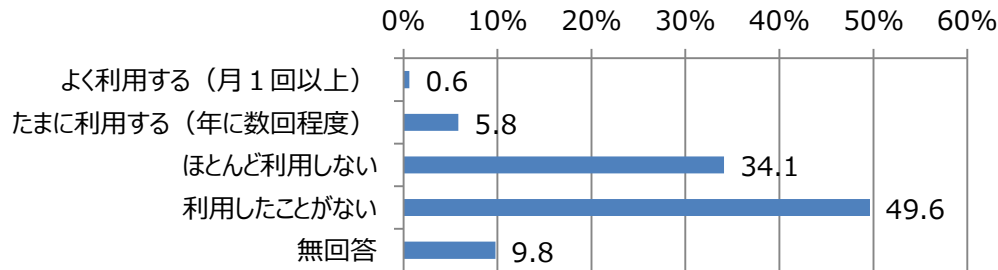
歴史展示館

「利用したことがない」が 69.6%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 18.5%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 2.0%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.3%となっている。



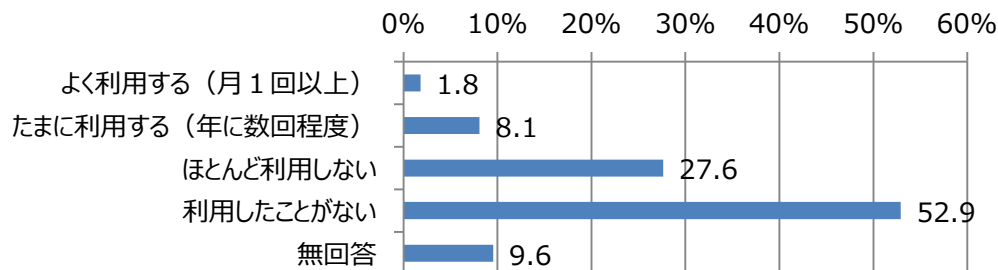
善兵衛ランド

「利用したことがない」が 49.6%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 34.1%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 5.8%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.6%となっている。



自然遊学館

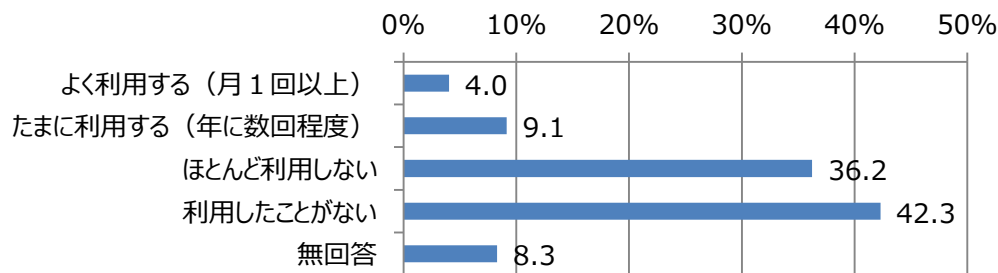
「利用したことがない」が 52.9%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 27.6%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 8.1%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 1.8%となっている。



3. スポーツ・レクリエーション系施設

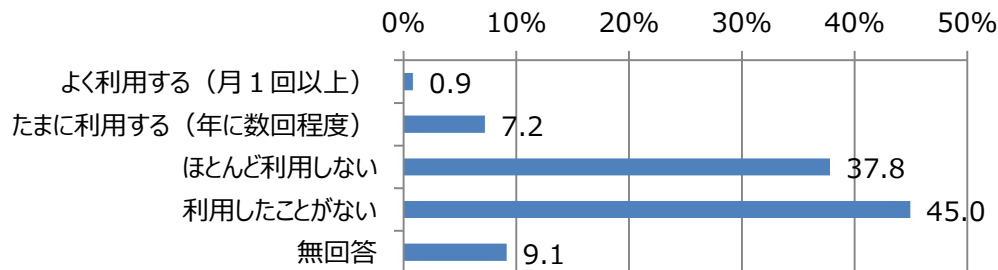
市立総合体育館

「利用したことがない」が 42.3%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 36.2%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 9.1%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 4.0%となっている。



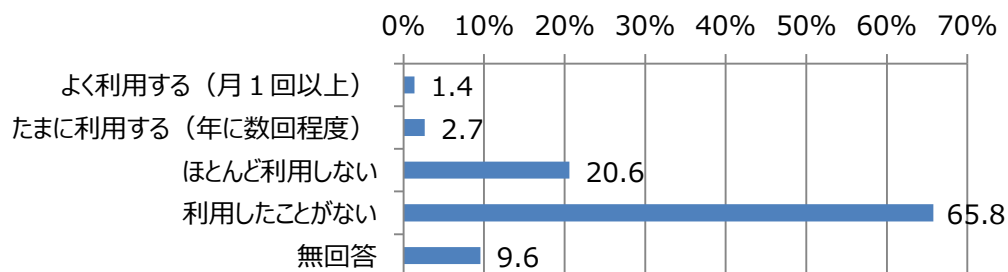
市営プール

「利用したことがない」が 45.0%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 37.8%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 7.2%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.9%となっている。



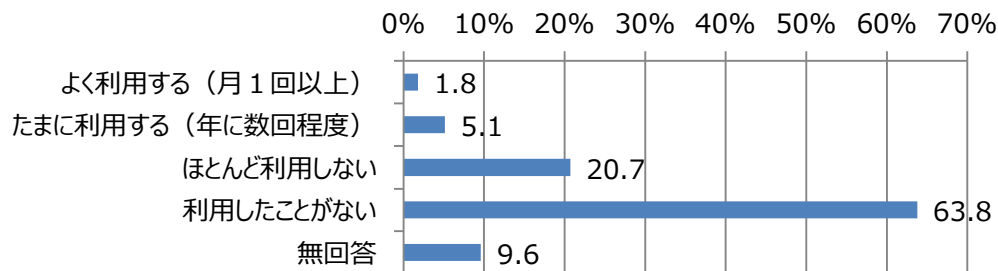
青少年運動広場

「利用したことがない」が 65.8%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 20.6%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 2.7%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 1.4%となっている。



ふれあい運動広場

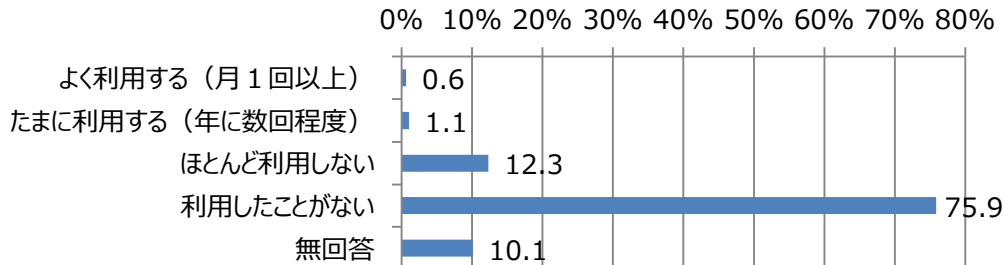
「利用したことがない」が 63.8%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 20.7%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 5.1%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 1.8%となっている。



4. 子育て関連施設

すくすく子ども館

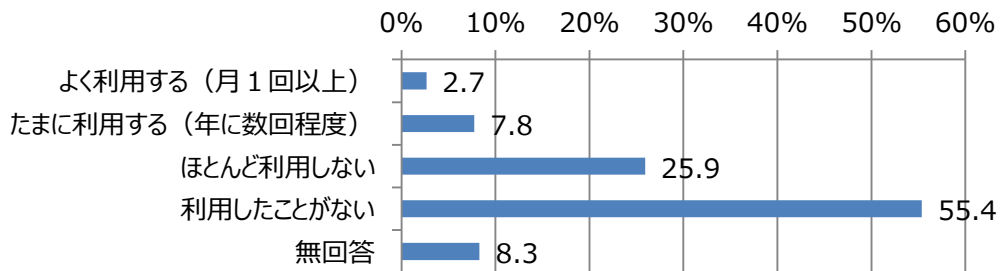
「利用したことがない」が 75.9%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 12.3%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 1.1%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.6%となっている。



5. 保健福祉施設

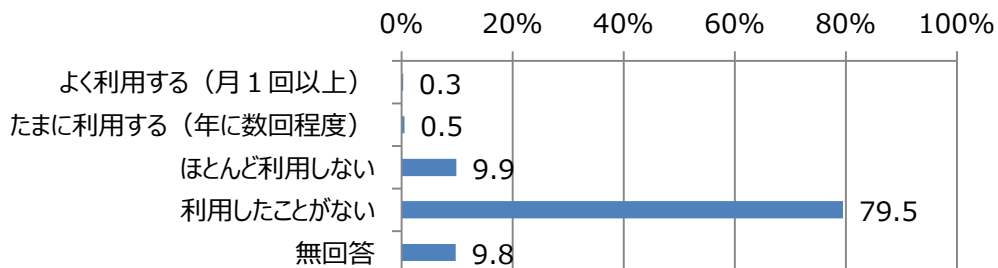
市民福祉センター

「利用したことがない」が 55.4%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 25.9%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 7.8%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 2.7%となっている。



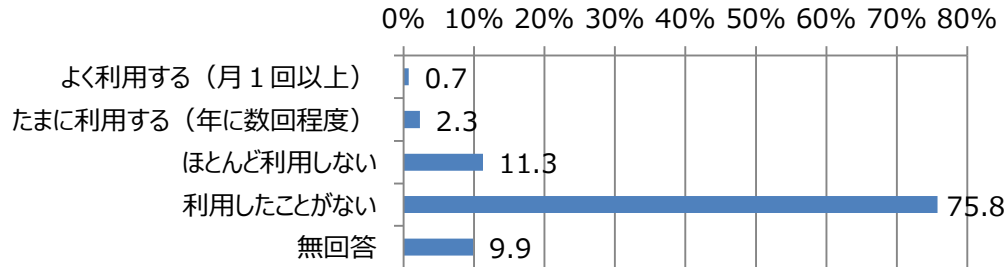
やすらぎ老人福祉センター

「利用したことがない」が 79.5%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 9.9%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 0.5%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.3%となっている。



ひと・ふれあいセンター

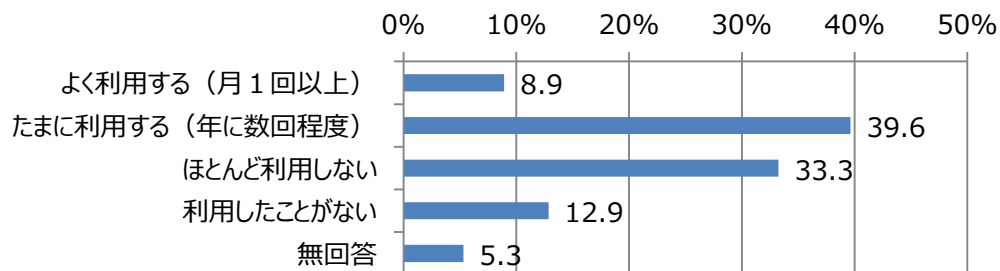
「利用したことがない」が 75.8%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 11.3%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 2.3%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 0.7%となっている。



6. 医療施設

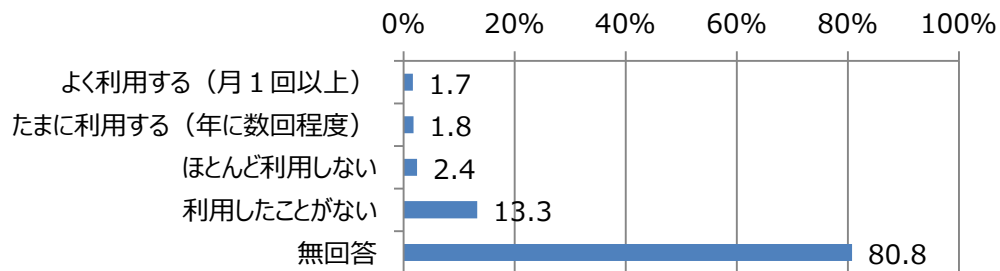
市立貝塚病院

「たまに利用する（年に数回程度）」が 39.6%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 33.3%、「利用したことがない」が 12.9%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 8.9%となっている。



7. その他施設

「利用したことがない」が 13.3%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 2.4%、「たまに利用する（年に数回程度）」が 1.8%、「よく利用する（月 1 回以上）」が 1.7%となっている。



主な回答として、「市役所」（7件）、「学校（体育館を含む）」（3件）、「二色の浜公園」（3件）など。

問 8 問 7 の施設のうち、あなたが最もよく利用する施設について、具体的な施設名を以下にお書きください。（自由記述）

「市立貝塚病院」が 138 と最も多く、次いで「市民図書館」が 113、「公民館」が 39、「コスモシアター」が 38 となっている。

最もよく利用施設として回答の多かった上位 5 施設（市立貝塚病院・市民図書館・公民館・コスモシアター・市立総合体育館）について、予約利用状況（問 9）、利用時の使用交通機関（問 10）、誰とよく利用するか（問 11）、最もよく利用する曜日と時間（問 12）を集計した。

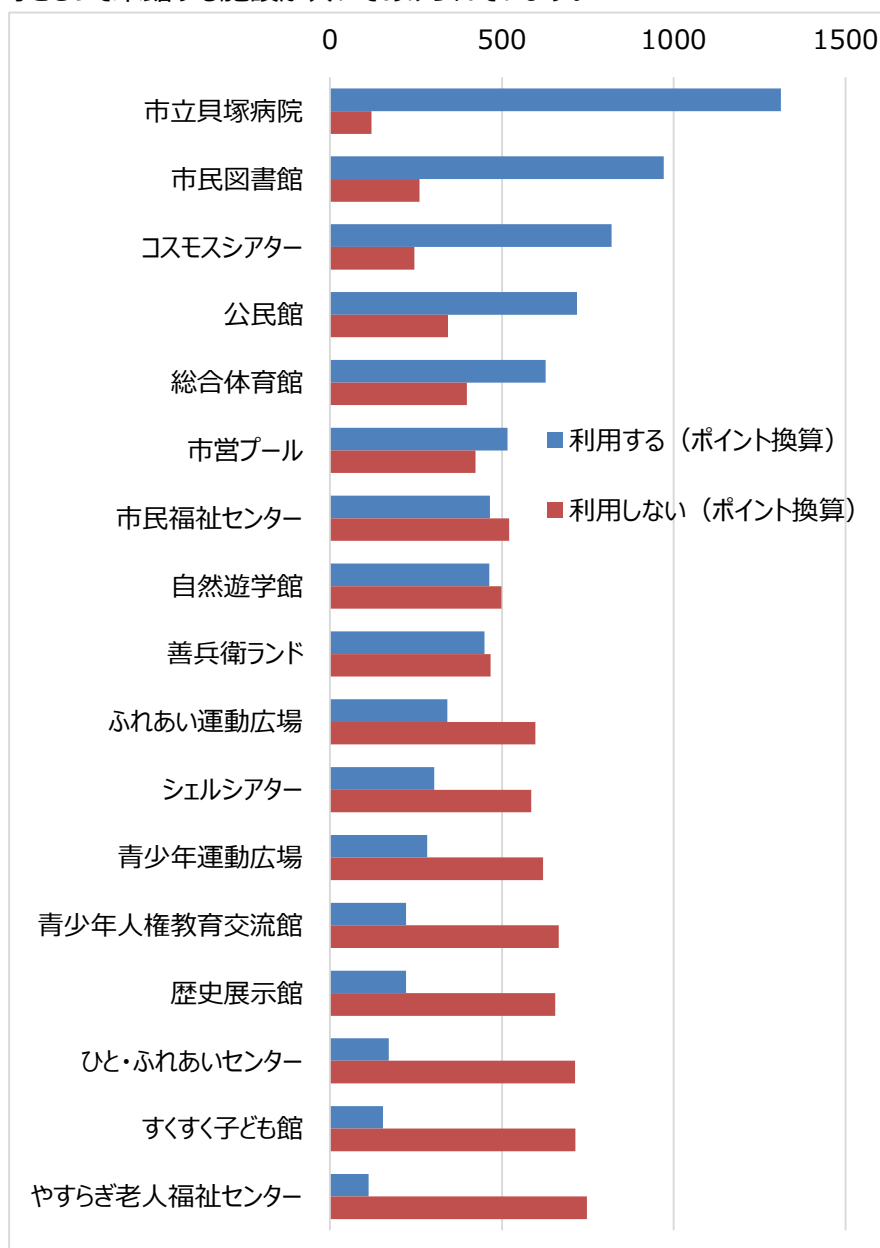
順位	施設	回答数
1	市立貝塚病院	138
2	市民図書館	113
3	公民館	39
4	コスモシアター	38
5	市立総合体育館	34
6	自然遊学館	15
7	市民福祉センター	13
8	市営プール	13
9	ふれあい運動広場	10
10	青少年運動広場	9
11	善兵衛ランド	7
12	ひと・ふれあいセンター	5
13	シェルシアター	4
14	青少年人権教育交流館	3
15	すくすく子ども館	3
16	歴史展示館	2
17	やすらぎ老人福祉センター	2

※「ふれあい運動広場」に二色グラウンドを、「青少年運動広場」にテニスコートを含めて集計。

施設別の利用頻度

市民アンケートにおいて、公共施設の利用頻度について「よく利用する（月 1 回以上）」3 ポイント、「たまに利用する（年に数回程度）」2 ポイント、「ほとんど利用しない」1 ポイントとして、「利用する（ポイント換算）」を算定すると、利用の多い順に、市立貝塚病院、市民図書館、コスモシアター、公民館、総合体育館が上位 5 施設にあげられています。

また、「利用したことがない」1 ポイントとして「利用しない（ポイント換算）」を算定すると、やすらぎ老人福祉センター、すくすく子ども館といった特定の年齢層が利用する施設を利用したことがないものとして多くあげられています。ひと・ふれあいセンター、青少年人権教育交流館、歴史展示館という特定の目的をもって来館する施設が次いであげられています。

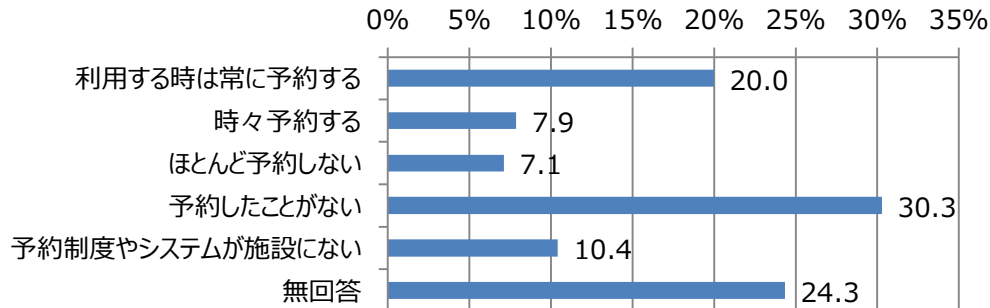


3. 最もよく利用する公共施設について

問9 ご利用の時に予約されますか。

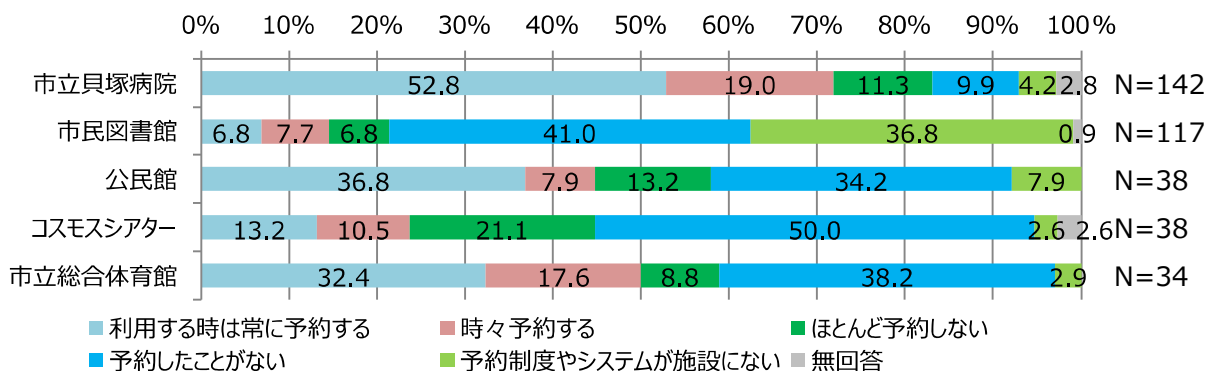
<回答のあった施設全体>

「予約したことがない」が 30.3%と最も多く、次いで「利用する時は常に予約する」が 20.0%、「予約制度やシステムが施設にない」が 10.4%、「時々予約する」が 7.9%となっている。



<上位5施設>

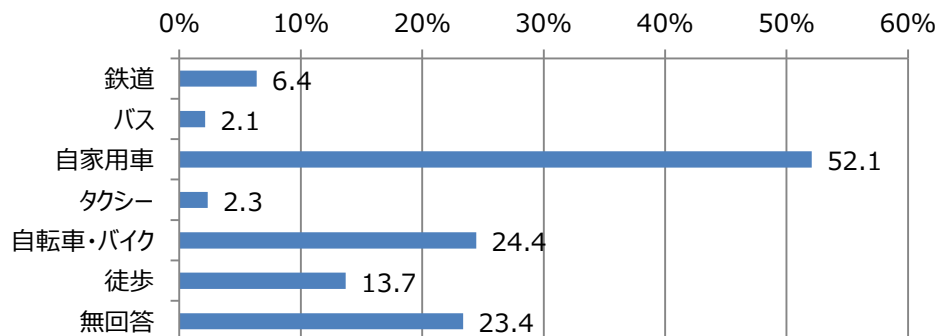
「利用する時は常に予約する」、「時々予約する」が多いのは「市立貝塚病院」、「市立総合体育館」、「公民館」となっている。



問10 利用の際に使用する交通機関（全てを選択）

<回答のあった施設全体>

「自家用車」が 52.1%と最も多く、次いで「自転車・バイク」が 24.4%、「徒歩」が 13.7%、「鉄道」が 6.4%となっている。

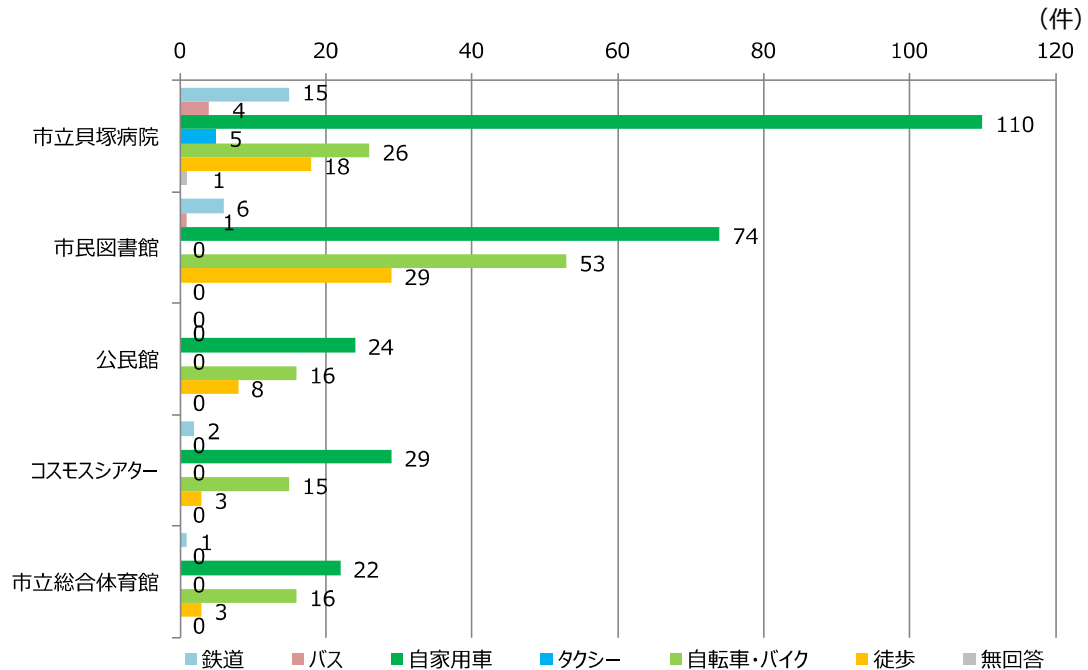


<上位5施設>

「鉄道」、「バス」といった公共交通機関の利用は、最もよく利用されている「市立貝塚病院」でも少なく、他の施設においても同様の傾向。

全体に、「自家用車」の利用が多く、「自転車・バイク」が次ぐ傾向となっている。

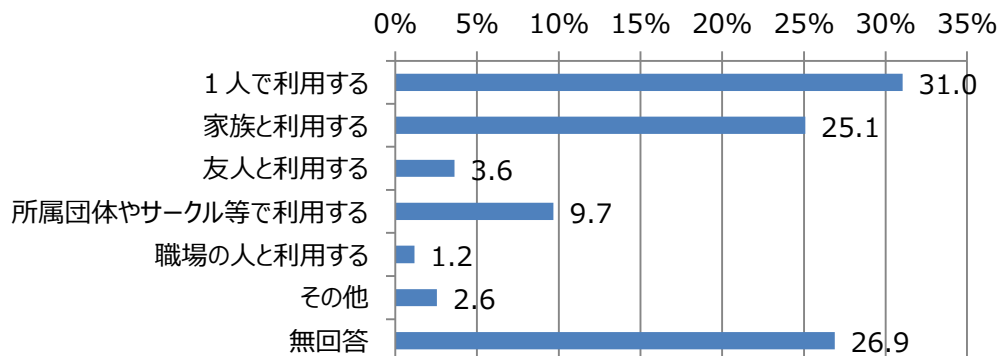
「徒歩」が最も多いのは「市民図書館」である。



問 1 1 誰とよく利用されますか。

<回答のあった施設全体>

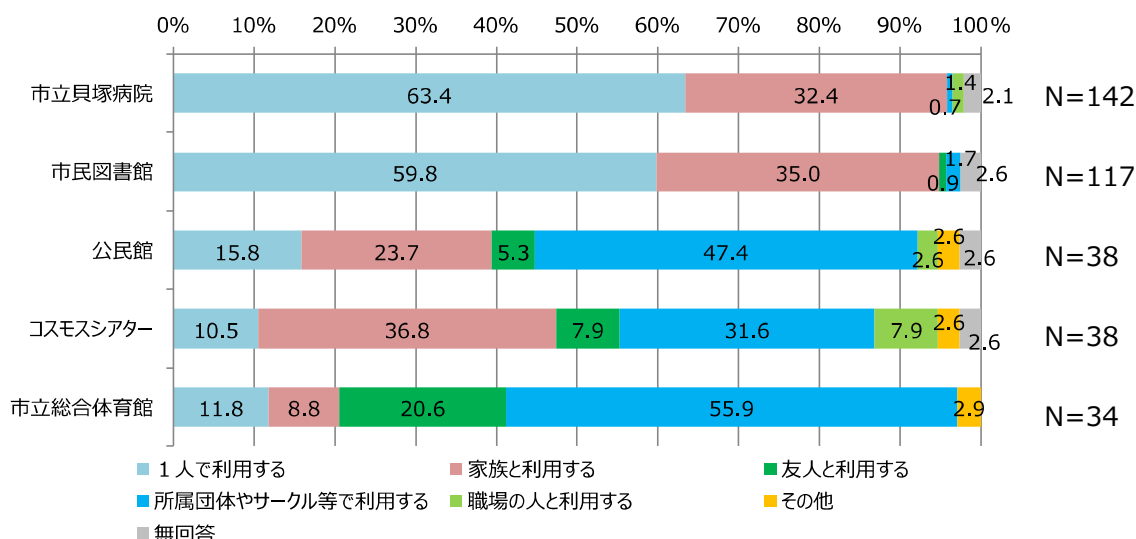
「1人で利用する」が 31.0%と最も多く、次いで「家族と利用する」が 25.1%、「所属団体やサークル等で利用する」が 9.7%、「友人と利用する」が 3.6%となっている。



＜上位5施設＞

「市立貝塚病院」と「市立図書館」では「1人で利用する」が概ね6割、「家族と利用する」が3割強となっている。

「市立総合体育館」、「公民館」では、「所属団体やサークル等で利用する」が他の項目に比べて最も多く、「コスモシアター」は「家族と利用する」が他の項目と比べて最も多くなっている。

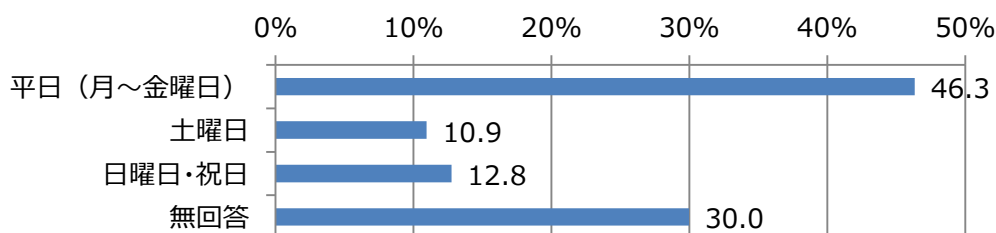


問12 よく利用される曜日（平日／土曜日／日曜日・祝日）と時間帯

＜回答のあった施設全体＞

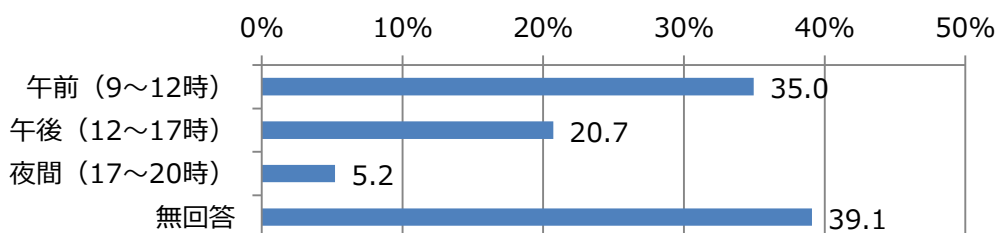
曜日

「平日（月～金曜日）」が46.3%と最も多く、次いで「日曜日・祝日」が12.8%、「土曜日」が10.9%となっている。



時間帯

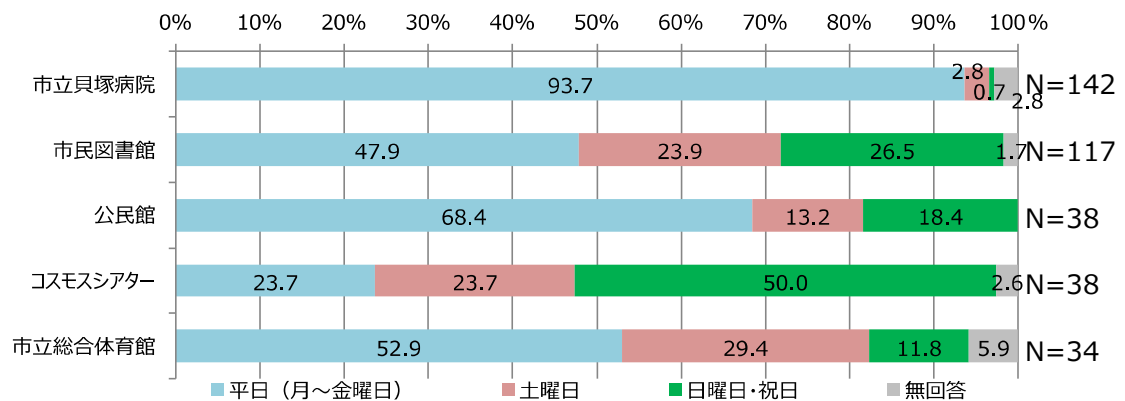
「午前（9～12時）」が35.0%と最も多く、次いで「午後（12～17時）」が20.7%、「夜間（17～20時）」が5.2%となっている。



<上位5施設>

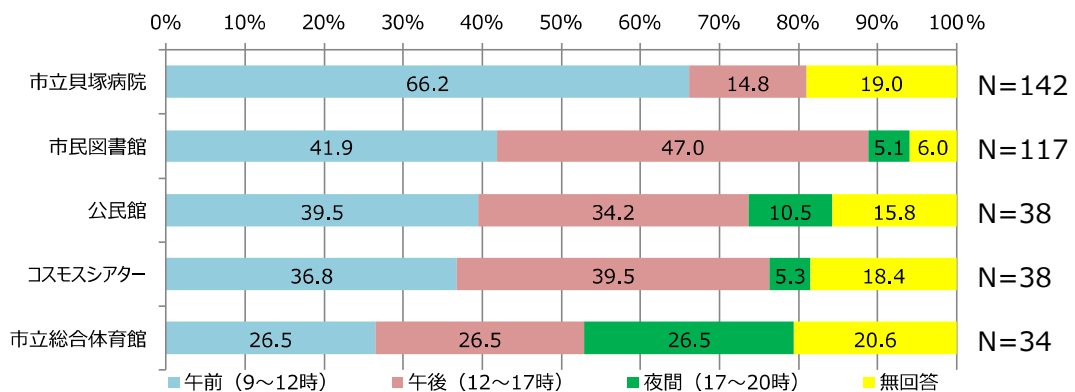
曜日

よく利用する曜日をみると、「市立貝塚病院」では「平日（月～金曜日）」が9割以上となっている。「市民図書館」では「平日（月～金曜日）」が約5割、「土曜日」と「日曜日・祝日」がほぼ同等程度の利用となっている。「公民館」では「平日（月～金曜日）」が約7割、「土曜日」と「日曜日・祝日」ではやや「日曜日・祝日」の利用の方が多い。「コスモシアター」では「日曜日・祝日」が5割、「平日（月～金曜日）」と「土曜日」がほぼ同等程度の利用となっている。「市立総合体育館」では「平日（月～金曜日）」が約5割、「土曜日」と「日曜日・祝日」では「土曜日」の利用の方が多い。



時間帯

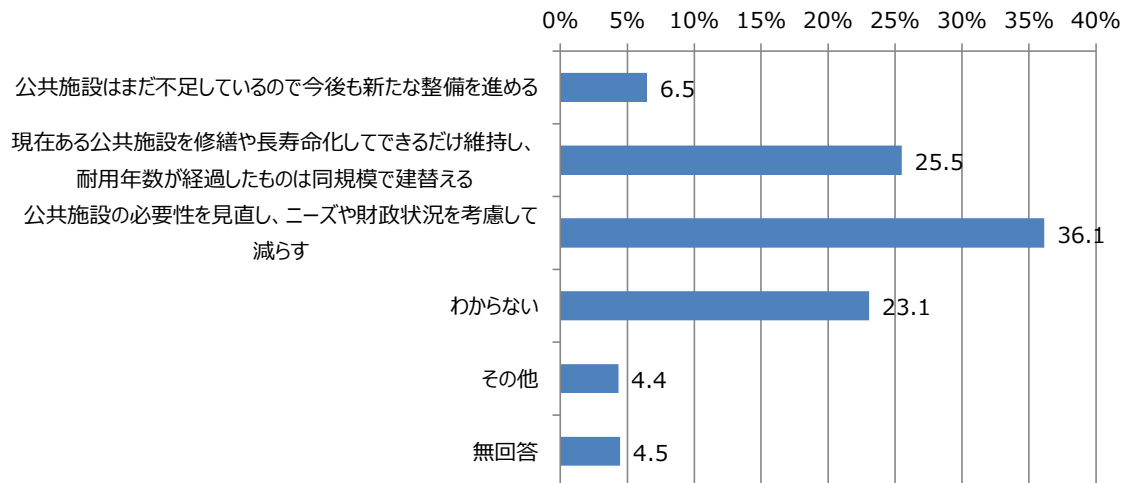
よく利用する時間帯をみると、「市立貝塚病院」では「午前（9～12時）」が最も多く、6割以上となっている。「市民図書館」では「午後（12～17時）」が約5割、「午前（9～12時）」が約4割の利用となっている。「公民館」では「午後（12～17時）」と「午前（9～12時）」が同等程度で4割弱の利用、「夜間（17～20時）」が約1割の利用となっている。「コスモシアター」についても、「午後（12～17時）」と「午前（9～12時）」が同等程度で4割弱の利用となっている。「市立総合体育館」では「午前（9～12時）」、「午後（12～17時）」、「夜間（17～20時）」の利用がそれぞれ約25%と同等程度となっている。



4. 今後の公共施設のあり方について

問 13 今後、公共施設の整備や維持管理を、どのように進めていくべきと思われますか。

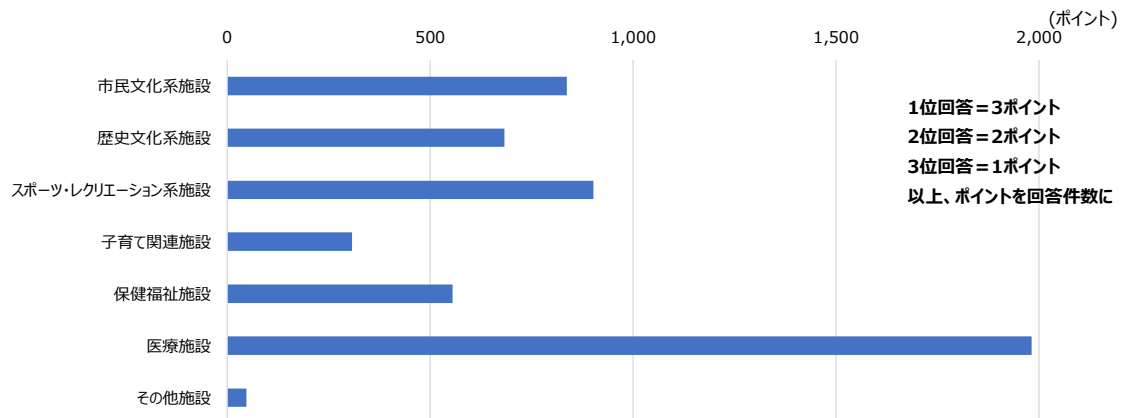
「公共施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況を考慮して減らす」が 36.1%と最も多く、次いで「現在ある公共施設を修繕や長寿命化してできるだけ維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える」が 25.5%、「わからない」が 23.1%、「公共施設はまだ不足しているので今後も新たな整備を進める」が 6.5%となっている。



問 14 あなたが今後も貝塚市内にあってほしいと思われる公共施設はどれですか。

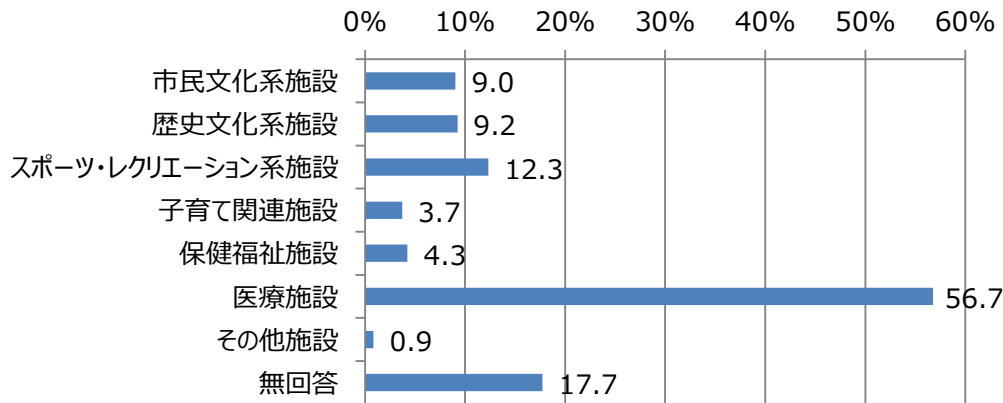
<総合>

「医療施設」が最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション系施設」、「市民文化系施設」の順に多くなっている。（※回答順位ごとに回答件数を乗じポイント換算して算定）



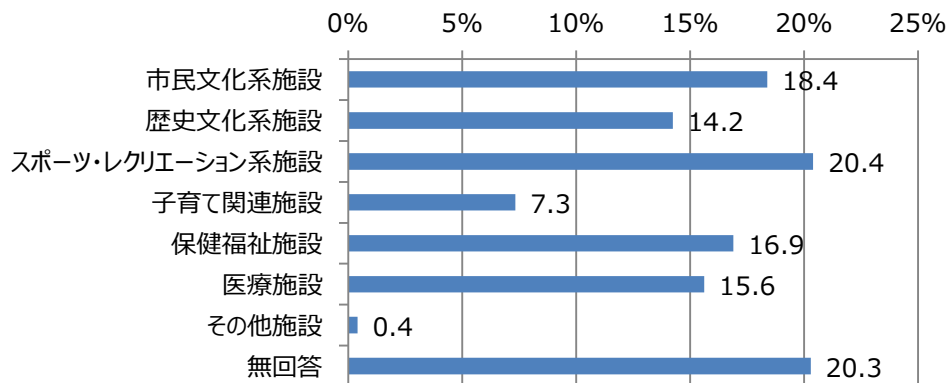
< 1 位 >

「医療施設」が 56.7%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション系施設」が 12.3%、「歴史文化系施設」が 9.2%、「市民文化系施設」が 9.0%となっている。



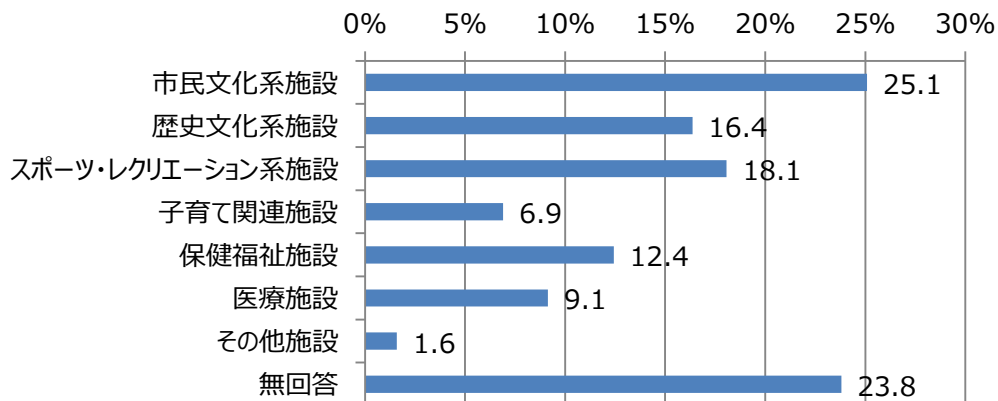
< 2 位 >

「スポーツ・レクリエーション系施設」が 20.4%と最も多く、次いで「市民文化系施設」が 18.4%、「保健福祉施設」が 16.9%、「医療施設」が 15.6%となっている。



< 3 位 >

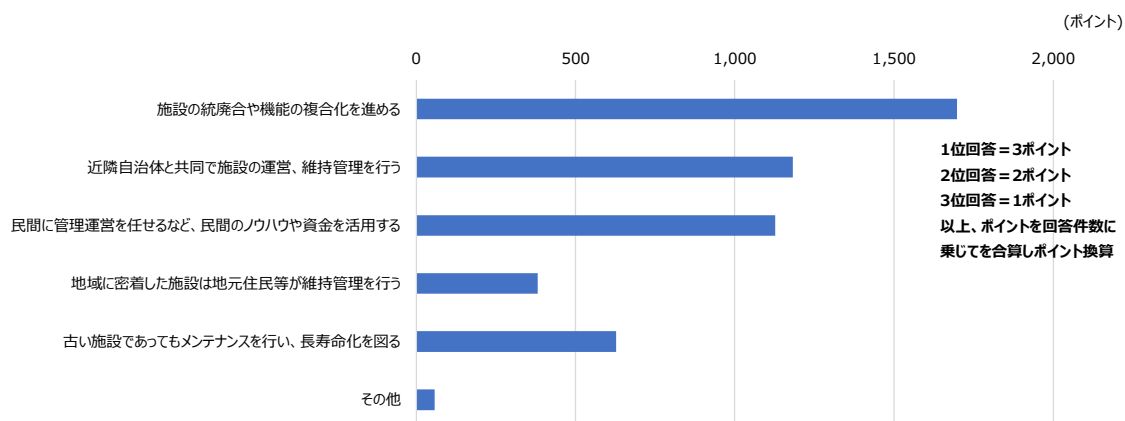
「市民文化系施設」が 25.1%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション系施設」が 18.1%、「歴史文化系施設」が 16.4%、「保健福祉施設」が 12.4%となっている。



問 1 5 今後、厳しい財政状況が予測される中、無料で行政サービスを提供している公共施設において、今後も必要な行政サービスを維持するには、どうすればよいと思われますか。

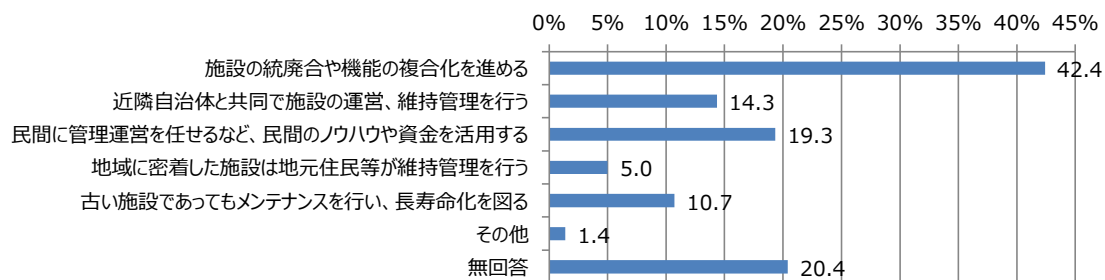
<総合>

「施設の統廃合や機能の複合化を進める」が最も多く、次いで「近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う」、「民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する」が多くなっている。（※回答順位ごとに回答件数を乗じポイント換算して算定）



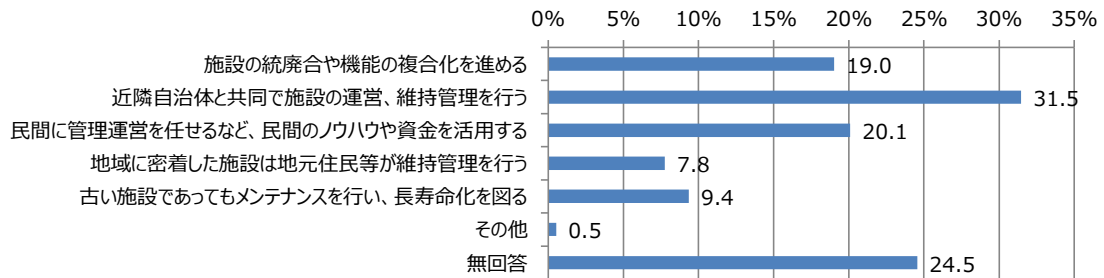
<1位>

「施設の統廃合や機能の複合化を進める」が 42.4%と最も多く、次いで「民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する」が 19.3%、「近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う」が 14.3%、「古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る」が 10.7%となっている。



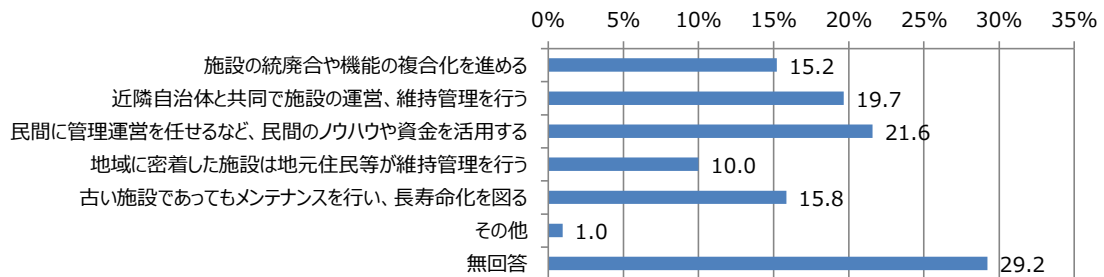
< 2 位 >

「近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う」が 31.5%と最も多く、次いで「民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する」が 20.1%、「施設の統廃合や機能の複合化を進める」が 19.0%、「古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る」が 9.4%となっている。



< 3 位 >

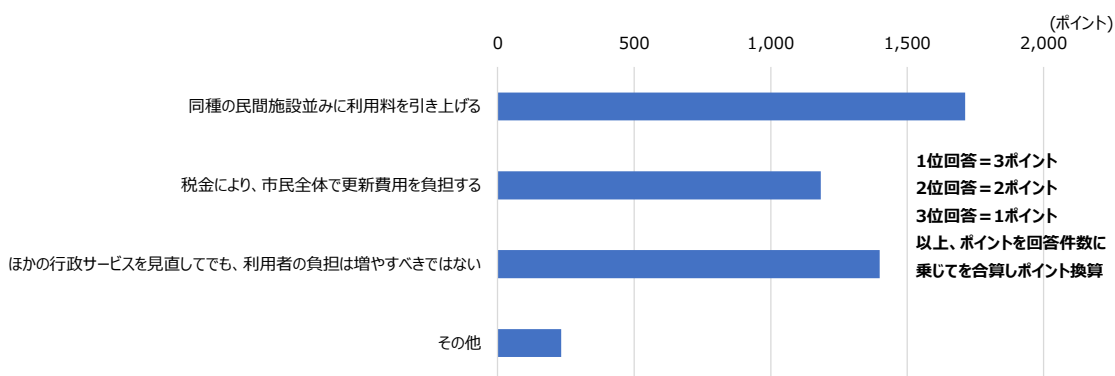
「民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する」が 21.6%と最も多く、次いで「近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う」が 19.7%、「古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る」が 15.8%、「施設の統廃合や機能の複合化を進める」が 15.2%となっている。



問 1 6 今後、厳しい財政状況が予測される中、有料で行政サービスを提供している公共施設（例：テニスコート1面 利用料1時間400円や、体育館体育室 利用料3時間1,800円）において、今後も必要な行政サービスを維持するには、どうすればよいと思われますか。

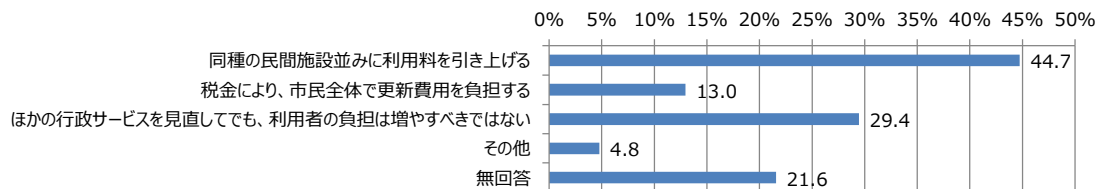
<総合>

「同種の民間施設並みに利用料を引き上げる」が最も多く、次いで「ほかの行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない」が多くなっている。（※回答順位ごとに回答件数を乗じポイント換算して算定）



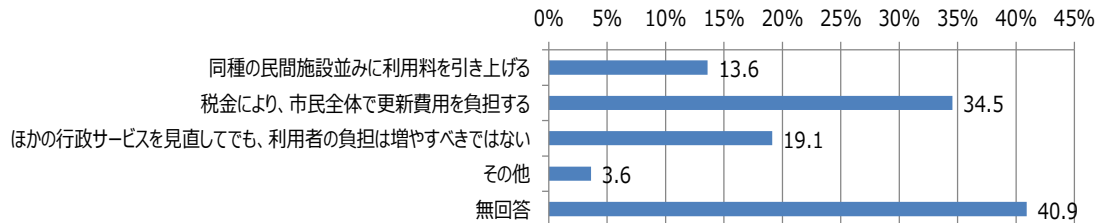
<1位>

「同種の民間施設並みに利用料を引き上げる」が 44.7%と最も多く、次いで「ほかの行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない」が 29.4%、「税金により、市民全体で更新費用を負担する」が 13.0%となっている。



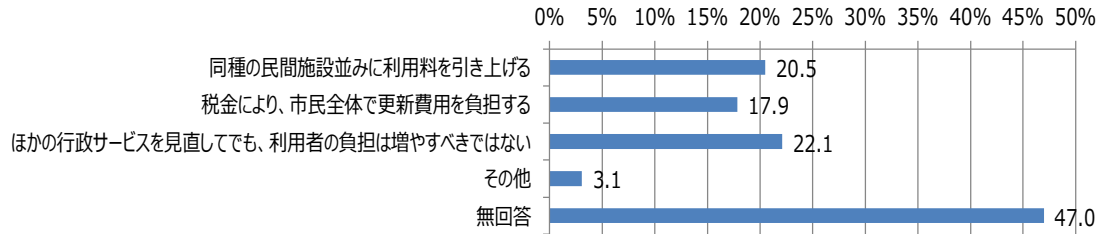
<2位>

「税金により、市民全体で更新費用を負担する」が 34.5%と最も多く、次いで「ほかの行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない」が 19.1%、「同種の民間施設並みに利用料を引き上げる」が 13.6%となっている。



< 3 位 >

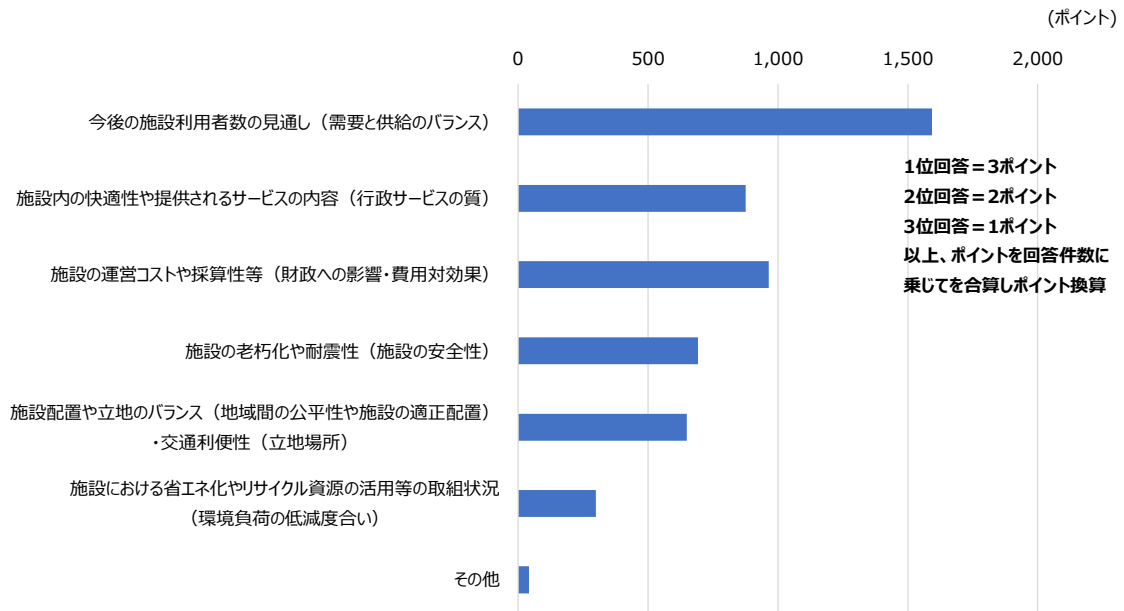
「ほかの行政サービスを見直してでも、利用者の負担は増やすべきではない」が 22.1%と最も多く、次いで「同種の民間施設並みに利用料を引き上げる」が 20.5%、「税金により、市民全体で更新費用を負担する」が 17.9%となっている。



問 17 今後、市が公共施設のあり方を検討する際に、どのような視点を重視・優先すべきですか。

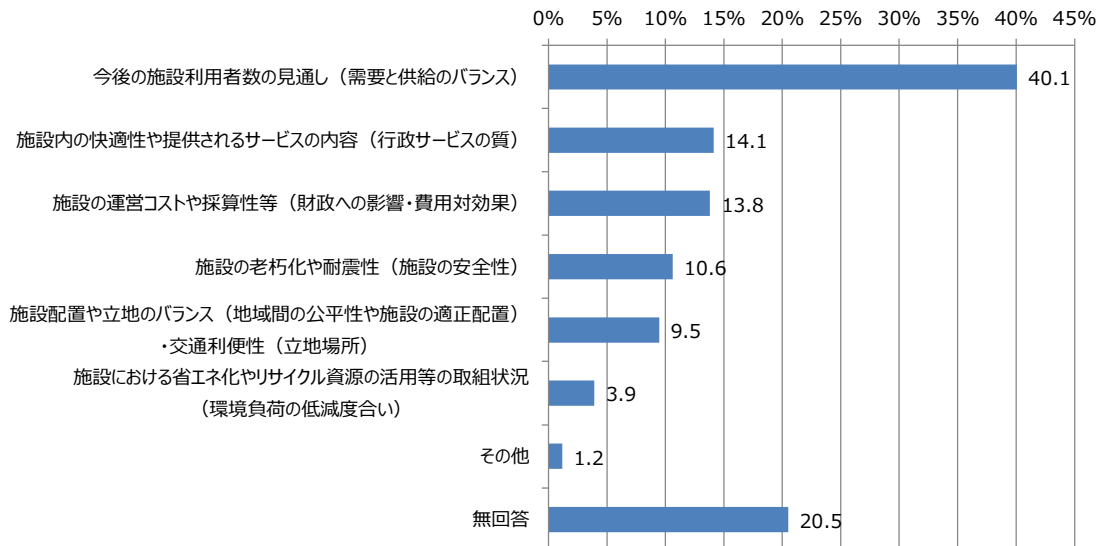
< 総合 >

「今後の施設利用者数の見通し（需要と供給のバランス）」が最も多く、次いで「施設の運営コストや採算性等（財政への影響・費用対効果）」、「施設内の快適性や提供されるサービスの内容」が多くなっている。（※回答順位ごとに回答件数を乗じポイント換算して算定）



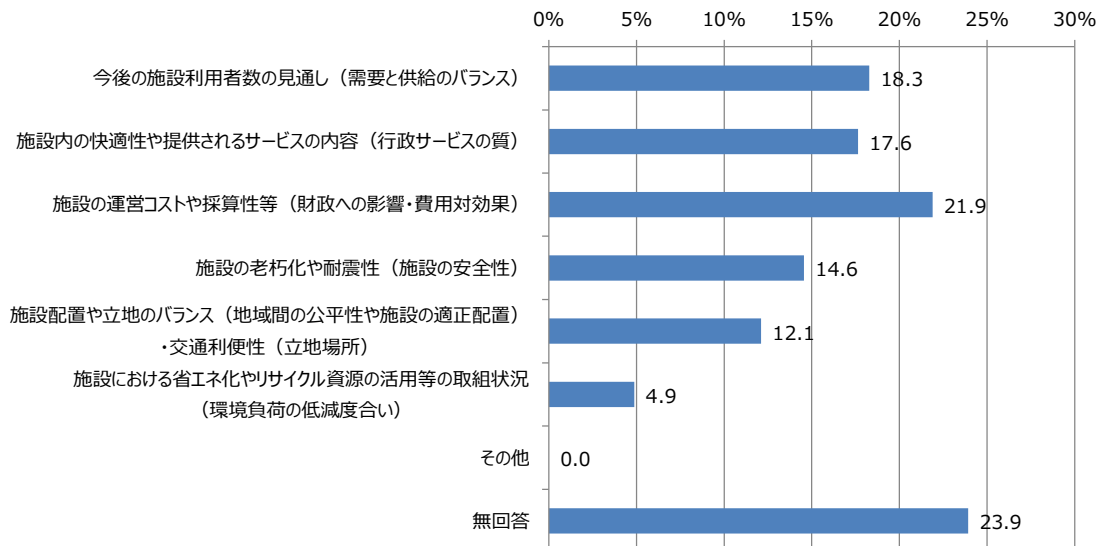
< 1 位 >

「今後の施設利用者数の見通し（需要と供給のバランス）」が 40.1%と最も多く、次いで「施設内の快適性や提供されるサービスの内容（行政サービスの質）」が 14.1%、「施設の運営コストや採算性等（財政への影響・費用対効果）」が 13.8%となっている。



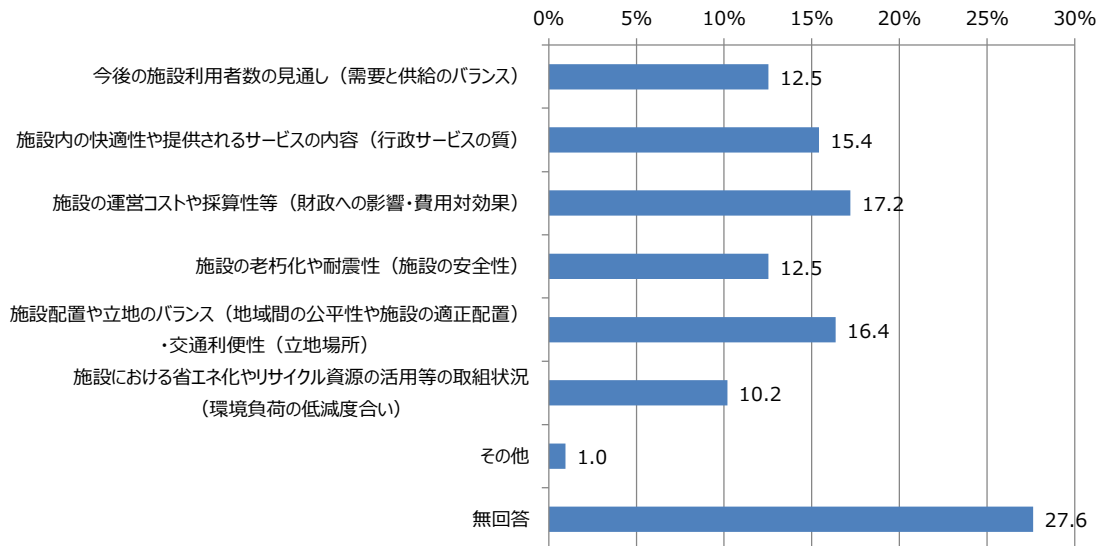
< 2 位 >

「施設の運営コストや採算性等（財政への影響・費用対効果）」が 21.9%と最も多く、次いで「今後の施設利用者数の見通し（需要と供給のバランス）」が 18.3%、「施設内の快適性や提供されるサービスの内容」が 17.6%となっている。



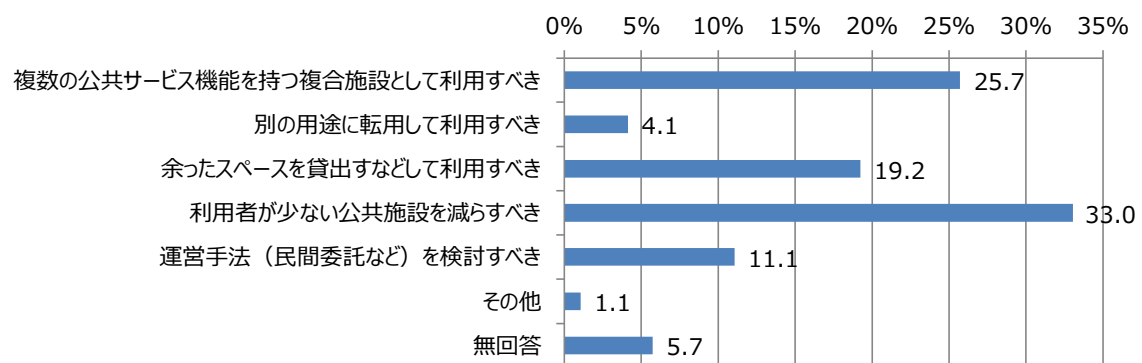
＜3位＞

「施設の運営コストや採算性等（財政への影響・費用対効果）」が 17.2%と最も多く、次いで「施設配置や立地のバランス（地域間の公平性や施設の適正配置）・交通利便性（立地場所）」が 16.4%、「施設内の快適性や提供されるサービスの内容」が 15.4%、となっている。



問 1 8 今後、厳しい財政状況が予測される中、今ある公共施設を利用していく場合、あなたの考えに最も当てはまるものはどれですか。

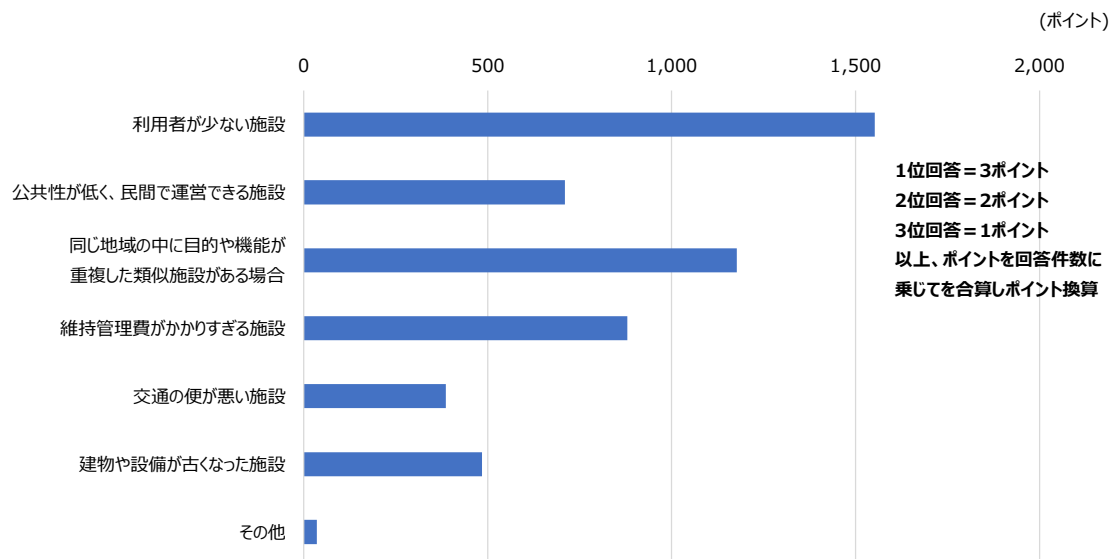
「利用者が少ない公共施設を減らすべき」が 33.0%と最も多く、次いで「複数の公共サービス機能を持つ複合施設として利用すべき」が 25.7%、「余ったスペースを貸出すなどして利用すべき」が 19.2%、「運営手法（民間委託など）を検討すべき」が 11.1%となっている。



問 19 今後、厳しい財政状況が予測される中、仮に公共施設を減らさなければならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思われますか。

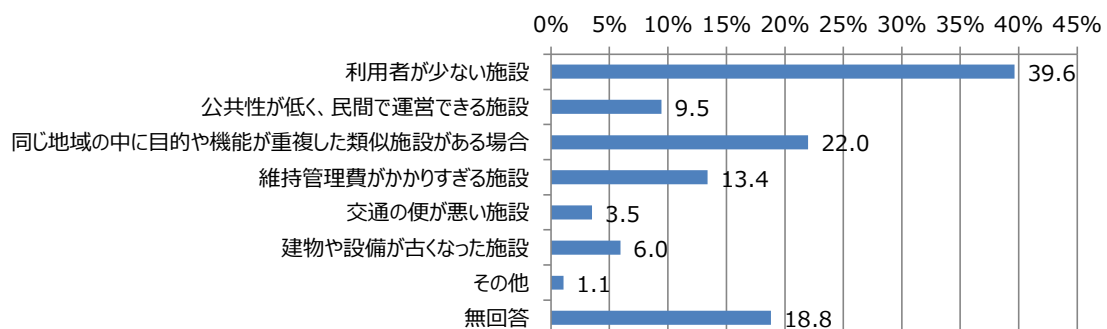
<総合>

「利用者が少ない施設」が最も多く、次いで「同じ地域の中に目的や機能が重複した類似施設がある場合」、「維持管理費がかかりすぎる施設」となっている。（※回答順位ごとに回答件数を乗じポイント換算して算定）



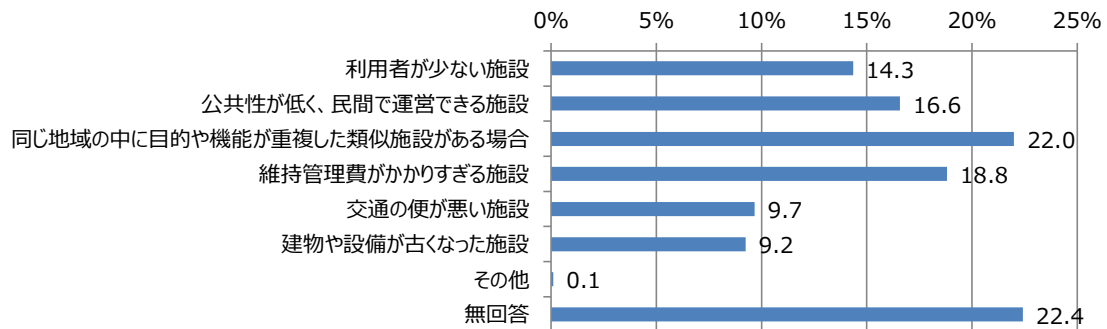
<1位>

「利用者が少ない施設」が 39.6%と最も多く、次いで「同じ地域の中に目的や機能が重複した類似施設がある場合」が 22.0%、「維持管理費がかかりすぎる施設」が 13.4%、「公共性が低く、民間で運営できる施設」が 9.5%となっている。



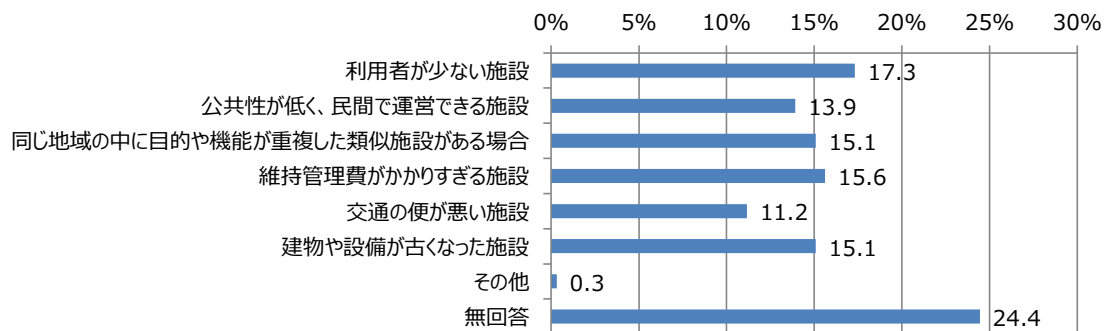
< 2 位 >

「同じ地域の中に目的や機能が重複した類似施設がある場合」が 22.0%と最も多く、次いで「維持管理費がかかりすぎる施設」が 18.8%、「公共性が低く、民間で運営できる施設」が 16.6%、「利用者が少ない施設」が 14.3%となっている。



< 3 位 >

「利用者が少ない施設」が 17.3%と最も多く、次いで「維持管理費がかかりすぎる施設」が 15.6%、「同じ地域の中に目的や機能が重複した類似施設がある場合」が 15.1%、「建物や設備が古くなった施設」が 15.1%となっている。



問 2 0（自由回答） 今後、近隣市町・泉州地域で公共施設を共同で維持管理していくことを検討する場合、このような公共施設があったらいいなどの、あなたのアイデアを以下の欄に自由にお書きください。

自由回答で「あったらよい施設」を伺ったところ、「室内スポーツ（プール、テニス、ジム）」が最も多く、次いで、「カフェのある図書館」「子どもの遊び場スペース」「バーベキュー、キャンプのできる公園」とあげられている。

あったらよい施設	件数
室内スポーツ施設（プール、テニス、ジム）	32
カフェのある図書館	20
子どもの遊び場スペース	19
バーベキュー、キャンプのできる公園	19
生涯学習・子育て支援複合施設	17
大規模なスポーツ施設	16
現在の施設を大切に利用	14
仲間が集まれるスペース	14
医療施設	11
カフェのある公園	10
文化芸術・ホール施設	8
福祉関係の施設	8
鉄道交通の支援	8
広域連携によるホール	7
多世代が利用できる施設	7
総合体育館の建替え	6
公共施設情報	4
広域連携による図書館	3
e スポーツ施設	3
障がい者交流スペース	3
認知症予防施設	3
斎場・墓地	3
貝塚駅周辺の開発	3
バリアフリー化	2
善兵衛ランドの機能拡充	1
スポーツ合宿施設	1
高齢者が働ける施設	1
コワーキングスペース	1
利用しやすい料金の施設	1

5.4 調査結果（クロス集計）

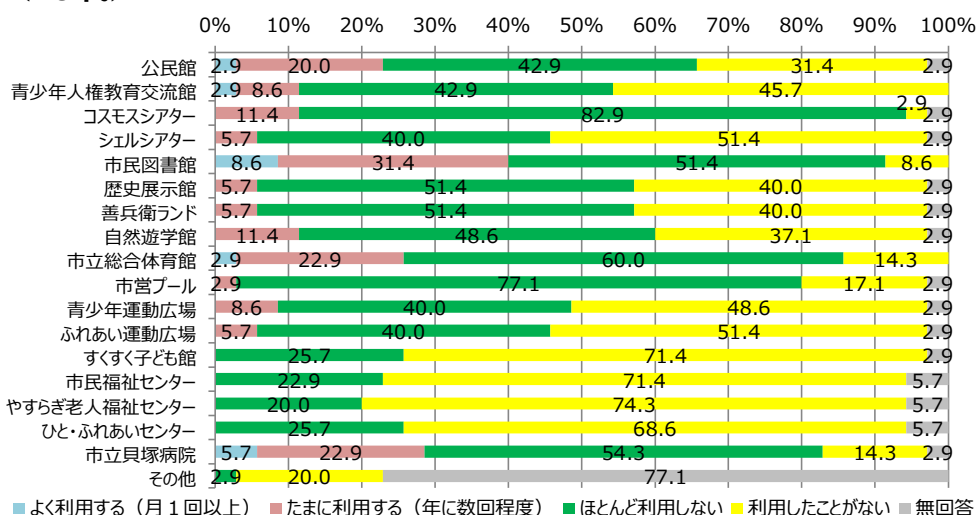
1. 年代別集計

1) 年代別公共施設の利用頻度

年代別に公共施設の利用頻度をみると、いずれの年代でも「市立貝塚病院」が最も「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」の回答が多い施設となっている。

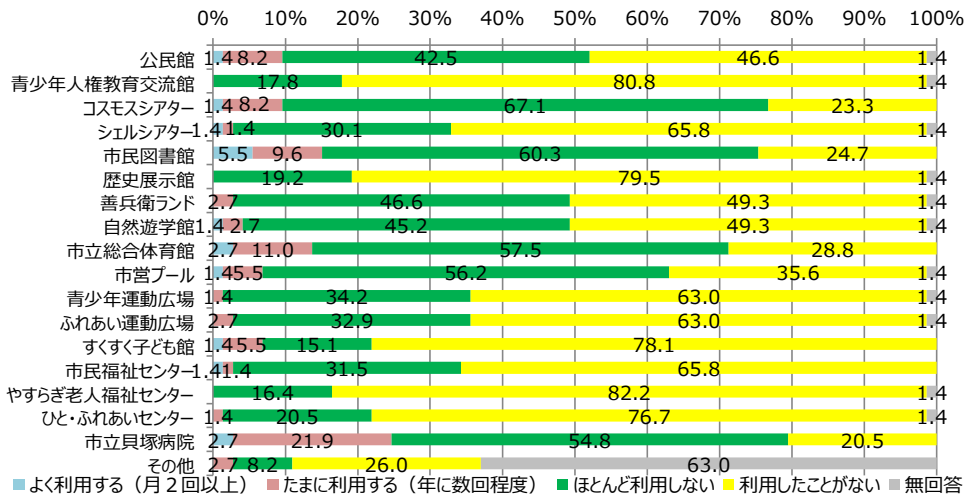
「10代」では「市民図書館」、「市立総合体育館」、「公民館」の「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。特に、「市立総合体育館」、「公民館」の「たまに利用する（年に数回程度）」の構成比が他の年代に比べて高い。「20代」では「市民図書館」、「市立総合体育館」で「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっているが、他の年代に比べて全体に「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」の回答が少なくなっている。「30代」では「市民図書館」、「コスモシアター」、「自然遊学館」、「市営プール」で「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多く、特に「自然遊学館」、「市営プール」といった親子での利用の多い施設が他の年代に比べても多く回答されている。「40代」では「市民図書館」、「コスモシアター」、「公民館」で「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。「50代」では「市民図書館」、「コスモシアター」、「市立総合体育館」で「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。「60代」では「市民図書館」、「コスモシアター」、「公民館」で「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっており、特に「公民館」での「よく利用する（月1回以上）」の回答が他の年代に比べて多い。

<10代>



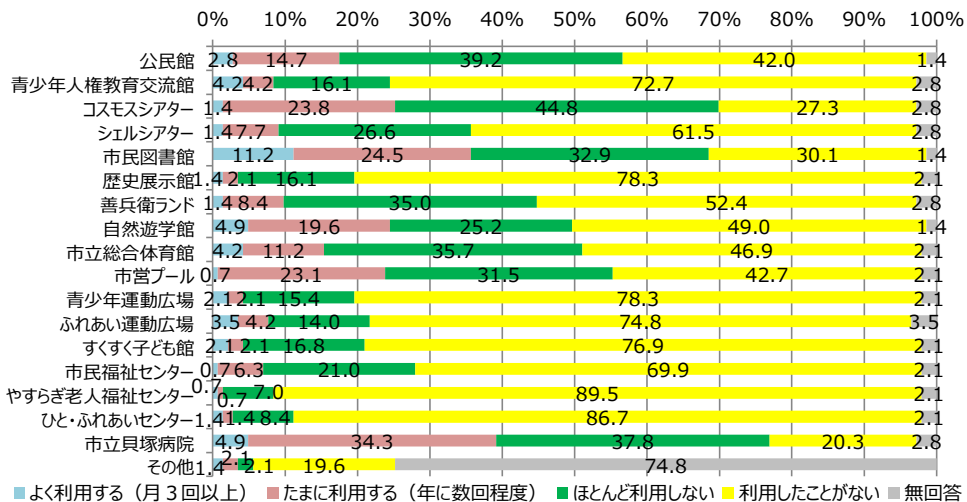
N=35

<20 代>



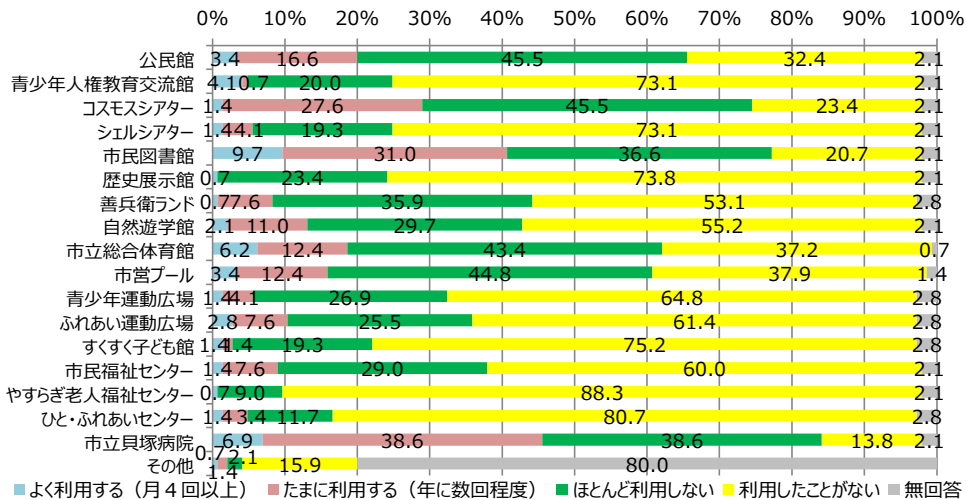
N=73

<30 代>



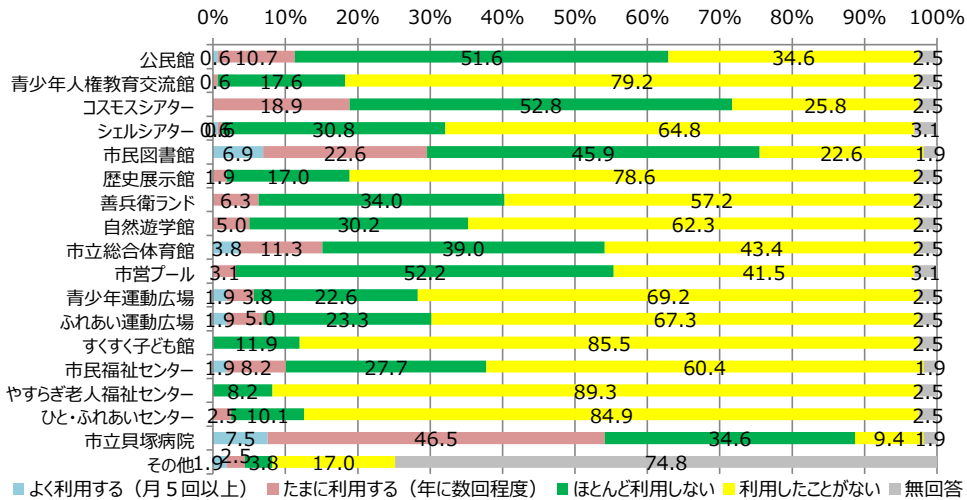
N=143

<40 代>



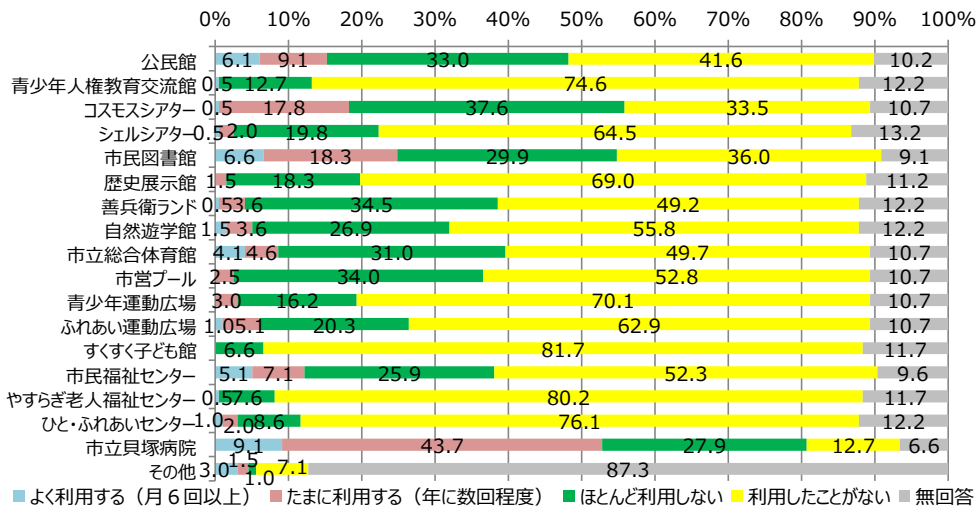
N=145

<50 代>



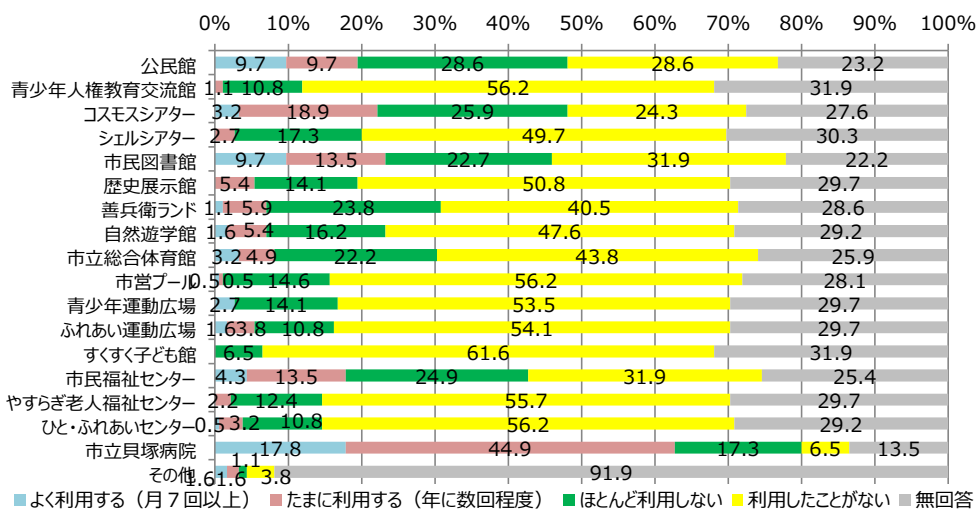
N=159

<60 代>



N=197

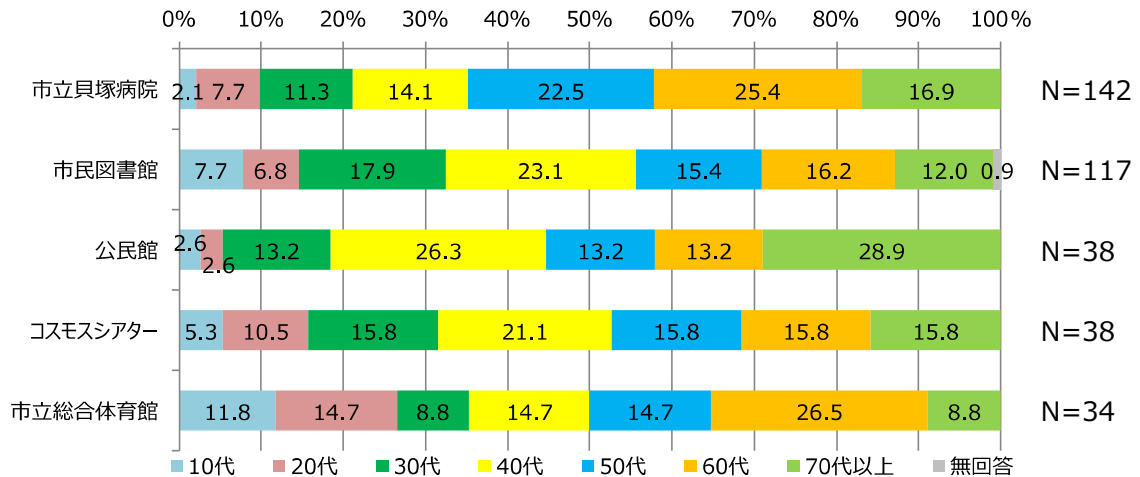
<70 代以上>



N=185

2) 最もよく利用する施設上位5位の年代別構成比

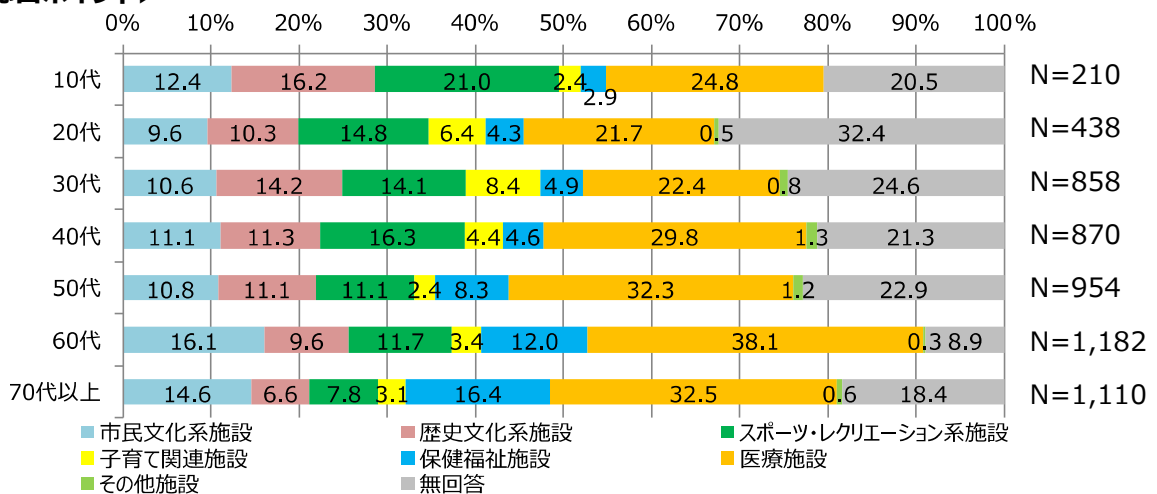
最もよく利用する施設として回答されたもののうち、上位5位の年代別構成比をみると、「市立貝塚病院」では「60代」が最も多く、次いで「50代」、「70代」となっている。「市民図書館」では「40代」が最も多く、次いで「30代」、「60代」となっている。「公民館」では「70代以上」が最も多く、次いで「40代」となっている。「コスモシアター」では「40代」が最も多く、次いで「30代」、「50代」、「60代」、「70代以上」が同等となっている。「市立総合体育館」では「60代」が最も多く、「10代」、「20代」が他の施設に比べて多くなっている。



3) 年代別今後も貝塚市内にあって欲しい公共施設

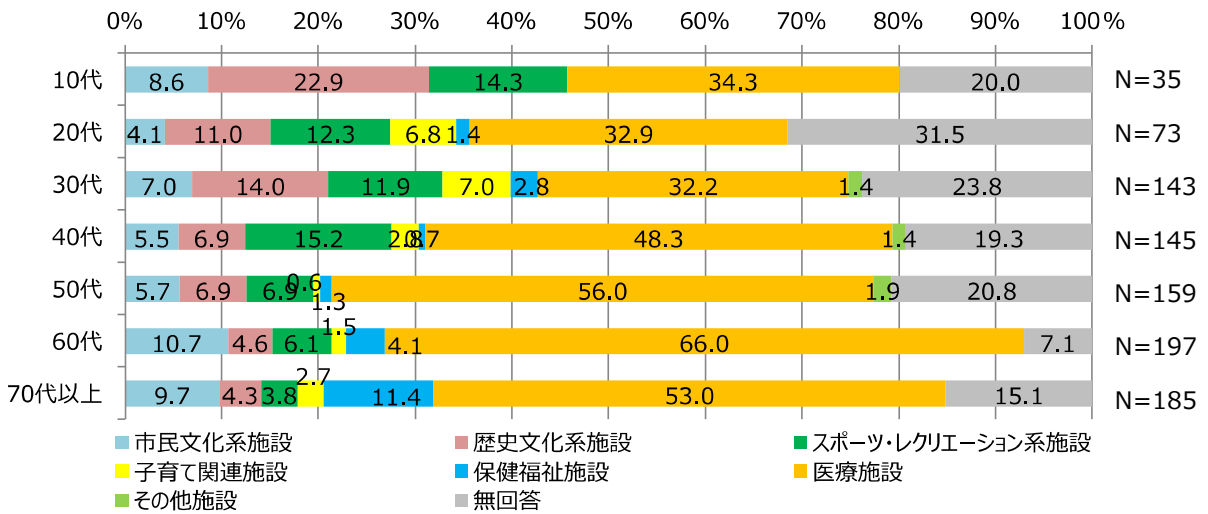
今後も貝塚市内にあって欲しい公共施設を、年代別にみると、「10代」では「スポーツ・レクリエーション系施設」が他の年代に比べて多くなっている。「20代」、「30代」では、「子育て関連施設」が他の年代に比べて多くなっている。「40代」では「スポーツ・レクリエーション系施設」が他の年代に比べて多くなっている。「50代」、「60代」、「70代」では、「保健福祉施設」が他の年代に比べて多いほか、「60代」、「70代」で「市民文化系施設」が他の年代に比べて多くなっている。

<総合ポイント>

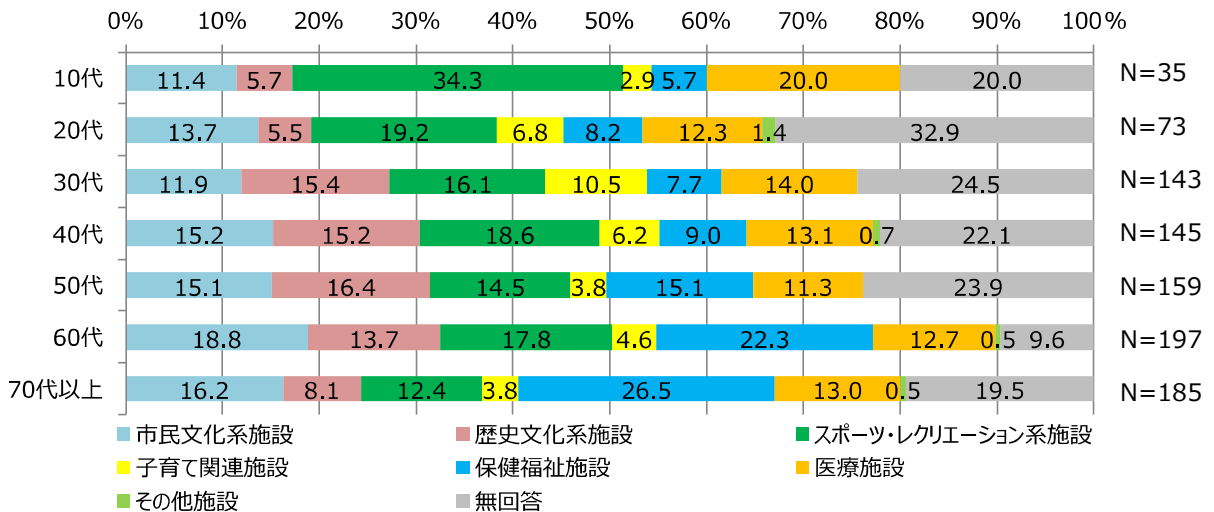


注) 各年代の母数(N)は、1位(3ポイント)・2位(2ポイント)・3位(1ポイント)を各選択肢の回答数に乘じた数の和であり、回答者数ではない(以下、同様)

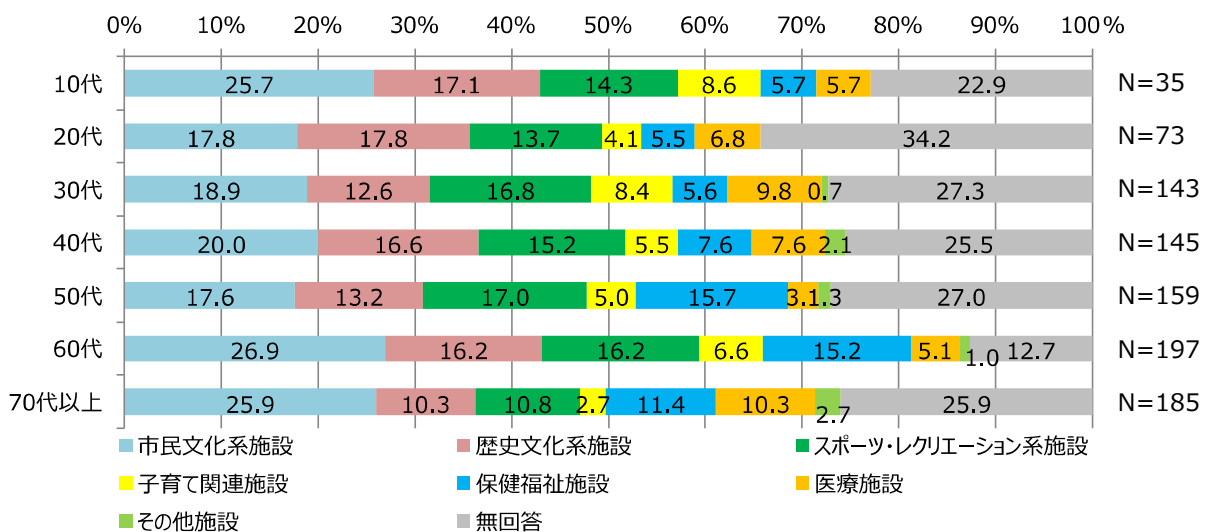
< 1 位 >



< 2 位 >

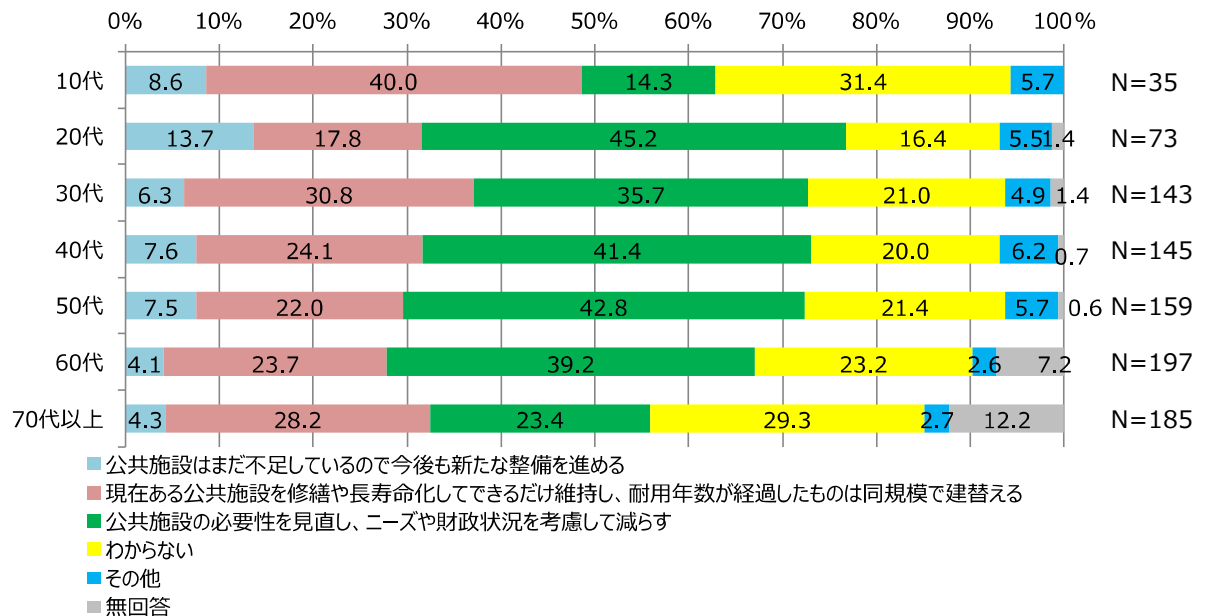


< 3 位 >



4) 年代別公共施設の維持管理の進め方

公共施設の維持管理の進め方に対する意見を年代別にみると、「10代」では「わからない」が最も多く回答されているが、次いで多く回答されている「現在ある公共施設を修繕や長寿命化してできるだけ維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える」が他の年代に比べて多くなっている。また、「公共施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況を考慮して減らす」の回答が他の年代に比べて少ない。「20代」では「公共施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況を考慮して減らす」の回答が他の年代に比べて多い一方、「公共施設はまだ不足しているので今後も新たな整備を進める」の回答も他の年代に比べて多い。「30代」から「60代」については、「公共施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況を考慮して減らす」が、他の項目よりも多くなっている。「70代以上」では「わからない」が最も多く回答されているが、次いで「現在ある公共施設を修繕や長寿命化してできるだけ維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える」が多くなっている。

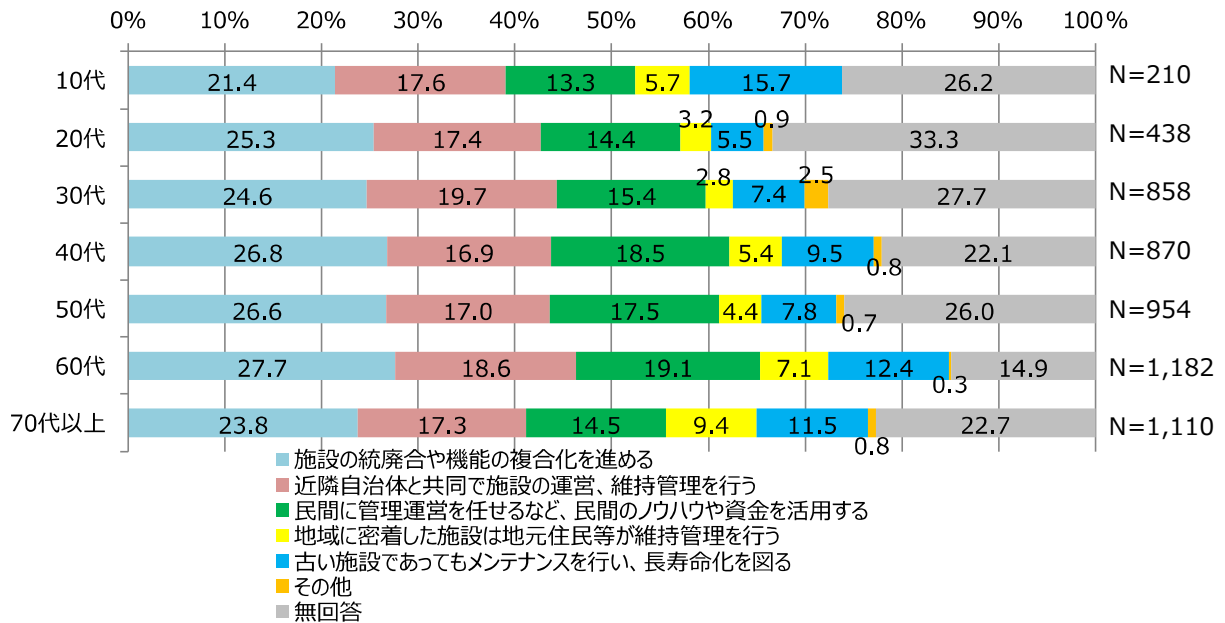


5) 年代別無料でサービスを提供している公共施設の今後

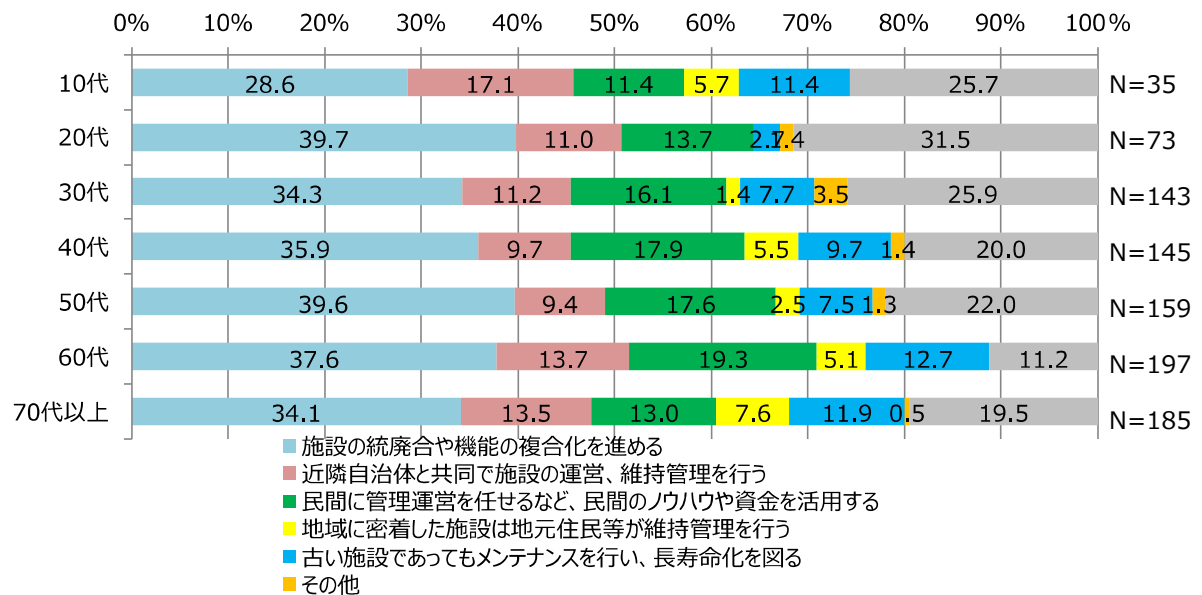
無料でサービス提供をしている公共施設の今後についての意見を、年代別にみると、いずれの年代も「施設の統廃合や機能の複合化を進める」が他の項目と比べて多くなっている。

また、「10代」では「古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る」が他の年代に比べて多くなっている。「70代以上」では「地域に密着した施設は地元住民等が維持管理を行う」が他の年代に比べて多くなっている。

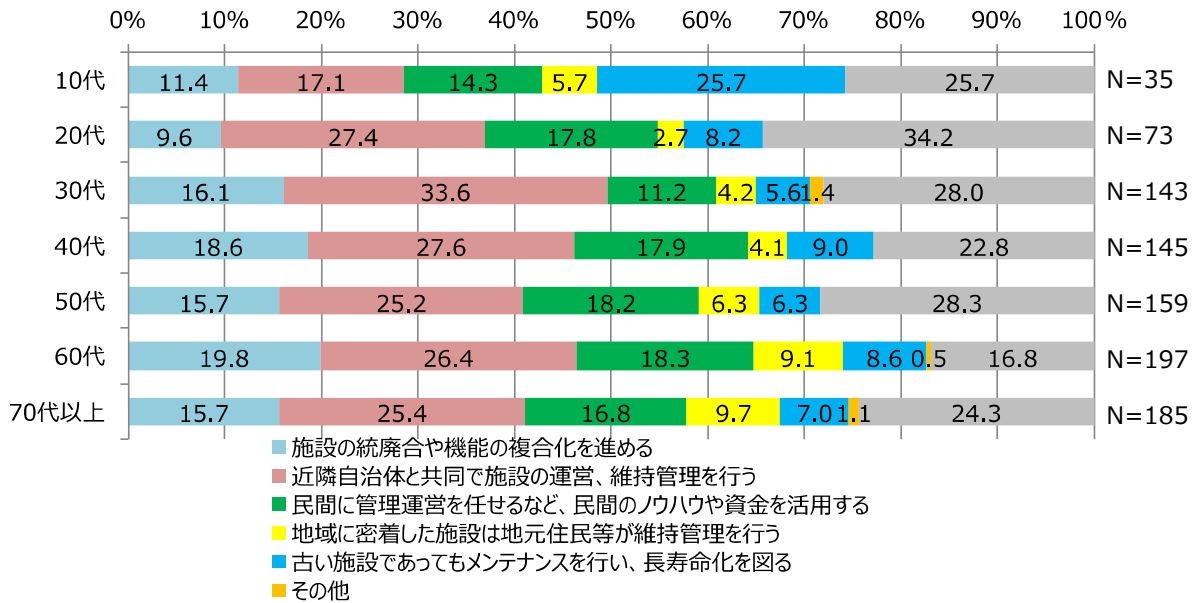
<総合ポイント>



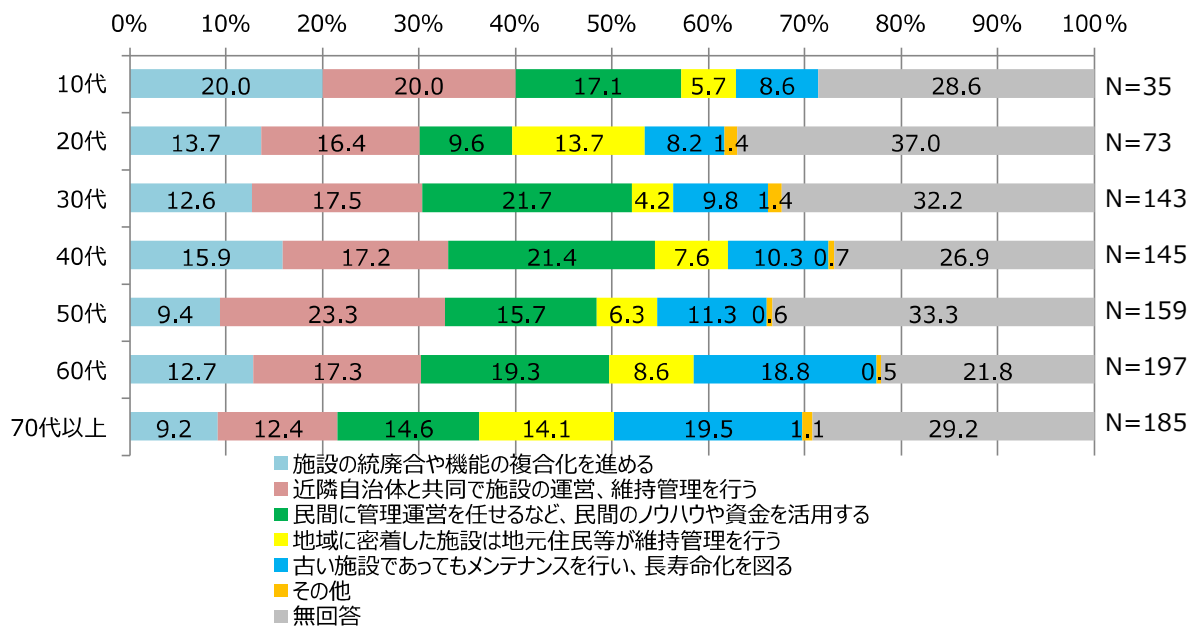
<1位>



< 2 位 >



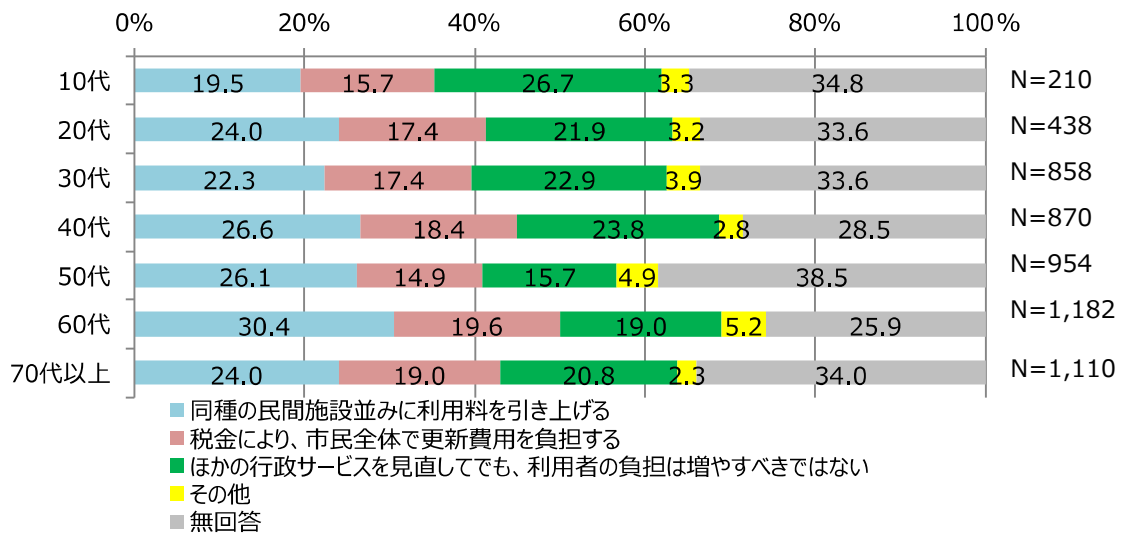
< 3 位 >



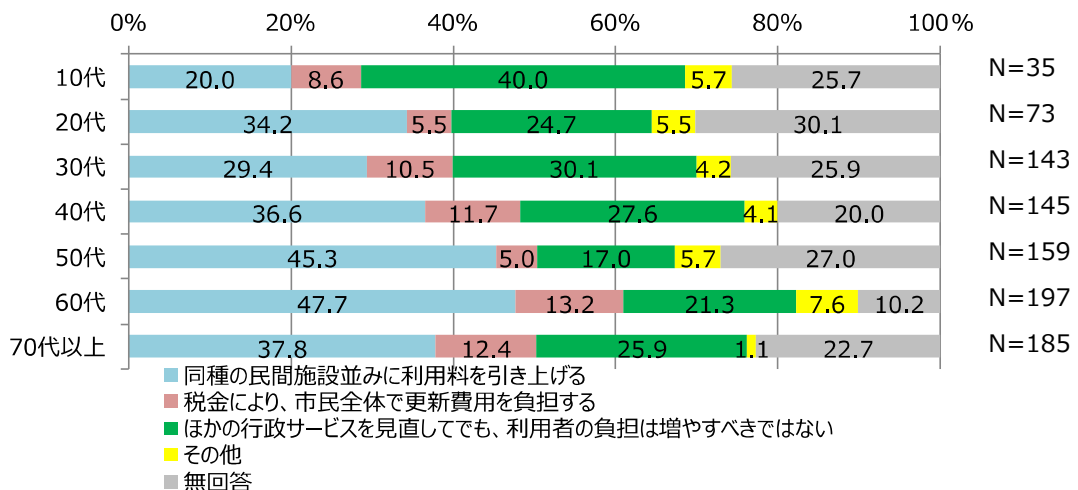
6) 年代別有料で行政サービスを提供している公共施設の今後

有料で行政サービスを提供している公共施設の今後についての意見を、年代別にみると、「10代」では「ほかの行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない」が他の項目よりも多く挙げられている。「20代」、「40代」、「50代」、「60代」、「70代以上」では「同種の民間施設並みに利用料を引き上げる」が他の項目よりも多く挙げられている。「30代」では、「ほかの行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない」が他の項目よりも多いが、「同種の民間施設並みに利用料を引き上げる」と同程度の構成比となっている。

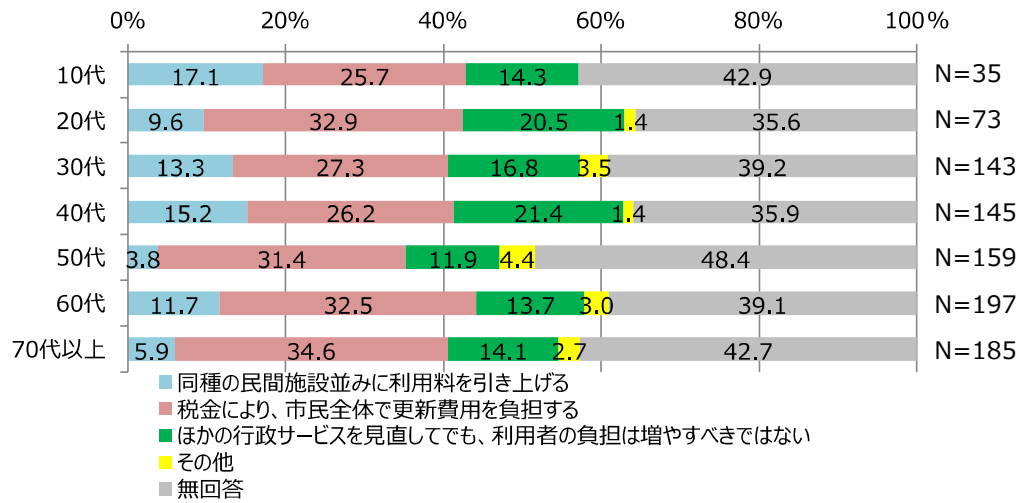
<総合ポイント>



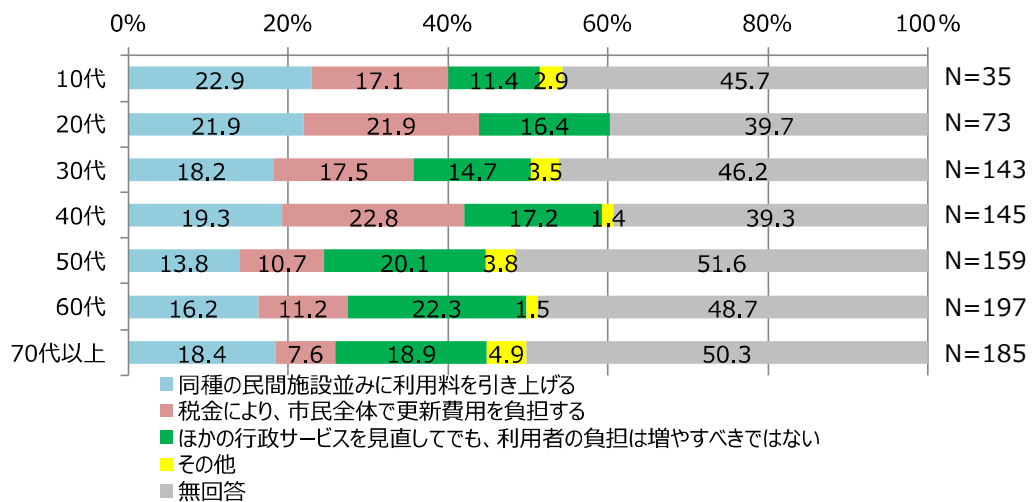
<1位>



< 2 位 >



< 3 位 >

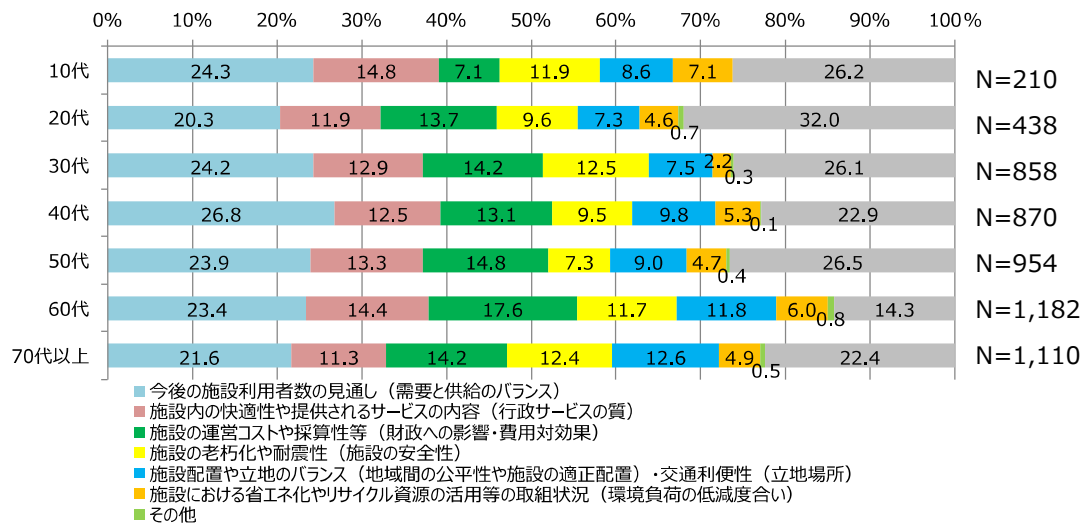


7) 年代別公共施設のあり方を検討する際に重視・優先すべき視点

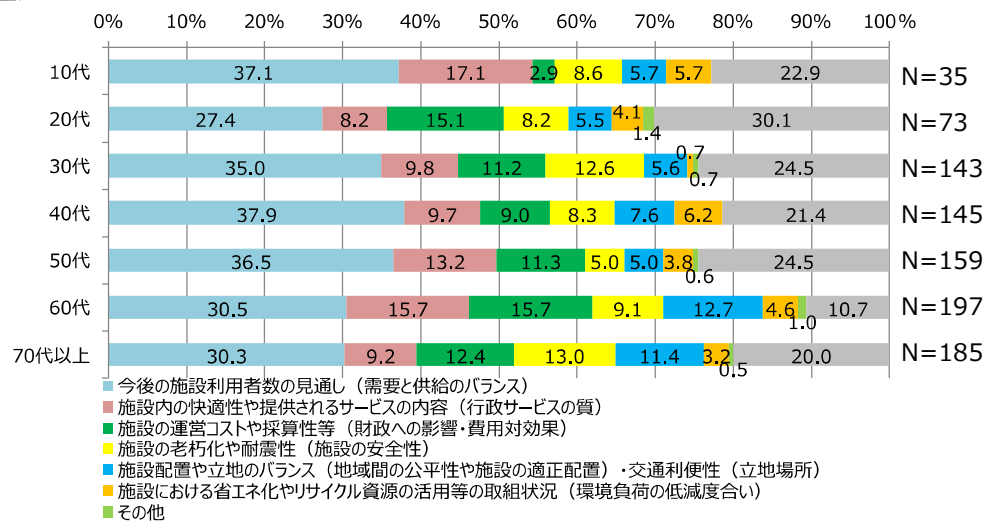
市が公共施設のあり方を検討する際に重視・優先すべき視点について、年代別にみると、いずれの年代でも「今後の施設利用者数の見通し（需要と供給のバランス）」が他の項目より多くなっている。

また、「10代」では「施設内の快適性や提供されるサービスの内容（行政サービスの質）」と「施設における省エネ化やリサイクル資源の活用等の取組状況（環境負荷の低減度合い）」が他の年代よりも多くなっている。「30代」では「施設の老朽化や耐震性（施設の安全性）」が他の年代よりも多くなっている。「60代」、「70代以上」では「施設配置や立地のバランス」が1割強回答されており、他の年代よりも多くなっている。

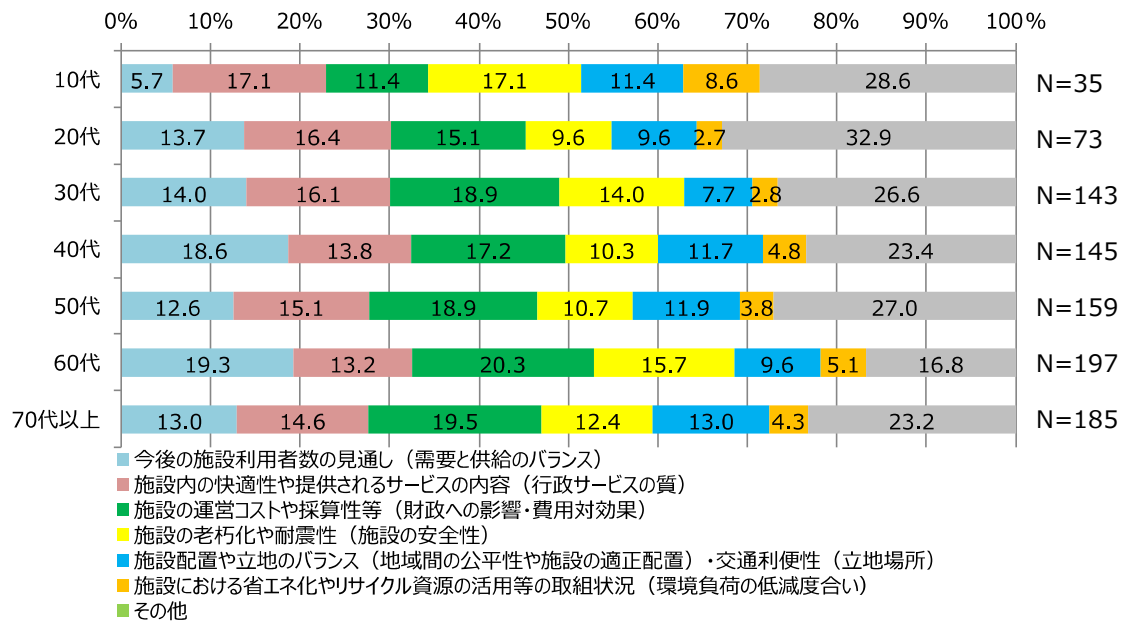
<総合ポイント>



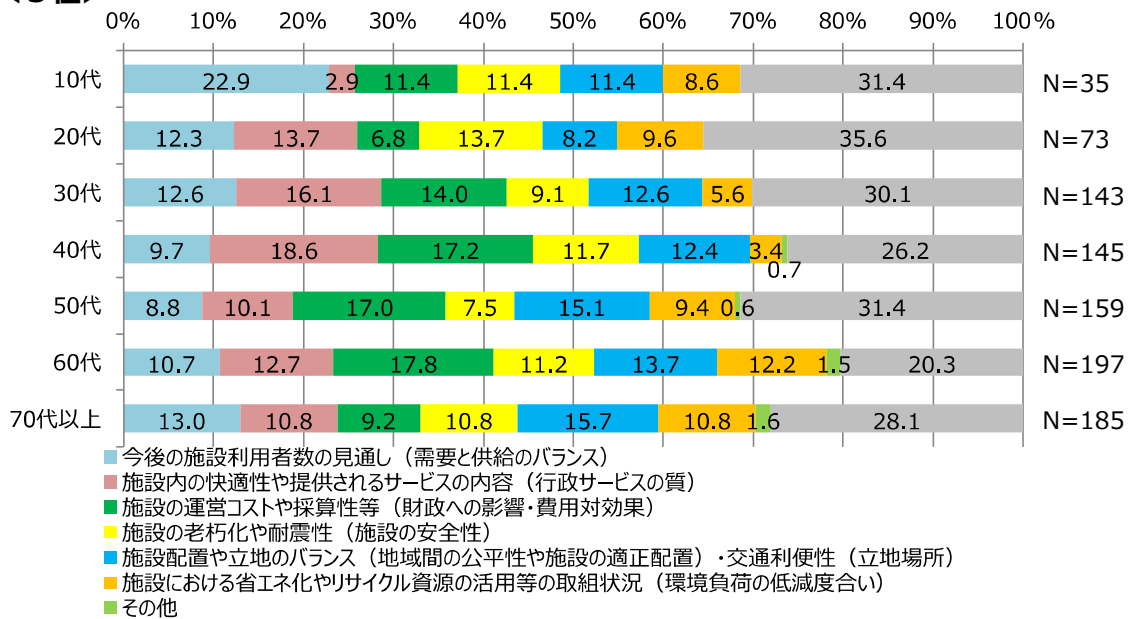
<1位>



< 2 位 >



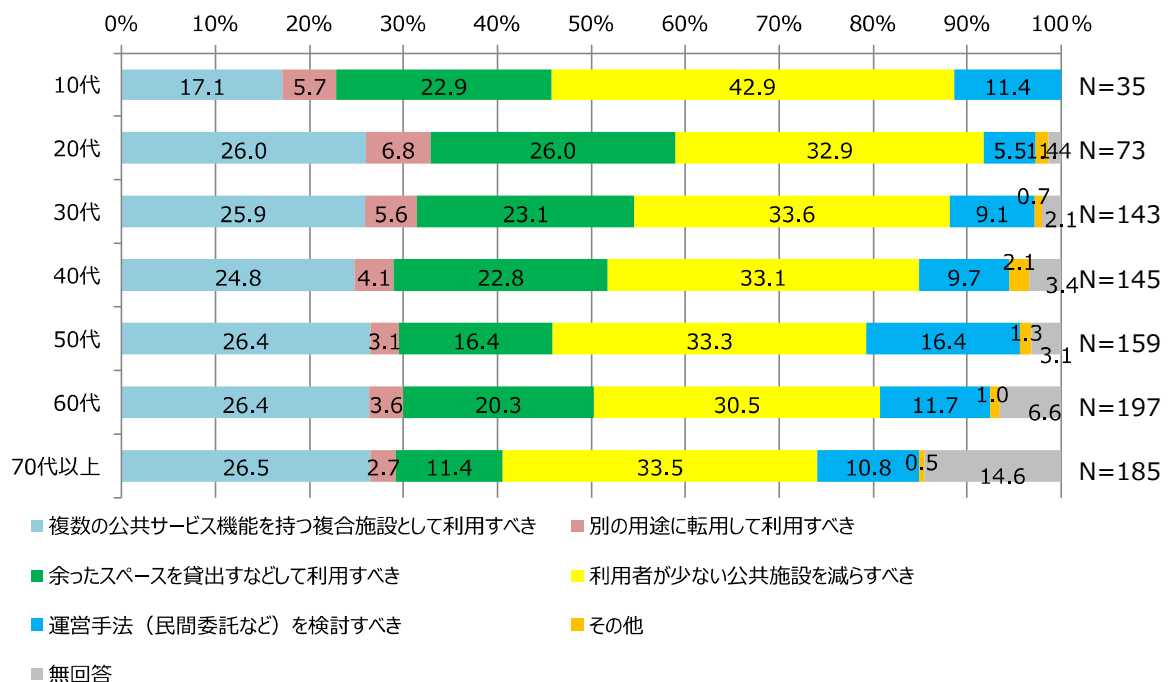
< 3 位 >



8) 年代別財政状況を踏まえた今ある公共施設に対する考え方

今後、厳しい財政状況が予測される中、今ある公共施設を利用していく場合の考え方について、年代別にみると、全ての年代で「利用者が少ない公共施設を減らすべき」が他の項目に比べて多くなっている。

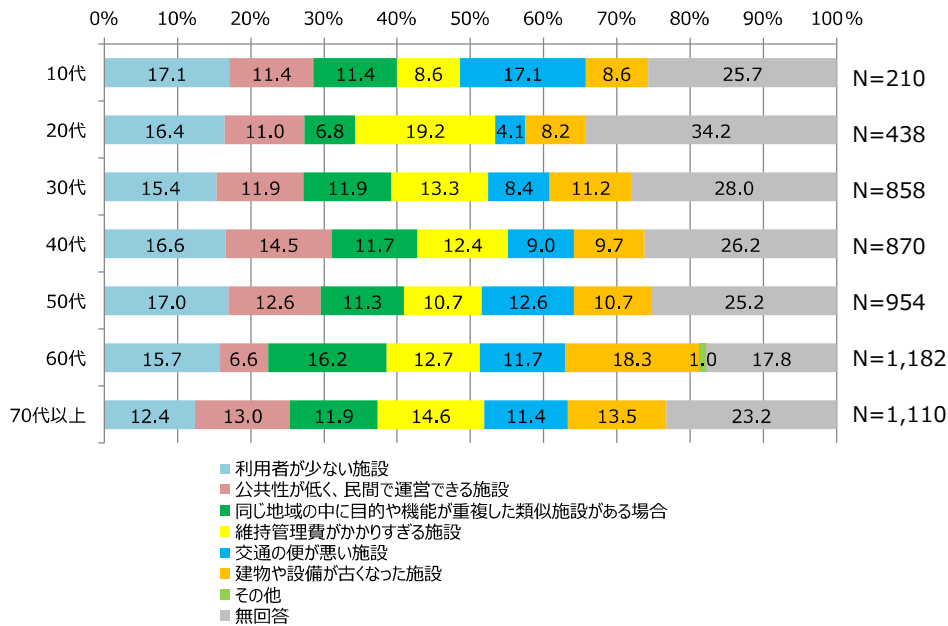
また、「10代」では「利用者が少ない公共施設を減らすべき」が他の年代に比べても多く回答されており、「複数の公共サービス機能を持つ複合施設として利用すべき」が他の年代に比べて少なくなっている。「20代」では、「余ったスペースを貸し出すなどして利用すべき」が他の年代に比べて多くなっている。「50代」では「運営方法（民間委託など）を検討すべき」が他の年代に比べて多くなっている。



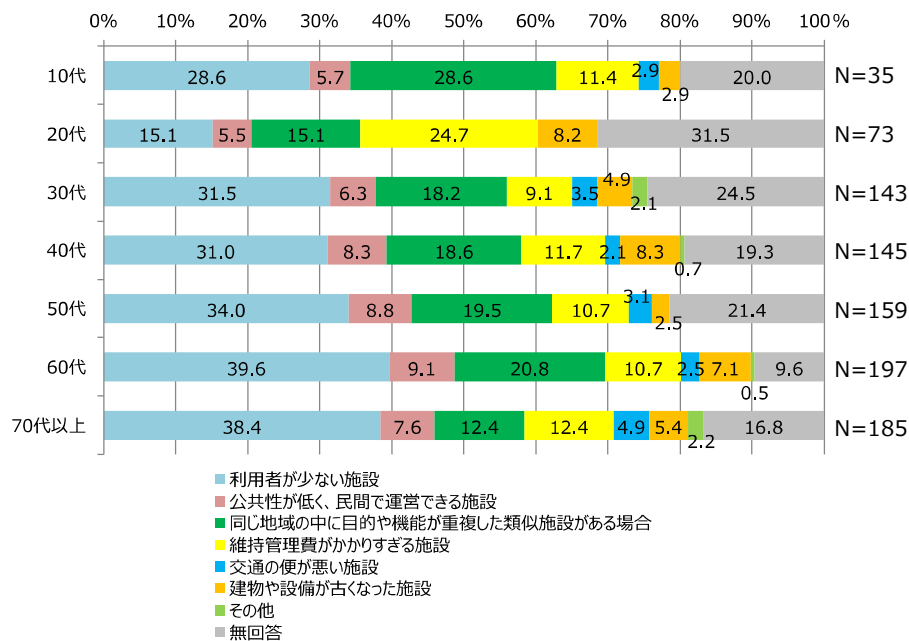
9) 年代別公共施設を減らす場合の考え方

公共施設を今後減らす場合の考え方を、年代別にみると、20代以外は「利用者が少ない施設」が最も多く選ばれている。20代では「維持管理費がかかりすぎる施設」が他の項目に比べて多く選ばれている。

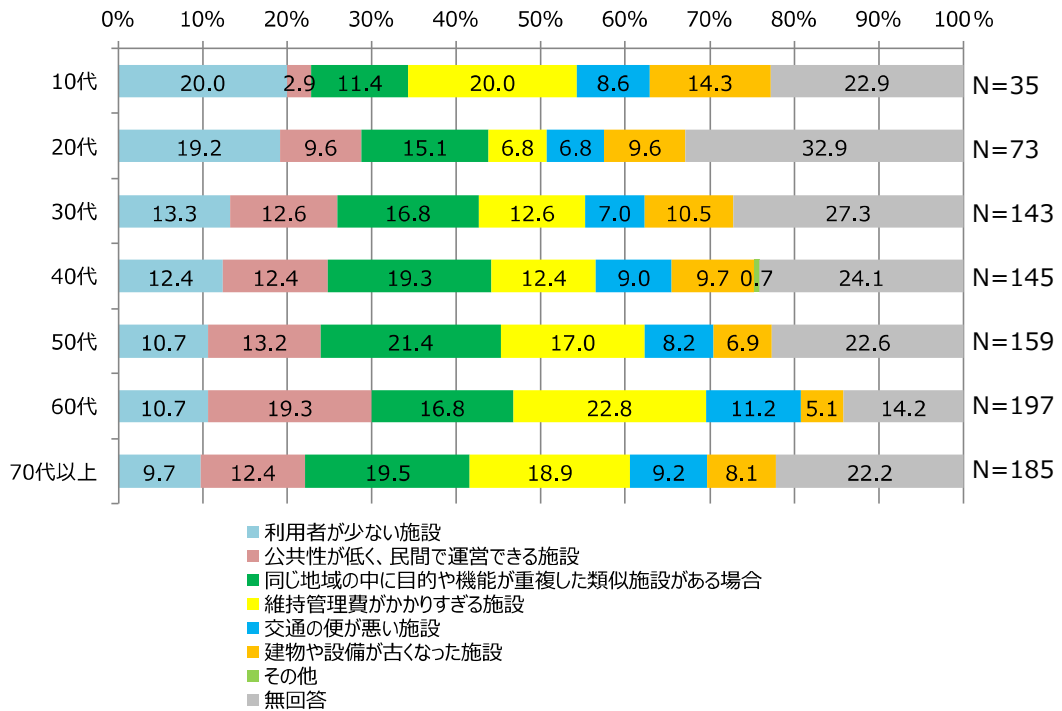
<総合ポイント>



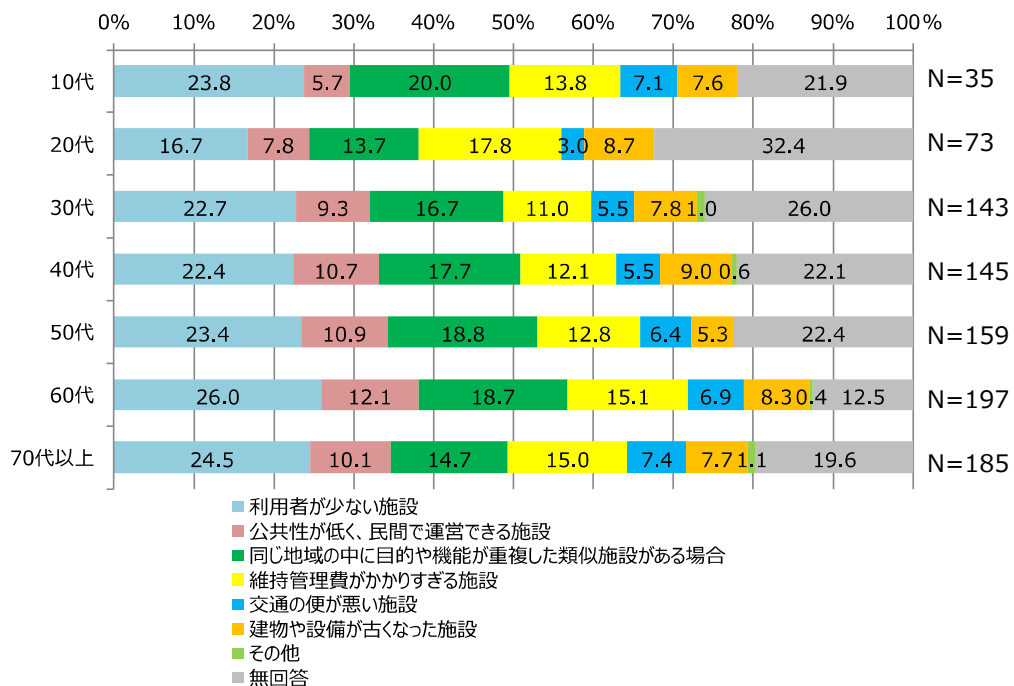
<1位>



< 2 位 >



< 3 位 >

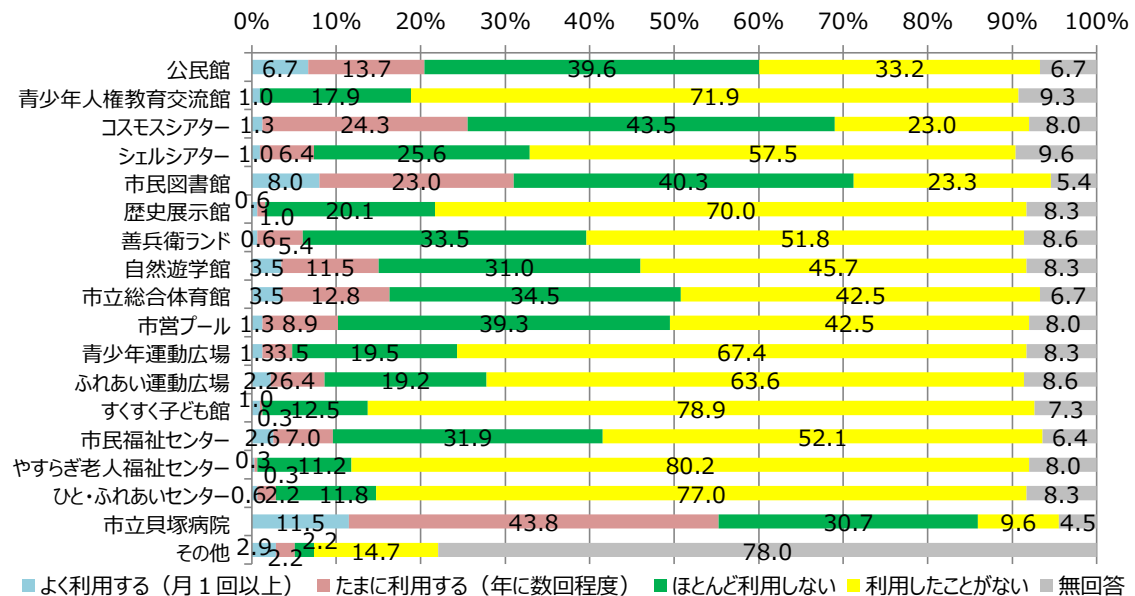


2. 居住地区別集計

1) 居住地区別公共施設の利用頻度

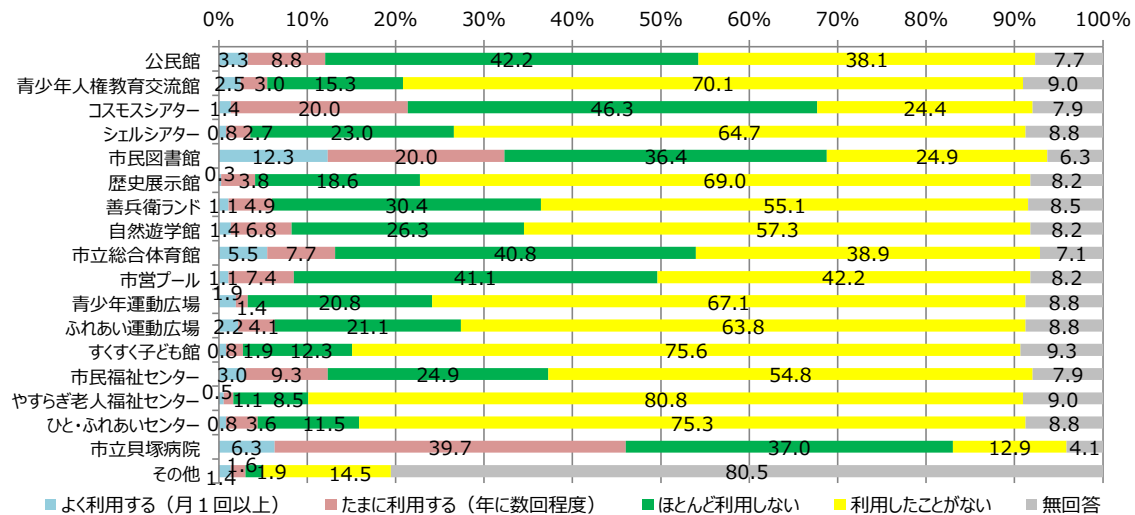
公共施設の利用頻度を、居住地区別にみると、いずれの地区も「市立貝塚病院」、「市民図書館」、「公民館」の順に「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。

<浜手地区>



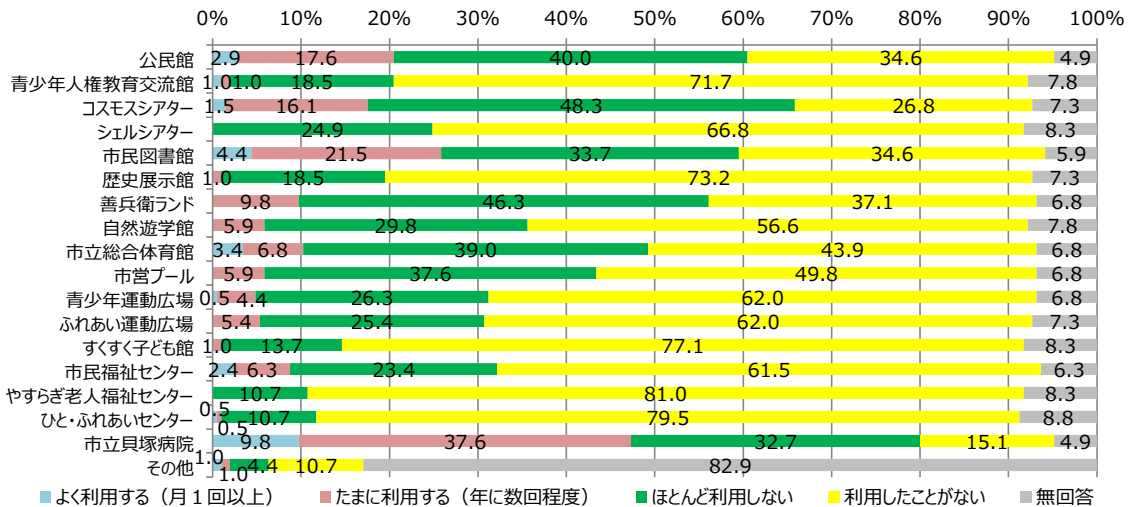
N=317

<中央地区>



N=366

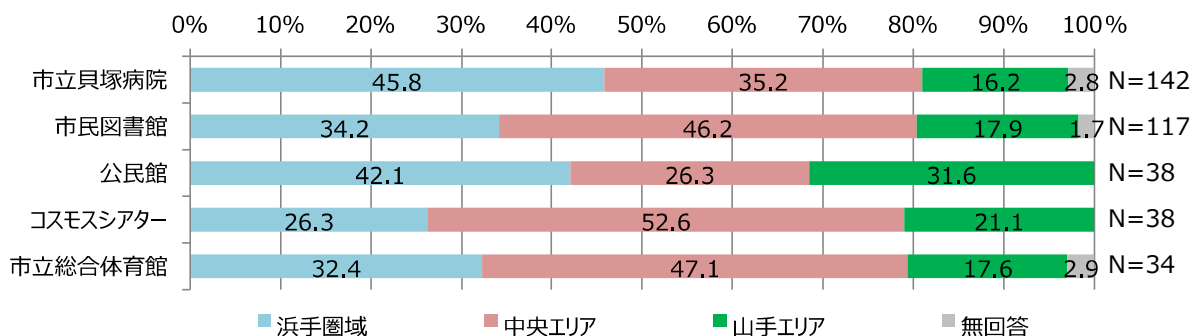
＜山手地区＞



N=205

2) 最もよく利用する施設上位5位の地区別構成比

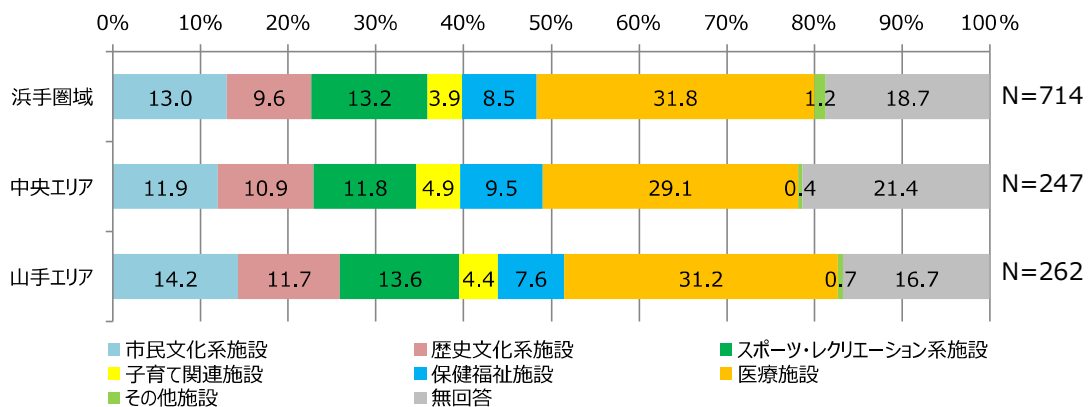
最もよく利用する施設として挙げられた上位5施設の、地区別構成比をみると、「市立貝塚病院」、「公民館」では「浜手地区」が最も多くなっている。「市民図書館」、「コスモシアター」、「市立総合体育館」では「中央地区」が最も多くなっている。



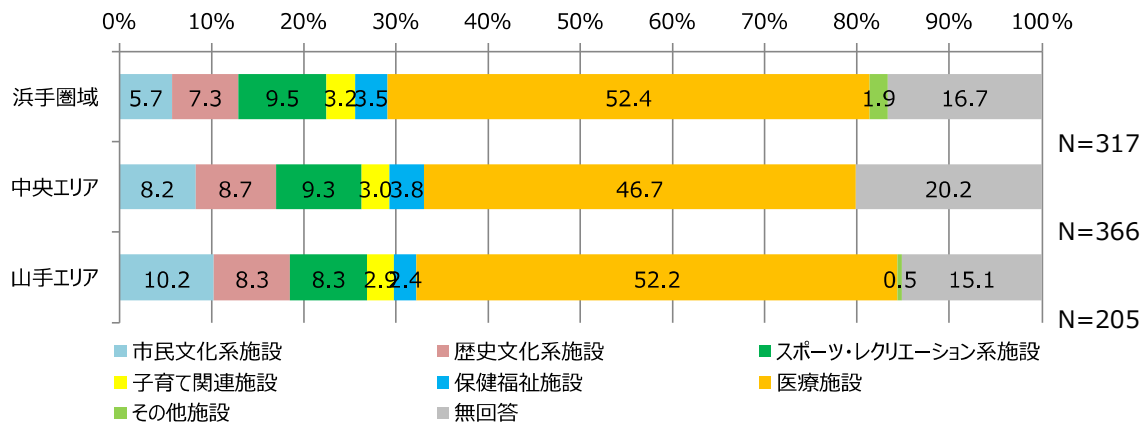
3) 地区別今後も貝塚市内にあって欲しい公共施設

今後も貝塚市内にあって欲しい公共施設を地区別にみると、いずれの地区でも「市民文化系施設」が他の項目に比べて多く挙げられている。

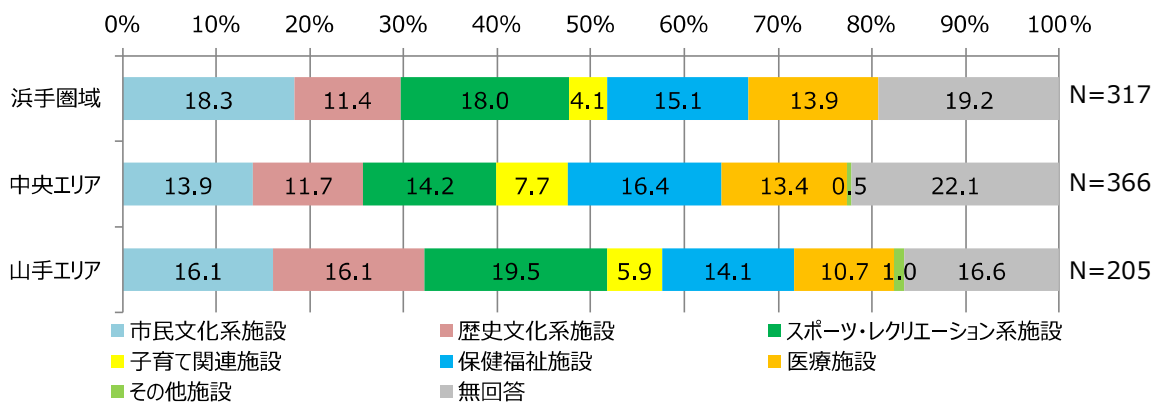
＜総合ポイント＞



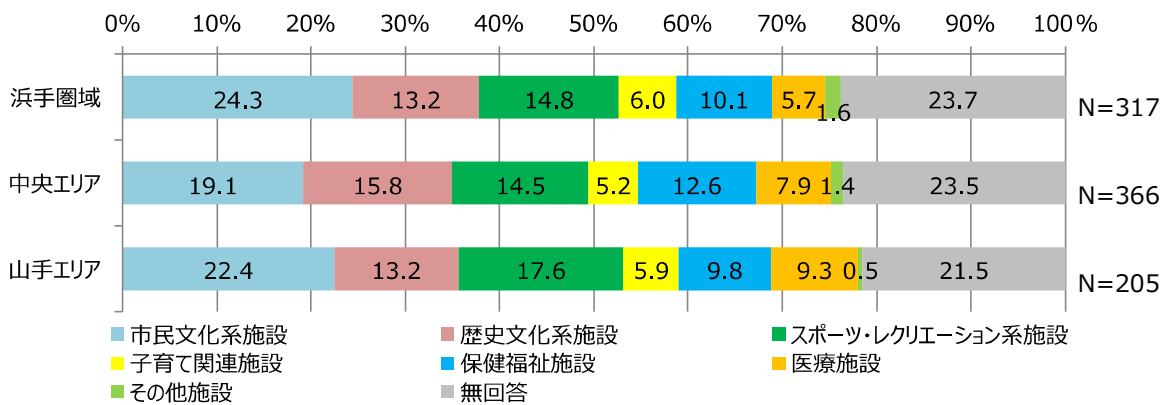
< 1 位 >



< 2 位 >



< 3 位 >

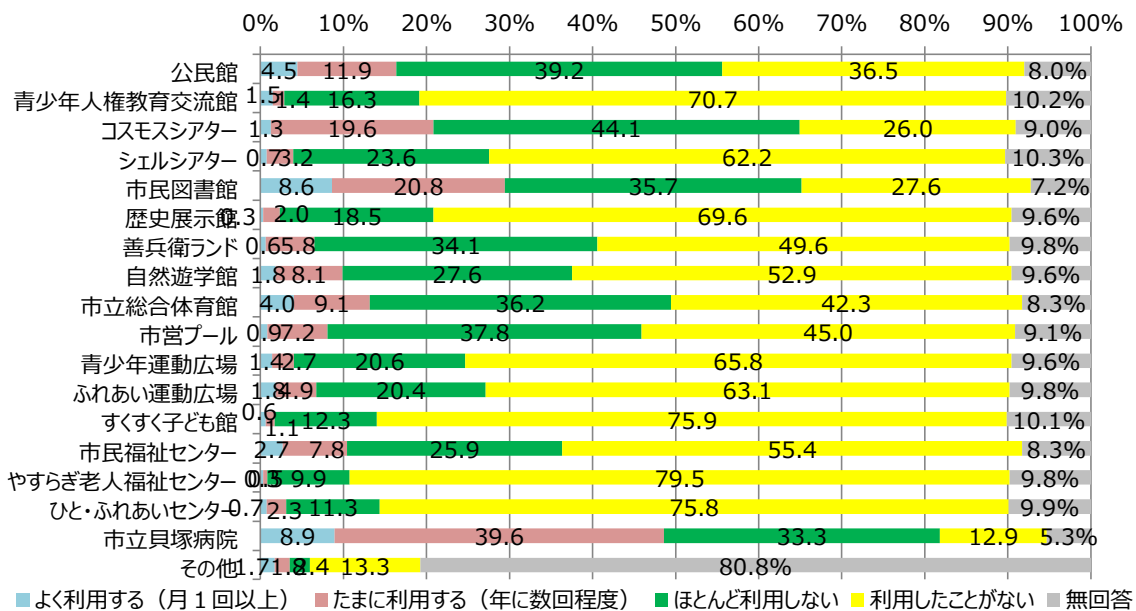


3. 職業別集計

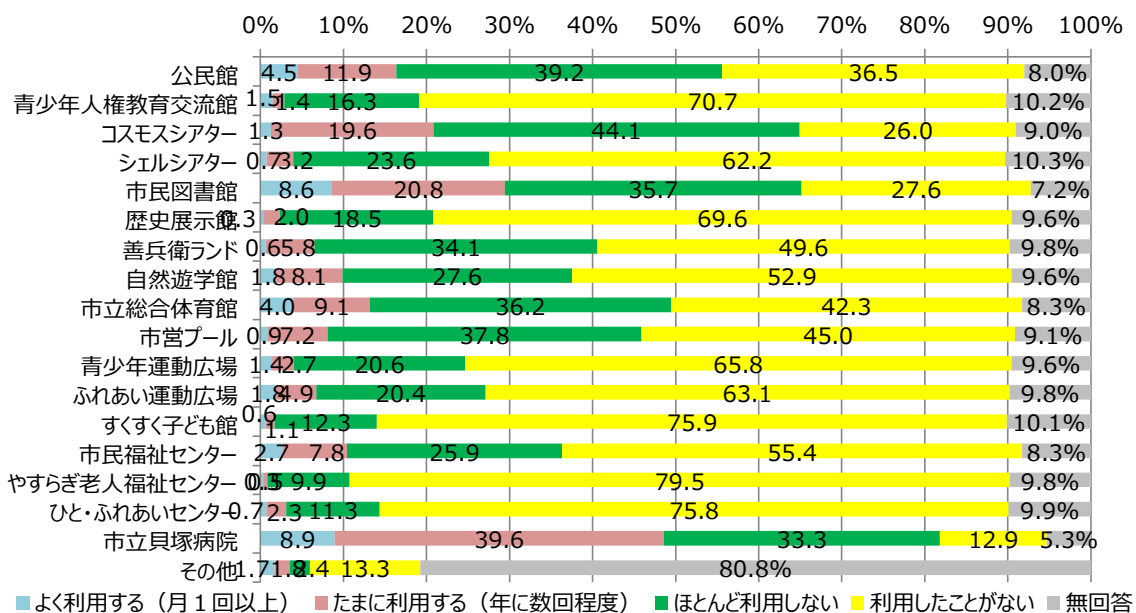
1) 職業別公共施設の利用頻度

公共施設の利用頻度を、職業別にみると、「学生」以外の職業では、「市立貝塚病院」、「市民図書館」、「コスモシアター」、「公民館」の順に「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。「学生」では「市民図書館」、「市立貝塚病院」、「市立総合体育館」、「公民館」の順に「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。

<会社員・公務員等>



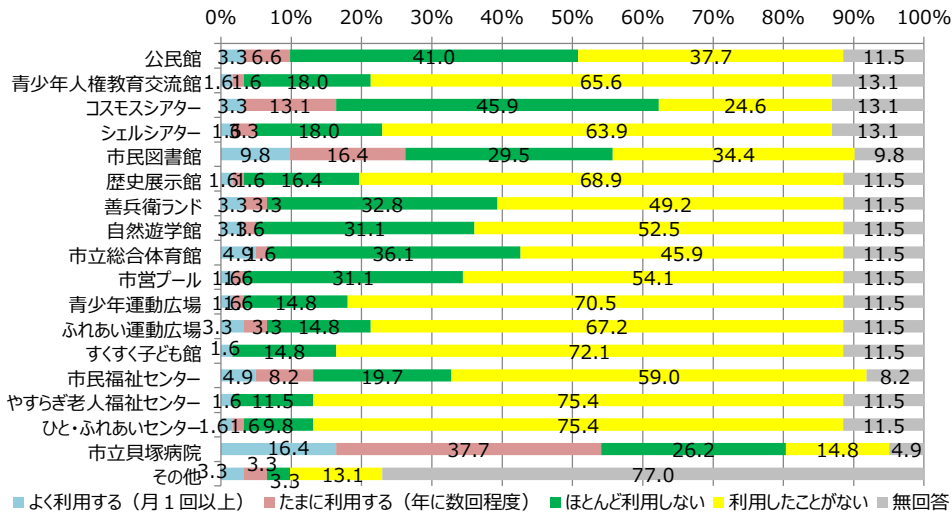
<自営業>



N=335

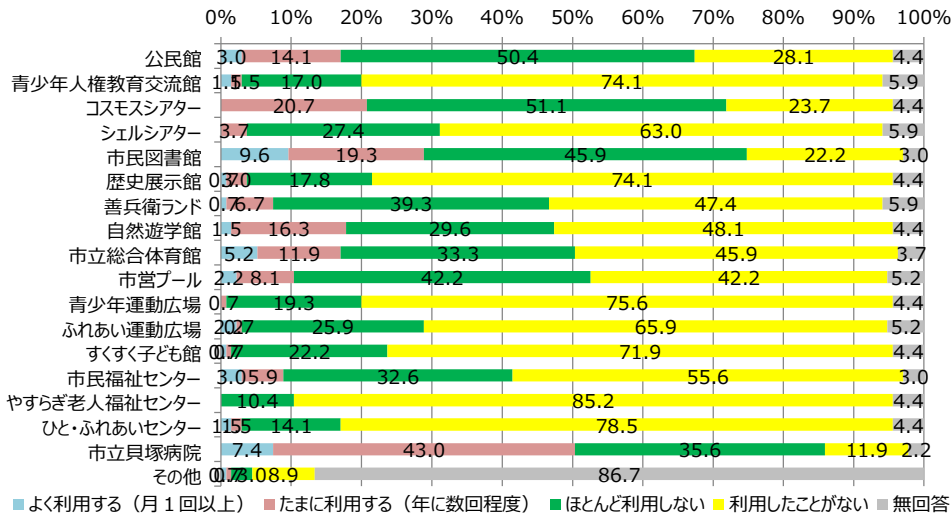
N=61

＜アルバイトなどの臨時雇用＞



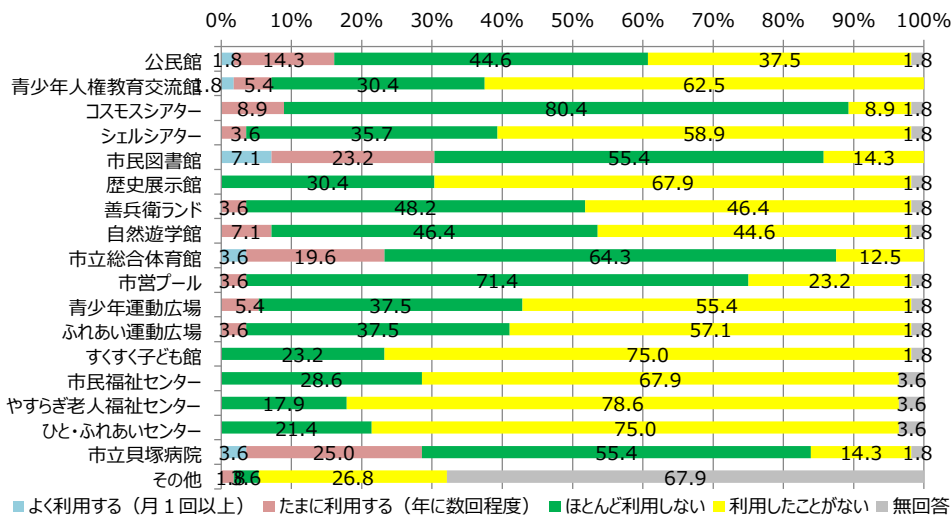
＜学生＞

N=135



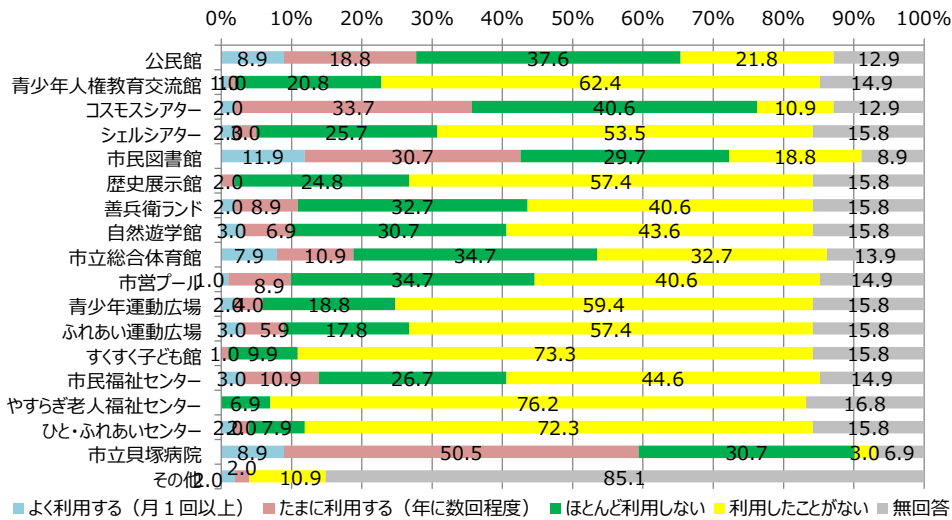
＜専業主婦・主夫＞

N=56



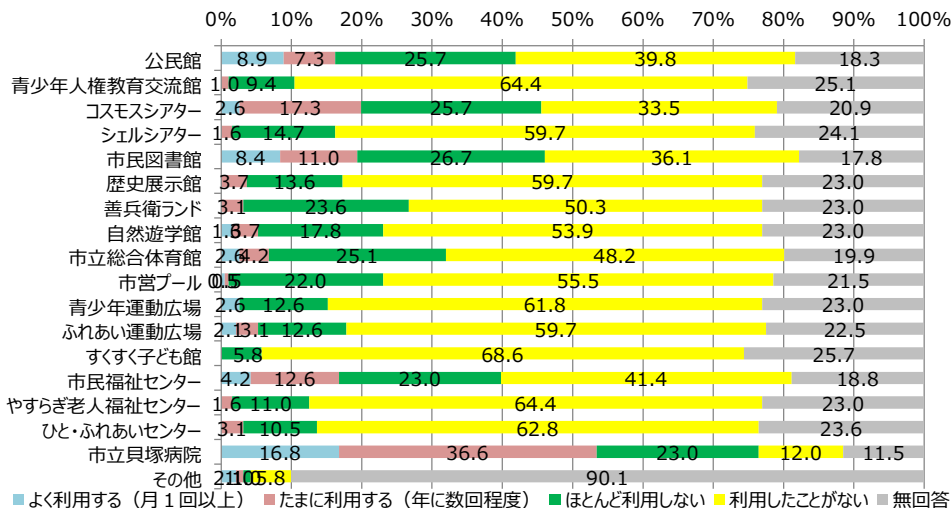
N=101

<無職>



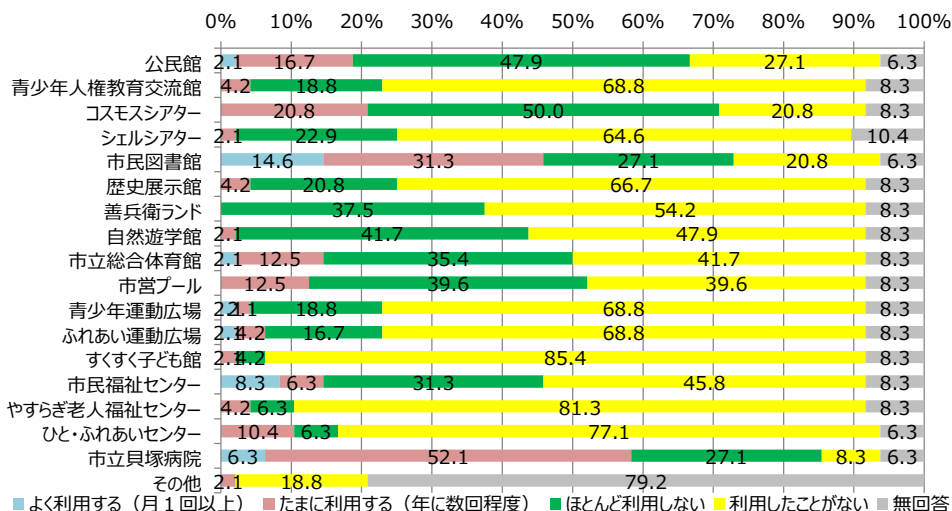
N=191

<その他>



N=48

<職業について無回答>



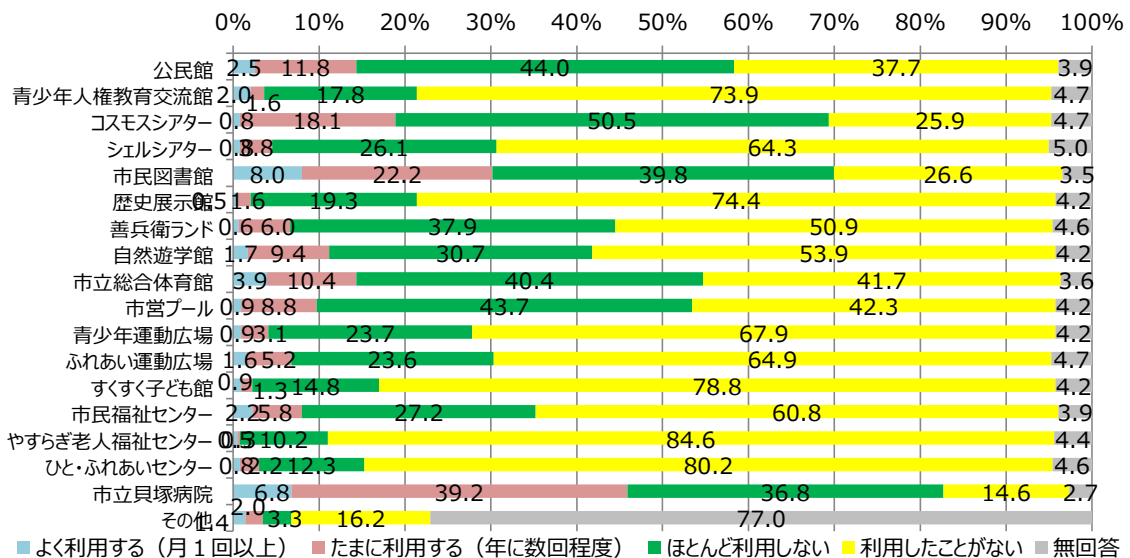
N=14

4. 通勤・通学先別集計

1) 通勤・通学先別公共施設の利用頻度

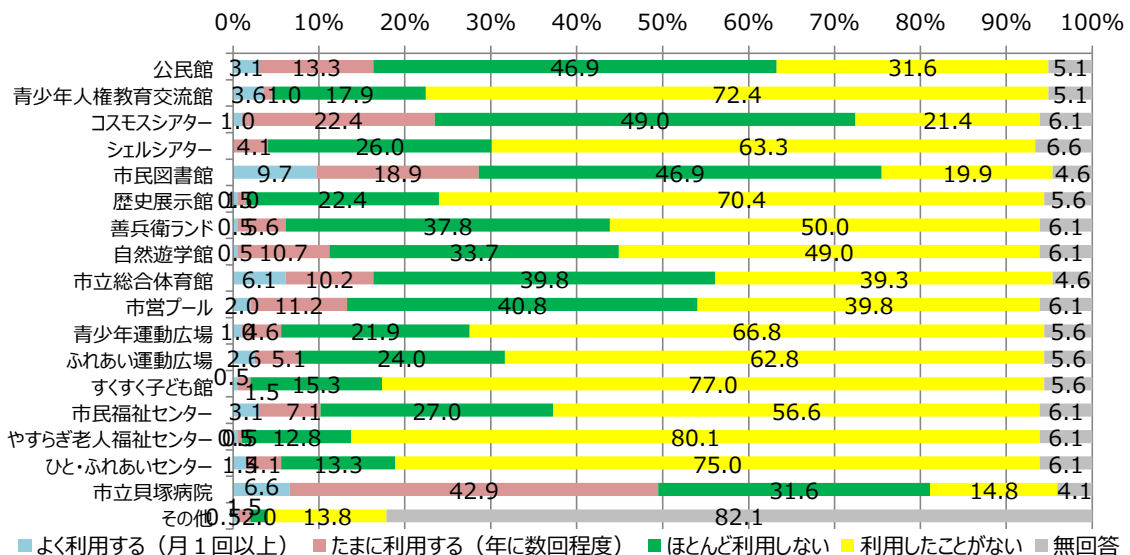
公共施設の利用頻度を、通勤・通学先別にみると、「他府県」以外の通勤・通学先で「市立貝塚病院」、「市民図書館」、「コスモシアター」、「公民館」の順に「よく利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年に数回程度）」が多くなっている。

<貝塚市内（自宅以外）>



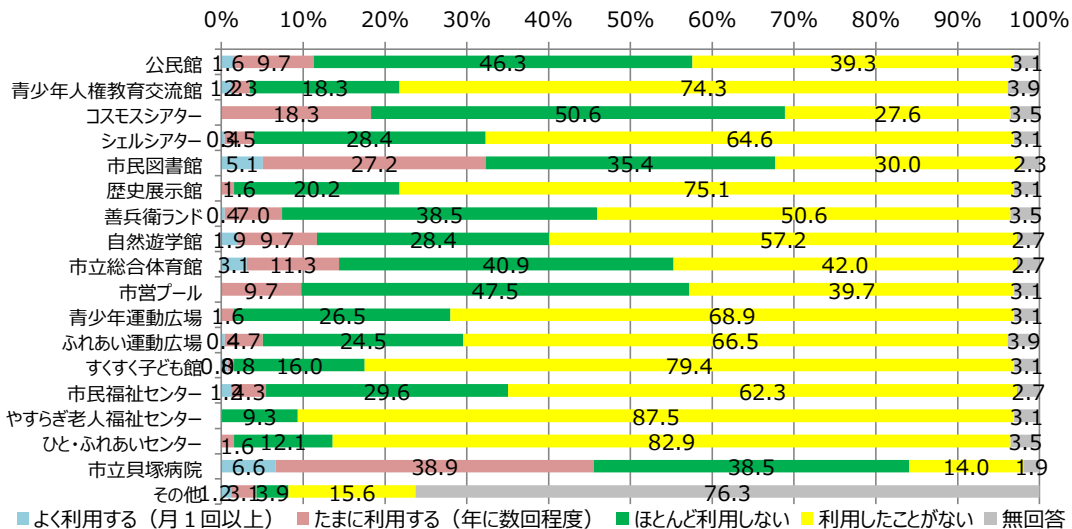
N=196

<泉州地域（*）>



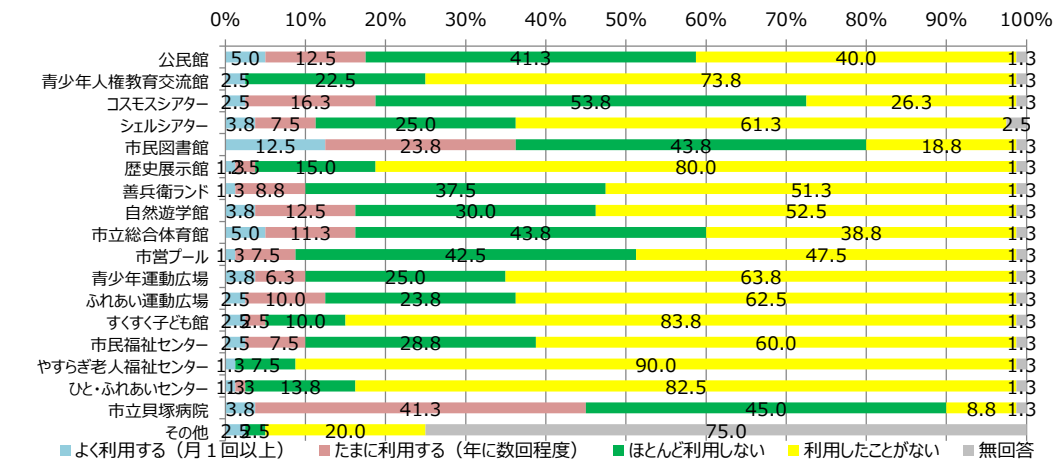
N=257

＜大阪市＞



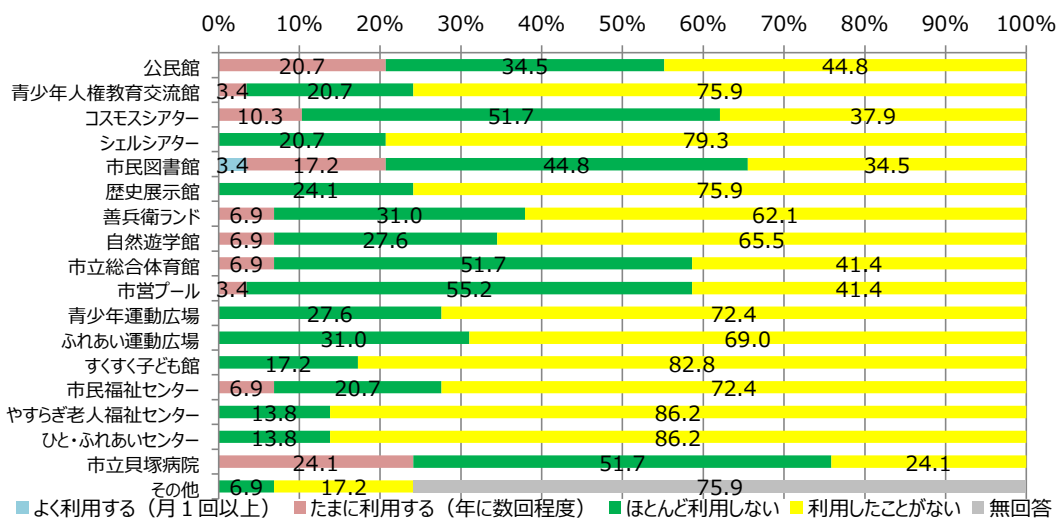
＜他府県＞

N=80



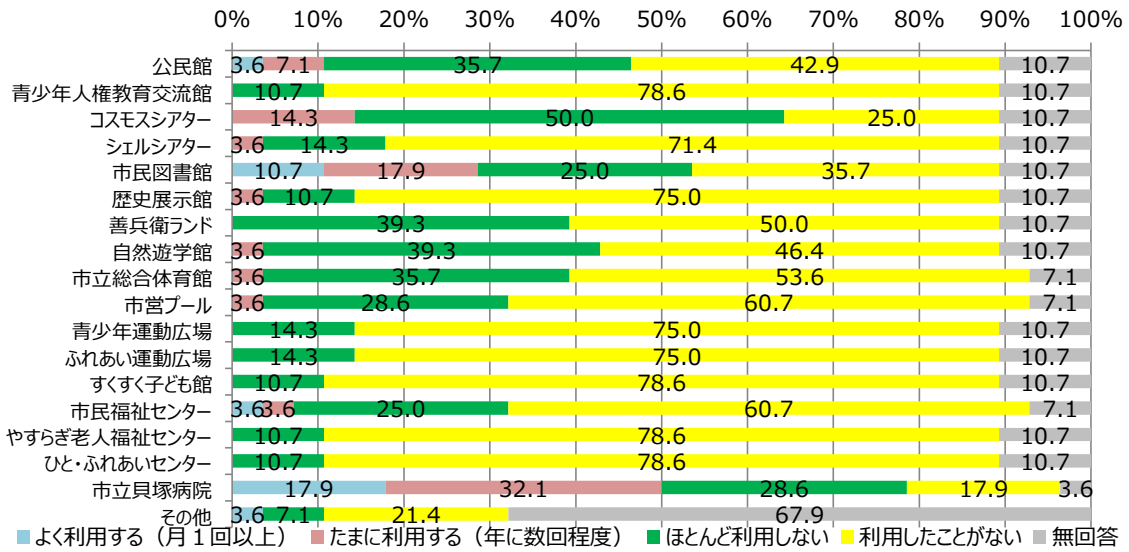
N=29

＜自宅＞



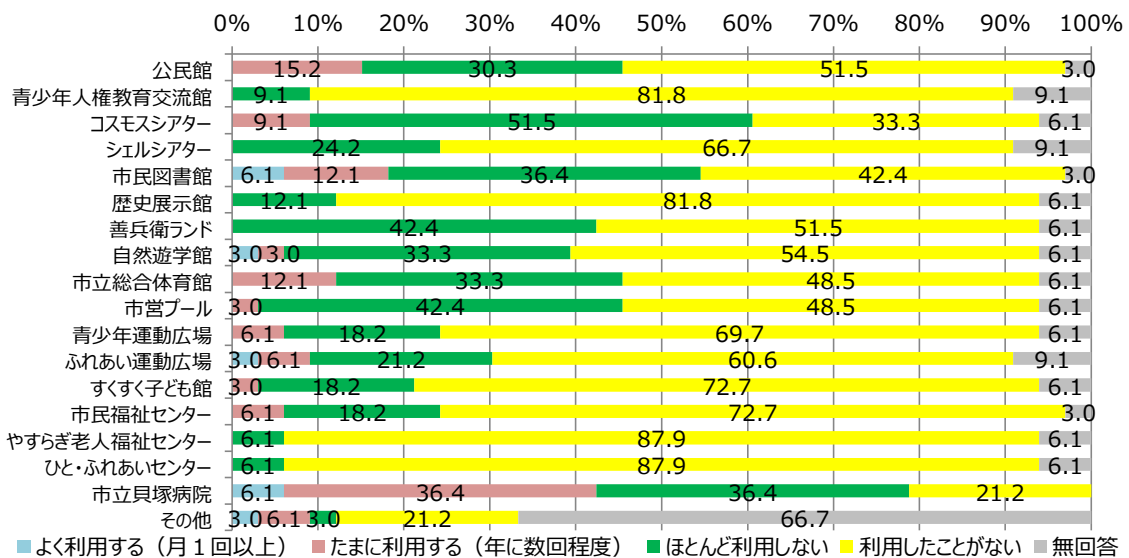
N=28

＜その他＞



N=33

＜通勤・通学先について無回答＞



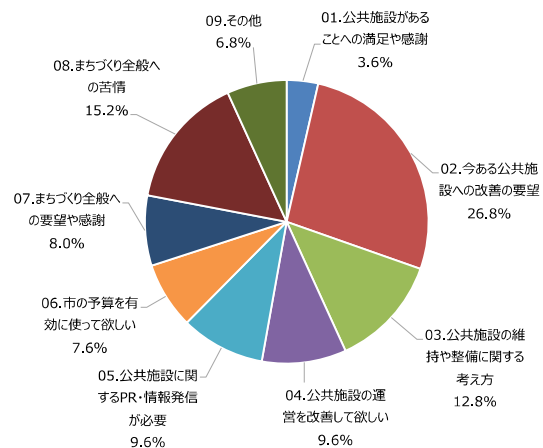
N=13

（自由意見）貝塚市の公共施設について、ご自由にご意見をお書きください。

有効回答数 941 件のうち 250 件。

主な意見の内容は、公共施設に関することでは「今ある公共施設への改善の要望」が最も多く、次いで「公共施設の維持や整備に関する考え方」が多くなっている。「公共施設の運営を改善して欲しい」、「公共施設に関する PR・情報発信が必要」といった趣旨の意見も同等程度にあげられた。

その他、公共施設に関すること以外にも、「まちづくり全般への苦情」や「まちづくり全般への要望や感謝」、「市の予算を有効に使って欲しい」といった趣旨の意見も約 3 割程度あげられた。



＜各カテゴリーの意見件数と代表的な意見＞

01. 公共施設があることへの満足や感謝（9 件）

日頃、公民館を利用する事が多いです。自分が自分らしく過ごせる場所です。しっかり支えて下さっているのが専任の職員さん方です。今ある公民館を今後も存続させていかなければと強く思います。

02. 今ある公共施設への改善の要望（67 件）

体育館の雨漏りをなくして、温水の出るシャワー設備(有料でも可)を整えて欲しい。体育館のせめて屋根だけでも塗り替えて欲しい。サビが目立って見苦しい。

03. 公共施設の維持や整備に関する考え方（32 件）

公共施設の利用は子育て中と高齢者ではその頻度や目的は大きく異なると思います。都度判断するのは難しいとは思いますが、病院など命に直結するもの以外は見直しもしかたないと思います。

04. 公共施設の運営を改善して欲しい（24 件）

住民と市が協力して、提案や企画をできると良い。運営は、プロである民間業者に委託しつつ、維持、継続できるといいと思う。本気で市民のために企画、計画したことなら、市民は協力してくれると思う。

05. 公共施設に関する PR・情報発信が必要（24 件）

公共施設で何をしているのか、どのような事ができるのかを知らない人は多いと思います。ポスターや冊子などを駅やスーパー等に置いてくれると分かりやすいです。

06. 市の予算を有効に使って欲しい（19 件）

今後財政が厳しくなっていくので全てにおいて税金の無駄をなくし、市民のための行政運営を願います。

07. まちづくり全般への要望や感謝（20 件）

子育て支援策を拡充して、人口を流入させ、税収増を目指してください。

08. まちづくり全般への苦情（38 件）

子どもが安全に遊べる場所をもっと増やすべき、かつきれいに整備されるべき。

参考資料 6 市民意見交換会

6.1 開催概要

趣旨

「貝塚市公共施設等総合管理計画」の改定にあたり、今後の公共施設等のあり方を検討するために、公共施設を日頃利用されている市民から、地域での望ましい使われ方、提供が必要な行政サービス、将来の負担を軽減する方法等について、意見やアイデアを聞く市民意見交換会を開催した。

開催は、浜手地区・中央地区・山手地区において各 1 回（進行の内容は同じ）、計 3 回とした。

日時／場所

- 第 1 回 10 月 29 日（日曜日）13 時～15 時 ／ 山手地区公民館
第 2 回 11 月 26 日（日曜日）13 時～15 時 ／ 浜手地区公民館
第 3 回 12 月 17 日（日曜日）13 時～15 時 ／ 中央公民館

参加者数

- 第 1 回 山手地区公民館 7 名
第 2 回 浜手地区公民館 19 名
第 3 回 中央公民館 22 名

当日のプログラム

1) オリエンテーション（25 分）

- ・貝塚市の公共施設の現状と、財政等の今後の予測
- ・公共施設マネジメントの事例紹介
- ・意見交換の進め方と、到達ゴールについて

2) グループワークによる意見交換（80 分）

- ・6～7 人のグループに分かれてディスカッション
- ・各グループにファシリテーターがつき、ディスカッションをサポート
- ・グラフィックレコーディング（議論の内容をリアルタイムで絵や図でまとめること）のできるファシリテーターが入り、ディスカッションの結果を「見える化」

3) 振り返り・共有（15 分）

- ・グラフィックレコーディングをみながら、各グループ内で出た意見を振り返り、共有

<参考 参加者募集チラシ>

「貝塚市公共施設等総合管理計画」の改訂に関する

市民意見交換会

貝塚市では、現在「貝塚市公共施設等総合管理計画」の改訂に取り組んでおり、

今後の公共施設等のあり方を検討しています。

この検討の一貫として、公共施設を日頃利用されている市民のみなさまから、
地域での望ましい使われ方、提供が必要な行政サービス、将来の負担を軽減する方法等について、
ご意見やアイデアをお聞きする市民意見交換会を開催します。

貝塚市内に在住の15歳以上の方は、どなたでもご参加可能です。市内の3会場で各1回開催しますので、

お住まいや職場・学校から行きやすい会場の開催日時をご確認の上、ぜひご参加ください。



参加無料

* 申込先着順
* 子ども連れ
参加OK

10/29 日

山手地区公民館

講座室 1

貝塚市東山7丁目10-1
13時～15時／定員30名

11/26 日

浜手地区公民館

講座室 1・2

貝塚市二色2丁目7-2
13時～15時／定員30名

12/17 日

中央公民館

講座室 2

貝塚市島中1丁目18-1
貝塚市民文化会館コスモシアター2階
13時～15時／定員30名

各会場の開催日時

参加申込方法

各開催日の2日前までに、参加申込用紙を、メールまたは電話、FAXで右記の申込・問い合わせ先までご提出ください。

申込・問い合わせ先

貝塚市役所総合政策部行財政管理課

電話番号 072-433-7393 FAX 072-433-7233

メールアドレス shisetsu@city.kaizuka.lg.jp

裏面に続く



各回、グラフィックレコーディングにより意見やアイデアを以下の通り整理した。

- ・3グループ（A～C）に分かれてディスカッション

<よく利用する>

市役所
市民福祉センター
4F コーラス活動
名の仕方
↑使用

少年人権教育交流館
体育室あり(雨天時も使用)

市図書館
民へく!!
子どもの読書開始
外壁古い(修理必要)

総合体育館(個体)
バス使用
剣道・バレーなど

中央公民館 別棟
(小)児童会・料金に減額

最寄り山手地区公民館の近く
駐車場 市民福祉センターへも大さき

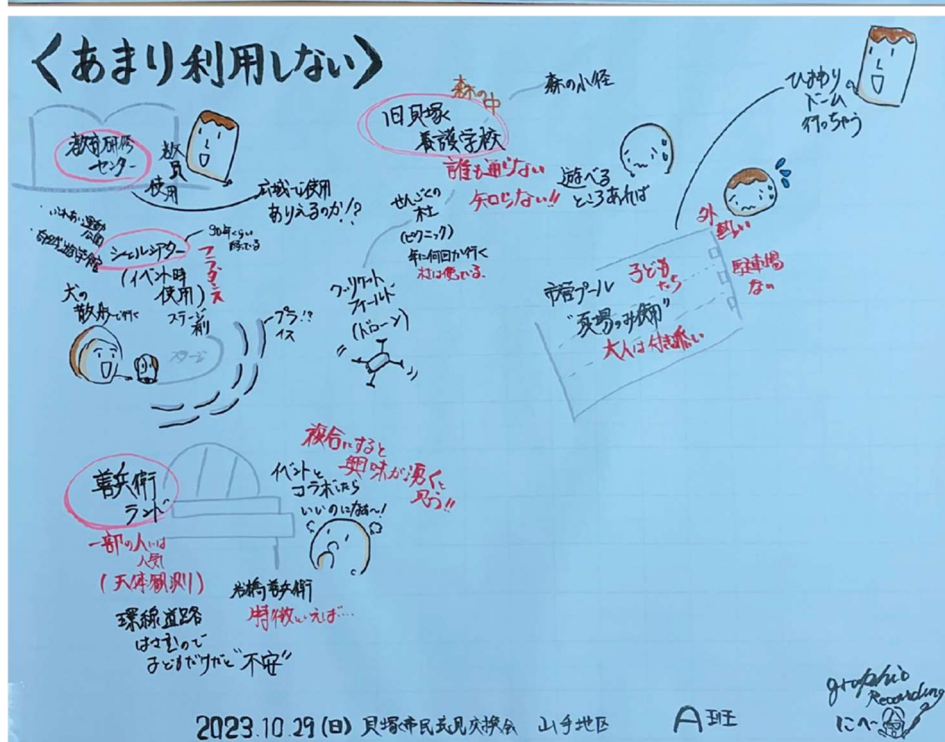
山手地区公民館
布着あり
子どもで遊ぶ場所

公民館活動 活発
車が多い!

社会教育施設
人の関わり(地域でつながる)
多世代につながっている!!

2023.10.29(日) 貝塚市民見学会 山手地区 A班

graphic recording
inao



<Cグループ>

<よく利用する> ○良い点 ○課題 ○提案

<p>市役所・市民福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅前場内トイレが狭い ○導線改善が必要 <p>東手公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3世代の居場所 <p>中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会議・利用活動 <p>山手地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大ホールがある ○ロビー ○洋式トイレ ○3世代が集まる ○火元広場(100㎡) ○シンガ・卓球 	<p>ふくあ運動公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広く使える ○駅中場 ○テニスコート ○カヌー ○新しい遊具 ○日よけ <p>善兵衛ランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明がわかりやすい ○天体観望 <p>東山公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規制多い 	<p>シニアター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広い ○日本一級(4) ○広域内容がよい(3歳) ○利用料金(1) <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○蔵書が少い ○貸出・中央図書館 ○駅と近接する <p>自然史博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3世代の居場所 ○楽しい ○展示場 <p>東手・山手公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コヒコト ○所蔵品
---	---	---

貝塚市民意見交換会 山手地区 C班 2023.10.29(日)

<あまり利用しない>

<p>歴史展示館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知度(低) <p>教育研究センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者=教師 ○市民利用 	<p>シニアター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○半外 ○夏イベント <p>総合体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○取組が大きい ○試合利用 ○こども利用 	<p>ひとふくあセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3世代習い事 ○公民館の連携 ○利用頻度高 ○この施設は、こども利用 <p>歴史展示館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おもしろい ○建物の維持管理
---	--	---

<あまり良いな>

夏休みの3世代の居場所

貝塚市民意見交換会 山手地区 C班 2023.10.29(日)

<まとめ> C班

よく利用する

- ・ 広く日常的に利用する
- ・ 3世代利用できる
- ・ 子育て世代

→ 東手・山手・中央公民館
ふくあ運動公園
善兵衛ランド etc...

○ トイレ洋式化の課題 (山手公民館)

・ 機能が似ているものは1つに

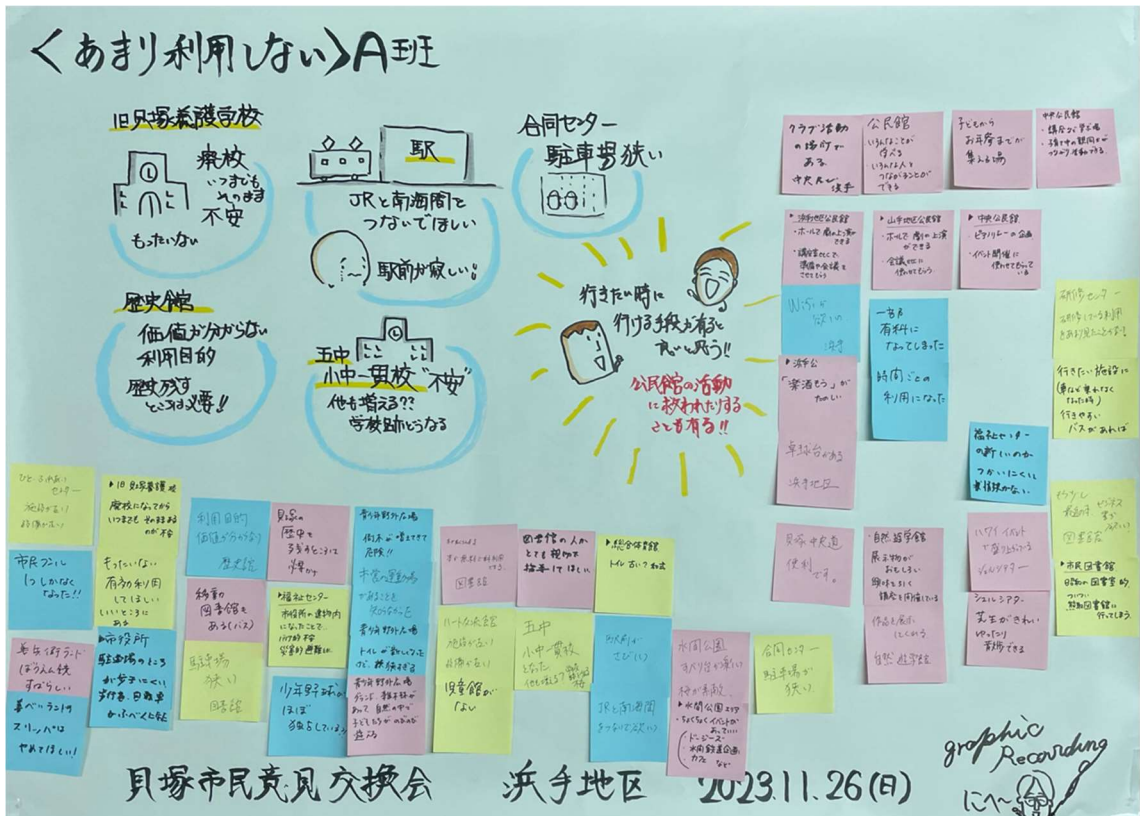
あまり良いな

- ・ 夏休みの3世代の居場所
- ・ 公民館の公共交通手段の拡充
- ・ 施設の相互利用(他市町)

貝塚市民意見交換会 山手地区 C班 2023.10.29(日)



＜Aグループ＞



＜B グループ＞

<よく利用する>

貝塚市立保健センターの社交交流センター
青少年野外広場

自然学習館

- 自然を感じ散歩できる
- 調心山公園と接している
- 専任の先生が自然知識を伝えてくれる。自然を知ることができる
- 生息動物の観察
- 公園が広大で、海に近い
- ヤシドリ、海辺など
- 館内狭い。2階、有蓋歩道
- レストラン。常に重なり合う生物
- もう1つ馬車場欲しい。
- PR不足

市民プール

- 安価で利用できる
- 地域のプールとみなすことも可能
- 自販機が少ない
- 民間プールを開放日に!

山手地区公民館

- 木下音楽舞踊会などの活動で盛り上げたい
- 駅南場

シエリシアター

- 芝生広場。夕日鑑賞
- 小芝居の遊み場
- 海。遊歩道がキレイ
- イベント開催で盛り上げたい
- 市民の憩いの場
- 山小屋は車がないと利用できない

浜中公民館

- 馬車場が広大
- 交通の便強化
- イベント参加人数を増やしたい
- 地域活動の活性化
- 7/24活動発表選手会
- おかしな祭り市民募集

木間公園

- 禁止事項多すぎないでほしい
- 財物の老朽化で立入り禁止が多すぎないでほしい

市役所、市民福祉センター

- キレには、15分以内の便利
- エレベーターの音がうるさい
- 4階6階の行き来が不便
- 避難のときおぼつかない
- 馬車場が広くていい
- 1Fロビーの民間活用
- 馬車場がキレイでいい
- 市民の憩いの場はいい

コスモシアター・中央公民館

- 駐車場が混雑しにくいようにしてほしい
- トイレ増設を希望
- 親子室がほしい
- 木下良。音楽、イベント企画方法
- 1階ロビー開放(中庭生草など)
- 1階ロビーに展示作品を展示したい

馬車場について
芝生広場の活用
自然学習館との連携

市民図書館

- 図書館の拡大。所蔵品の充実
- 学習コーナー。図書部との連携
- 市役所の中。図書館の拡大
- 馬車場がほしい
- 読書会やイベントの開催
- 子ども読書会。大規模なイベント企画

利用者の声

B班

貝塚市民意見交換会

山手地区 2023.11.26 (日)

<Cグループ>

<●よく利用する> ●良いところ ●提案 ●課題

浜手地区公民館

- ・サ・クル
- ・ボランティア
- ・講座受講
- 保育
- 料金不要→利用しやすい
- 予約しやすい
- ・幅広い年齢層
- バス停化、案内
- 保育室裏の庭の改善

市役所・福祉セタ (4、6F)

- ・3子どもの時利用
- ・3子育て支援 NPO法人エール
- ・講座利用 (4、6F)
- ・ハルスチェック
- ・手続ど利用

市民図書館

- 図書、DVD貸出
- 資料館PR不足
- 駐車場、狭い

コスモシアター

- ・発表会
- ・市のイベント
- 駐車場広い
- 食堂が少しい

中央公民館

- ・万全活動→陶芸、歌、ダンス (幅広い層)
- 宿泊施設ほしい
- 視聴覚室 (防音欲)
- ・予約制
- 3子ども・高齢者の居場所
- ・2Fなど、正地に難あり
- 3子育てネットのサークル利用

総合体育館

- ・古い (40年以上)
- トレーニングジムほしい

自然学習館

- ・市の管理
- 2Fが使われてない
- レストラン開鎖
- 生物展示→子ども利用
- 昆虫など教えて欲しい
- 市民のレベル不足

市営プール

- 使いづらい (大人は)
- 学校・幼稚園の授業

貝塚市市民意見交換会 浜手地区 C班

2023.11.26 (日) Keiko

[illegible]

3) 12月17日(日曜日) 中央公民館

・4グループ(A～D)に分かれてディスカッション

<Aグループ>

<よく利用する>A班

■ 良いところ (使いやすさ理由)
 ■ 課題点 (利用しにくい理由)
 ■ 提案

中央公民館

- 武蔵野の活動が利用しやすい
- 3Fの第3号
- 休日の利用
- 利用しやすい

コスモシティ

- 利用しやすい
- 利用しやすい
- 利用しやすい

すくすくこども館

- 利用しやすい
- 利用しやすい

山崎公民館

- 利用しやすい

中央公民館

- 利用しやすい
- 利用しやすい

水曜公園

- 利用しやすい

善行センター

- 利用しやすい

シエルシアター

- 利用しやすい

福祉センター

- 利用しやすい

中央公民館

- 利用しやすい

<あまり利用しない>A班

ドローン・アライスト

- 利用しやすい

図書館

- 利用しやすい

体育館

- 利用しやすい

プール

- 利用しやすい

少年の家

- 利用しやすい

お祭り

- 利用しやすい

希望の未来

- 利用しやすい

<Bグループ>

<よく利用する>B班

■ 良いところ
 ■ 課題点
 ■ 提案

市役所 市民福祉センター

- 利用しやすい

コスモシティ

- 利用しやすい

中央公民館

- 利用しやすい

青年センター

- 利用しやすい

水曜公園

- 利用しやすい

山崎公民館

- 利用しやすい

総合体育館

- 利用しやすい

<あまり利用しない>B班

市役所 市民福祉センター

- 利用しやすい

コスモシティ

- 利用しやすい

中央公民館

- 利用しやすい

青年センター

- 利用しやすい

水曜公園

- 利用しやすい

山崎公民館

- 利用しやすい

総合体育館

- 利用しやすい

参考資料-95

<Cグループ>

使い方が理由
利用したい理由
アイデア

＜よく利用する＞

市民図書館

- 読み聞かせの本を借りる
- 岸和田からの取寄せ可
- 他市(泉佐野など)泉南エリア
- 読み聞かせの会員は長期に借りられる
- スマホ検索・予約・公民館受取可
- 「ひかり号」各学校を巡回
- 拠点を持つ市民が図書館から借りてまちライブラリーなどの活動に利用
- 蔵書が少ない
- 照明が暗い(読取は明るい)
- 図書を広げて自習できる
- 読らんスペースがある
- 静かならなければ...という雰囲気 → 子どもを連れて行くづらい

市役所

- きれいになった
- 入口がわかりにくい
- 駐車場が停めやすい
- 総合受付の場所が分かりにくい
- 食事があればよい
- コンビニがあるけど時間限定
- 6階多目的ホールに付けるエレベーターが限られている(扉が開いているので通れない)
- 芝生に入っていくの? と思ってしまう。 → 車輪NGとある。車イスは? 利用可否が明確であれば...
- 3育エサールでも芝生利用できるようにしたい

コスモシアター

- 公民館まつり、クラブ活動発表会
- 劇団を招致
- 金額が高い(トータルで高くつく)
- 魅力的な催しがあれば... 特別感・非日常感を出したい

浜手地区公民館

- 駐車場狭い(20台のみ)
- 活動規模に対して小さい
- 子ども遊びに集まりやすい
- 交通の便が悪い(駅がない)
- トイレが狭い

山手公民館

- トイレが狭くて和式
- 職員が相談にのってくれる
- 市役所の機能が可能

中央公民館

- 会員であれば使える(制限あり)
- 会議に使うことが出来る
- 社会教育として講師招致が出来る
- 使えないとできるが、 「私は講師(有料)と言った使わせてもらえない。機会損失。」
- トイレが全て洋式になった

水間公園

- スイートでできる
- 花見・フットサルのイベント
- 水間台(急勾配) 危険

＜その他＞

ドローン・クワッドフィールド

- 防災拠点
- 今後、市としてひいていきたい
- ドローン教室
- 市民の認知をUPすべき
- どこに申込みは使えるか? 各施設ごとの方法を調べるべき
- 市役所の公共施設について

東貝塚の駅

- エレベーターしかない入口がある(西口) 健康者で使用する車イスの人困る どちらの入口も使用しやすいようにしたい

市営プール

- 子どもが自分で行ける
- 安価で利用できる

消防署本部 本署

- 道が狭い → すぐに活動できるの?

才五中学校(肉枝予定)

- 有効利用したい
- 病院、まちライブラリー、遊び場 イベント利用
- 人が集まる場にした

貝塚市民意見交換会 中央地区 C班 2023.12.17(日) Keiko

貝塚市民意見交換会 中央地区 C班

<Dグループ>

<よく利用する> ■ 良いところ ■ 課題 ■ 提案

このアンケートが
良くなるように

市役所

- 1Fの展示が良い
- 外でも見える
- 机・イスのスペース
- 自然採光以外
- ご飯食べたりお茶したり
- 友達と今時世な話
- 食堂など非日常空間にしたい
- トイレきれい
- WiFi環境とある
- 色んな設備使えたり見える
- 施設外にイスはない
- 食べるスペース

中央公民館

- 1Fに広い面創になた
- 集客力強い
- 職員が気軽に相談できる
- 市役所と連携して活動できる
- 多目的な活動の場になる
- 障害者の方にも対応できる
- ボランティアが活躍できる
- 登録団体の紹介
- 人とのつながりが深い

市民図書館

- 1F入口せまい
- スペースせまい
- 司書さんあたたかい
- 直接行かないででも
- 図書館や学校で
- 貸りて返せる
- 本多
- 雨も1123
- ちやと暗い
- 甲子/見直しが必要
- 2Fの展示・映画
- 図書館に併設になる工夫

浜千地区公民館

- 利用者が23高齢化
- 維持できているかな...
- 中央の空き室に貸りる
- 1Fに開放的
- 子どもが遊ぶところ
- 飲食OK
- 障害者の方にも
- 1Fに運営 SOP

自然遊学館

- 展示物(多)子ども喜ぶ
- 外でも見える
- 浜千公民館と近い
- 一緒に展示・連携してる
- 資料が専門的
- お礼知らずな人いる残念...
- 子ども連れの来客が多い場所
- 生き物のコーナーが充実している
- 1123にイベント多い
- 無料 貝塚のすぐそば
- 市民じゃなくても

山千地区公民館

- 空間広いけどさみしい...
- カーン
- 市立 発表会できる
- 庭付きの保育室(3館とも)
- 行政サービス無くなった
- 3館は飲食できる
- 行くとすぐバス
- バス停が近い

コスモスアワー

- 身障の芸術に触れられる
- 自分たちで利用/外部から呼ぶ
- 利用料高いので貸りにくいかな
- 市立の前のスペース
- 本格的なホールで歌える機会

貝塚市民意見交換会 中央地区 2023.12.17(日)

<あまり利用しない>

ふたば運動公園

- 子どもが遊ぶのに利用広々とした
- 雨の日 使えない(晴れの日だけ)
- 写真見せたいところはない
- 更衣室にシャワー室はない
- 個人でも使えるけど
- 公園にはお花が咲く
- 気軽に使えない
- 団体でも利用可能
- 地元の人ばかり
- だるうと 離れたいところ

善兵衛ランド

- 11学校の宿題で行く
- 子どもが興味を引く内容
- イベントが行なわれる
- 目的地で行くことが多い
- 大きな天体観望台
- 近隣にみずうし
- 入館料1400円
- 展示が23の展示と...
- 自分で作るイベント
- 公民館と連携
- 千作の展示充実
- 職員さん色々見せてくれる

青少年運動広場

- バス使えない人に来てもらう
- バス停 30分公園ある
- 近所だとしても使えない
- 車道、2F見えない
- 公園あるけど条件が悪い
- 運動したい人にとっては必要

子どもの足で行ける地蔵寺

3F
2F
1F

貸し出し...
お茶

1F



6.3 市民意見交換会における公共施設に対する意見

利用していない（知らない施設）のあり方検討、立地・公共交通・駐車場の改善、施設老朽化（トイレ等）への対応、運営面の工夫、特徴的な施設の維持（善兵衛ランド等）、集約施設活用（第五中学校、貝塚養護学校等）、道の駅等新たな施設期待があげられています。市民意見交換会における主な意見は次のとおりとなります。

【よく利用する施設】「予約しやすい」「駐車場が広い」「活動がさかん」「交流がある」「説明がわかりやすい」

【利用しにくい施設】「認知度低い」「利用者限定的」「予約とりにくい」「施設・設備が暗く古い」

【公共施設への意見】「交通手段拡充」「複合化して分かりにくい」「トイレ洋式化」「ロビーや机・椅子不足」「施設跡地利用」「駅前に公益施設を」「道の駅を」

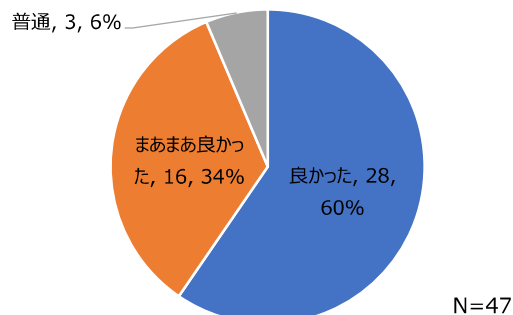


6.4 参加者アンケート結果

市民意見交換会の参加者を対象に、感想や公共施設に関する意見をたずねるアンケートを実施した。アンケート結果は以下の通りである。

Q1 市民意見交換会に参加された感想

「良かった」、「まあまあ良かった」が 9 割以上、「良くなかった」との回答はなく、満足度の高い結果となった。



Q2 Q1 の理由

<良かった理由>

- 知らないことが多くあった。皆さんからたくさん教えをもらった。公共施設の場所、名前、利用方法などを知ることができた。
- 公共施設の役割や良いこと悪いことなどよくわかってよかった
- 他の人の意見が聞けたり、話し合えて良かった 貝塚市の魅力がたくさんあることに改めて気づいた。
- 普段思っていることが話せた。
- 貝塚市の考え方がわかった。・公共施設についての理解が深まった。
- みなさんの前向きな考えが聞けた。
- 異世代の方とお話が出来、各施設の知らない事を教えて頂きました。あってあたり前の場所ではない自分達で守る場所だとあらためて感じました。
- いろいろな意見思いがたのしく聴けました
- 自分自身が日常使っている公共施設の良さを再認識したのはもちろん普段利用しない施設の事や良さも知れて良かったです。今回の交換会が市の施設に反映されますようにと願わずにはいられません。
- 意見交換会と言う名の私の知らない色々な施設、現状の把握などでした。まず「知る」事から始める姿勢で参加させていただきました。ありがとうございました。
- いろんな方と話せたので
- たくさん意見がだされ、またきくことができました。
- 貝塚にある公共施設についてグループでいいとこ話したり、もっとこうしたらいいというようなこともきけたことがすごく学びました。
- 行政の考えが聞けたので
- 色々な観点から話を聞けてよかった。

- いろいろな世代の方の意見が聞くことができた。市役所の方が真剣に応えてくださり安心した。貝塚いい所だなと改めて思った。またこういう機会を作してほしい。
- 堅苦しいものを想像していましたが皆が思い思いの事を伝えてくれたので良かった。
- 色々な方と話し合いができてよかったです。
- 子育て中の方の前向きな意見がよくわかった
- 市役所の担当職員さんの言葉を聞けた！他、他の利用者さん（市民）の意見が聞けた。
- 今一度、貝塚にある施設の良さ、大事さに気づくことができたように思います。より良い貝塚にしていくために、私たちにもできる事を考えていきたいです。子ども達の為にも、外での遊び場、室内での学び場、大切にしていきたいです。集える場はとても大事だ！
- 市民の皆さんと市の施設について意見交換することは、今までなかったので様々な視点で自分達の持つ施設について考えることができました。
- 自分の思いを伝える場を作ってくれたこと、場があったから全体を見渡して考えることができたから。
- 同じグループの方たちといろいろな話ができた→特に公民館の良さが共有できた。最後の市役所職員さんの話を聞けて良かったです。ファシリテーションが素晴らしく、進行がスムーズで良かったです！！
- インストラクターの話運びが良かったから。いろんな活動が抽出されて問題点が出された
- 直接会って話すことで、他の人の話が聞けたり、知らなかったことが知ることができたので参加できて良かった
- あまり利用したことがない施設のことが知れた。普段利用している施設のことが話せて楽しかった。これからの施設について考えるのが楽しかった。
- 自分の発表したいことができて良かった。

＜まあまあ良かった理由＞

- 貝塚の公共施設がよくわかった。知らない施設、使ったことがない施設もあった。他の人の利用やり方もわかった。
- 市民さんのいろいろな意見がきかれたこと
- あらためて、いつも使っている公共施設の事を考える良いきっかけになりました。良い所、課題をいろいろな方と話せてよかったですが、貝塚市の課題、現状も知ることができたので、これから利用したことがない人にも伝えていきたいと思いました。
- いろいろとざくばらんな話が出来た
- 進行をプロの方々でして下さったので、スムーズで良かった
- 貝塚市の施設について考える機会になった。自分の子どもが小さい時には、貝塚市内施設をほぼ使わなかったで、これから子育てする方がもっと使える場所として便利になればいいなと思いました。
- 日曜日の午後にそこそこの人が集い、意見を交換しているというのは素晴らしいと思いますが、討論の終着点が各グループでちょっとズレている印象や、自分でもその意見の先にこの施設は残

したい！とかそれはいらんやろ、等の考えを出せる程の知識もなく、果たしてこの話し合いの結果がどのように反映されるのか、ちょっとギモンに感じました。

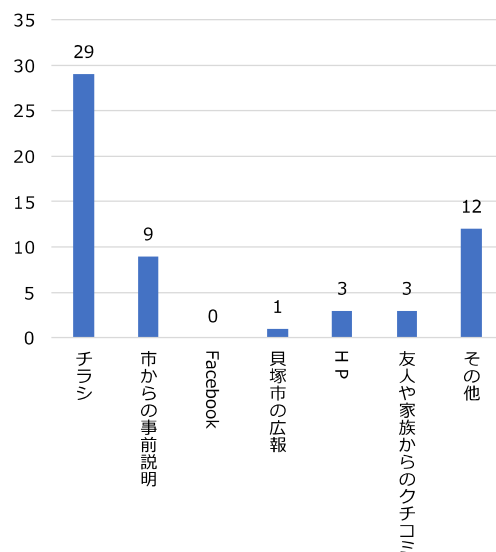
- 貝塚市の施設のことがよくわかった。
- 公的施設が利用できなくなるのは困る。管理計画の事を知る事ができ、もっと認識を深めたい。
- 皆が意見を言えた
- いろんな方の素朴な声が聞けた
- たくさんの意見を出しあえて、貝塚市の公共施設について考える機会をいただきました。
- 他市から嫁いで貝塚市に来ました。子育てするのに、とても大人の学びやつながりが深く、助けられました。それを改めて感じる時間でした。
- ワークショップ形式
- 知らない公共施設があることがわかり、これからの利用について考える機会になった。

<普通の理由>

- 意見がちらかすぎて具体的に何をするのかわかりづらい！
- 問題提議が大まかなので、意見というよりも感想の話になった気がする。
- 時間が短く意見交換が充分でない

Q3 市民意見交換会をどのような手段で知りましたか

「チラシ」が最も多く、次いで「その他」、「市からの事前説明」となっている。



Q4 意見交換会でお伝えいただいた内容以外の、貝塚市の公共施設に関するご意見があれば、以下にご記入ください

- 貝塚市として何を重視していくのか、方向性などを教えて欲しい。今後スクラップ&ビルド、選択と集中で、つぶすべき施設も出てくると思う。その時に何を重視するのか、将来の貝塚を、どう描くのかを掲示して欲しい。
- 民間の施設（屋内プール）や町会館、小学校幼稚園などとリンクする活動があるともっと地域に根差したことができると思う。

- 市民の生の意見をしっかりと取り入れてください。対面で議論することの大切さを感じました。
- 自分に直接関係ない場所にも公共施設があることを改めて知りました。よい勉強となりました。
- 今は使っていないくても、仕事をやめて自由な時間ができたときに使ってみたい施設。貝塚に「これがある！」という自慢できる今日出ている施設があります
- 各校区内に子どもだけで行ける開放された施設があればいいなと思いました。
- 時に機会があれば伝えているのですが、公共（公民館）のトイレにスリッパをおいてほしいです。コロナの間にでもおいてくれるかと期待していたのですが、未だにそのまま。不衛生だと思います。（ホールで上靴をはいて運動しているので）
- 高齢者は中々外出しにくい状況にあります。地域の交流場所としての公共施設はぜひ充実して頂きたいと思います。（例；公民館、コスモシアターなど）
- 近隣市と公共施設の利用が連携できるようにしたら、どうでしょうか。廃止ありきでなく、再利用を検討してみたらどうでしょうか。こういう施設があると市民にお知らせしたらどうでしょうか。市民プールもいろいろな事情があると思いますが、市民の意見を聞かずに、一度になくなった。（食堂、レストラン）の誘致が難しいなら、弁当屋さんに昼間来てもらうだけでもよい。こういう施設があると広報がいつかで PR してください。
- 貝塚市は社会教育・文化的活動の盛んな町です。市民が主体的に動いて活動していると思います。市民が主体的にかかわる活動できるのは、貝塚市に活動できる場所がある！！安心感とサポートしてくれる職員さんがいるからなのでこれからも活動できる様に施設を残せる方法を考えています。
- 少子高齢化による財政難で公共施設の在り方を考えていかななくてはならないのはわかります。ただ、今まで公で運営等担ってきたのには理由があると思います。その公で担っていた理由目的を目をつぶっても民に任せたほうがいいのかそれもありかと思います。そのへんの議論をしっかりとつくりてもらいたいと思います。今後税を使っても公で担わなければいけない施設もあると思います。
- 意見交換会だけで終わるのではなく結果を出して下さい。「0」は「0」とはならないようにして下さい。「浜手公民館を新たなバス停化」時間、年齢制限で、無料化！
- 大切に利用を根本に！！
- 総論としてのこれからの計画。私たちもしっかり見つめていかないとと思います。
- 公共施設の使い方が昔より不便（市役所、P、バー設置など）になってきている。市民の意見行政との連携の密度を高めてほしい
- この事業担当職員だけでなく、他の行政職員にも周知していただいてこのような意見交換会を発信していただきたい。行政サイドからの発信、各施設の利用者団体や自治会に対しては特に伝えただけると大変うれしいです。
- 施設の職員さんの思いも聞きたかったです（公民館などの）
- 人が育つと市が育つ。ハードと共に住人の市民力を UP することはとても大切です。今回は公民館を愛する参加者が多く、積み重ねた歴史を感じるとともに、利用していない人にも届くサービスで変化していくことも大切。その為に今回の話し合いが役立つことをねがっています。

- 老朽化施設の速やかな撤去必要 ・目に見えない部分（水道管）の計画的な改修。・計画的な修繕とのことであるが、総合体育館の屋根は危機的な状況にある。・運営での安易な民間委託、指定管理者制度の導入を図るべきではない。民間委託になじむ施設、なじまない施設に区別するなどの作業が必要である。
- 公民館職員さんの優しい接待。寄りそってくれるのが良い。東貝塚市駅のエレベーターの改善。公園の遊具なども改善してほしい。野外広場をもっと子どもが使いやすい場所にしてほしい！もっとたくさんの人に知って欲しい！
- 使用者の交流会があったらいい
- 貝塚市青少年野外広場（四中の横）でプレーパークをしています。グラウンドの整備だけでなく雑木林の手入れも予算に組んで頂きたいです。木の枝が折れたり、光が入らない程しげった草木、、、子ども達が安全に遊べる環境を守って頂きたいです。
- めぐまれた職員さんと施設があることを再確認しました。
- 貝塚市民は公共施設をよく利用しています。そしてそれはそこに専門の職員がいて、市民の学びやひいては生活を支えているからだと思います。ただ利用だけでなく人と人との付き合いを継続してくれるからこそ生まれている、そんな公共施設が多くある貝塚は、住み良い市であると感じます。ここには記載がありませんでしたが、青少年野外広場は子供にとって大切な場所です！プレーパークをよろしく。
- 少子高齢化、財政難、人手…不足添どこの国も抱える問題は同じですが、明るい未来に向かって一緒に歩いていけたらうれしいです。
- 市の縦割り行政の悪点をなおし、総合的企画会議管理できる仕組みづくりを頼む
- 公民館が放課後の子供達の居場所になっているけど、もっと身近に地域の町内館で子どもたちと地域の人が集えるようになったらいいなと思う
- 新しい市役所で内も外も使いやすくなって良かったので。他の施設もそんな風になってくれると嬉しいです。
- とにかく私にとっては必要な公共施設です。引きこもりになることもなく、日々楽しく暮らしております。もっと広く皆さんに伝われば良いと思います。
- 今日の参加でよく使われる施設が社会教育施設であると思いました。この意見交換会の内容をぜひ役立て、一般に使う市民のことを考えて計画してください。高齢者を長く元気に過ごしてもらえるように、交通手段についても考えて欲しいです。
- 意見交換会とアンケート調査があり、方向性を決定されると思うのですが、公民館や図書館などの社会教育施設はサービスというより市民と共に学び育つ所でもあります。職員さんとのつながりは利用者の育ちの元です。運営はやはり市で運営されることを望みます。

貝塚市公共施設等総合管理計画 資料編

2016年（平成28年）5月策定

2024年（令和6年）3月改定

貝塚市 総合政策部 行財政管理課 公共施設マネジメント室

大阪府貝塚市畠中1丁目17番1号

電話：072-423-2151（代表）

E-mail：shisetsu@city.kaizuka.lg.jp

